

壮 瞥 町
高 齡 者 保 健 福 祉 計 画
介 護 保 険 事 業 計 画

(令和6年度～令和8年度)

令和6年3月

北海道有珠郡壮瞥町

壮瞥町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

目 次

第1章 計画策定の概要

第1節 計画の策定

1 計画策定の目的	1
2 計画の性格と法的位置づけ	1
3 計画期間	2
4 計画の策定体制	2
5 介護保険制度改正の主な内容	2

第2節 高齢者等の現状について

1 高齢化と人口構造	3
2 壮瞥町 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要	5

第3節 計画の方向

1 基本理念	8 3
2 基本方針と施策の体系	8 3

第4節 計画の進行管理

	8 5
--	-----

第2章 計画の取り組み

第1節 高齢者保健福祉サービスの取り組み

1 健康づくりと介護予防の推進	8 6
2 在宅生活支援の推進と居住環境の整備	9 0
3 地域包括ケアシステムの推進	9 5
4 安定した介護保険制度の運営	9 8
5 自立支援・重度化防止に向けた成果目標	1 0 0

第2節 今後の高齢者保健福祉サービスの展開について

	1 0 1
--	-------

第3節 介護保険サービスの推計

1 日常生活圏域の設定	1 0 2
2 要介護（要支援）認定者数	1 0 2
3 介護給付の実績と推計	1 0 3
4 介護予防給付、介護予防・日常生活支援事業の実績と推計	1 0 4
5 介護保険料の算定	1 0 5

（別添・資料 編）

1 壮瞥町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会の構成と審議経過	1 1 2
2 答 申 書	1 1 3

第1章 計画策定の概要

第1節 計画の策定

1 計画策定の目的

介護保険制度は、誰もが生きがいに満ちた老後を迎えるため、健康づくりや寝たきり予防等の施策の充実を図り、たとえ介護が必要となる状態になっても、必要なサービスを利用し、地域でできる限り自立した日常生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが総合的・一体的に提供され、社会全体で介護を支えていく仕組みとして、平成12年度から始まりました。その後、超高齢社会を見据えて、制度のさまざまな見直しが行われてきました。平成26年度には、社会保障と税の一体改革の中で、制度の大きな見直しが行われ、限られた医療・介護資源を有効に活用し、必要なサービスを確保するため、在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、生活支援サービスの充実等「地域包括ケアシステム」の構築を一層進めることとされています。

一方、令和7年には、いわゆる団塊の世代が75歳を迎え、今まで以上に保健、医療、福祉サービス等のニーズが高まると予想されます。また、団塊ジュニア世代が65歳以上になる令和22年には、現役世代が急減することを念頭に置いて、サービス基盤や人的基盤の整備を検討していかなければなりません。

このような背景から今後も人口減少と超高齢社会が進行し、医療や介護の需要が高まる中で、その担い手が同時に減少していくことを見据えて、これまで以上に、世代や背景を超えて地域の住民同士がつながり合い、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う地域共生社会の実現に向けた取り組みをより一層進める必要があります。

当計画は、このような状況を踏まえ介護保険運営や介護予防・重度化防止、高齢者や認知症の方への支援、高齢者福祉に対する重要な課題に対して目指すべき目標を定め、その実現に向けて取り組む施策を明らかにするものです。

町では当計画策定に資するため、令和5年5月に高齢者実態調査を実施し、高齢者の現状などを調査いたしました。

今後は、高齢者の現状を継続して把握するとともに取り組むべき課題を明確にし、住み慣れた地域で安心して暮らせることができる「まちづくり」の実現と地域の実情に応じた高齢者福祉及び介護保険事業の円滑な運営をおこなうため、本計画を策定するものです。

2 計画の性格と法的位置付け

(1) 法令等の根拠

この計画は、老人福祉法第20条の8及び介護保険法第117条第1項に基づき定めるものです。

(2) 高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画の関係

高齢者保健福祉計画は、第5次壮瞥町まちづくり総合計画（令和2年度～令和11年度）に基づくとともに、関連する計画と調和し、保健福祉政策を具体化し、健康と生きがいのあるまちづくりを实践するための総合的な計画です。

介護保険事業計画は、介護予防サービスや介護サービスなどの提供を個々の状態に合わせて適切かつ円滑に行うための計画です。

3 計画期間

この計画は令和6年度から令和8年度までの3年間とし、介護保険給付の動向や高齢者保健福祉施策の進捗状況等を踏まえ3年ごとに見直しを行うこととします。

4 計画の策定体制

高齢者保健福祉サービスや介護予防サービス、介護サービス、介護保険料の決定などは、町民生活に深く関与します。そこで、計画策定にあたって、町内在住65歳以上の高齢者に対し実態調査を実施し生活実態の把握や介護保険、保健福祉サービス等の意見等の収集を行いました。

計画策定にあたり、学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、被保険者代表者等から組織される高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会において、現状や課題分析、事業内容について審議、検討を行いました。

5 介護保険制度改正の主な内容

- (1) 介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、今後の介護給付費増加を見据え第1号被保険者間での所得再分配機能を強化する。（標準段階9段階を13段階に多段階化、高所得者の標準乗率の引き上げ、低所得者の標準乗率の引き下げ）
- (2) 介護保険者が被保険者等に係る医療・介護情報の収集・提供等を行う事業を医療保険者と一体的に実施する。
- (3) 介護サービス事業所等の詳細な財務状況等を把握して政策立案に活用するため、各事業所・施設に対し詳細な財務状況の報告を義務づける。

- \
- (4) 介護現場における生産性の向上に関し、都道府県に対し介護サービス事業所・施設の生産性の向上に資する取り組みが促進されるよう努める旨の規定を新設。
 - (5) 看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容について、サービス拠点での「通い」・「泊まり」における看護サービスが含まれる旨の明確化。
 - (6) 地域包括支援センターが行う「要支援者」に行う介護予防支援について、居宅介護支援事業所も市町村から指定を受けて実施可能とする。
 - (7) 指定地域密着型サービス事業、指定地域密着型介護予防サービス事業の事業の人員、設備及び運営に関する基準改正
 - (8) 指定地域密着型介護予防サービス、指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準改正
 - (9) 指定居宅介護支援等、指定介護予防支援等の事業所の人員及び運営に関する基準改正

第2節 高齢者等の現状について

1 高齢化と人口構造

(1) 高齢者等の人口の推移と推計

表1は、令和3年度から令和4年度までの3月末の住民基本台帳による人口、令和5年度から令和8年度、令和12年度及び令和22年度の人口推移（見込み及び推計）、並びに令和6年2月13日時点の高齢者一人のみの世帯と高齢者の夫婦のみの世帯数を掲載しています。

人口の推移を経年で見ると、総人口では令和5年度の鶴雅リゾートオープンによる従業員の転入等により人口が増加しましたが、65歳以上の人口は、増加傾向にあった平成30年度(1,002人)をピークに減少に転じているが令和7年度から増加傾向になることが見込まれます。

一方、高齢化率は、ほとんどの年度において4割を超える見込みです。

また、65歳から74歳の前期高齢者の人口は、減少傾向が続き、75歳以上の後期高齢者の人口は増加となる見込みです。

■ 表1 人口の推移と推計

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和12年度 (2030年度)	令和22年度 (2040年度)
	実績 年度末現在)		見込み	推 計			人口問題研究所推計	
総人口	2,376	2,359	2,380	2,363	2,390	2,385	2,225	1 815
75歳以上	559	551	553	558	597	643	837	733
後期高齢化率	23.5%	23.3%	23.2%	23.6%	24.9%	26.9%	37.6%	40.3%
うち)85歳以上	221	218	204	193	223	262	415	473
85歳以上人口比率	9.3%	9.2%	8.5%	8.1%	9.3%	10.9%	18.6%	26.0%
65歳～74歳	405	402	375	352	364	349	291	243
前期高齢化率	17.0%	17.0%	15.7%	14.8%	15.2%	14.6%	13.0%	13.3%
65歳以上合計	964	953	928	910	962	992	1,128	976
高齢化率	40.6%	40.4%	38.9%	38.5%	40.2%	41.5%	50.6%	53.7%
40歳～64歳	759	745	762	768	754	727	579	452
40歳未満	653	661	690	685	674	666	518	387

(資料) 住民基本台帳(実績・見込み)

将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」等をもとに推計した。

高齢者(65歳以上)一人のみの世帯	199 世帯
高齢者(65歳以上)複数人の世帯	172 世帯

※ 令和6年2月13日現在／病院・施設等の入院、入所者を除く

2 壮瞥町 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の概要

・ 調査目的～

① 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域診断に活用し、地域の抱える課題を特定する。

② 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用する。

・ 対象者 要介護1～5以外の65歳以上の方（全員）

・ 対象者数 783人（令和5年4月末時点）

（参考・第1号被保険者総数931名（R6.1.31現在））

・ 調査時期 発送 令和5年5月9日 回収 令和5年6月15日

・ アンケート回収率 473人（60.41%）

年代別	対象者数(人)			回答者数(人)			回答率(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
65～69歳	84	75	159	43	40	83	51.19	53.33	52.20
70～74歳	88	134	222	58	81	139	65.91	60.45	62.61
75～79歳	79	87	166	46	50	96	58.23	57.47	57.83
80～84歳	53	70	123	33	53	86	62.26	75.71	69.92
85～89歳	30	41	71	23	26	49	76.67	63.41	69.01
90～94歳	15	23	38	7	10	17	46.67	43.48	44.74
95歳以上	1	3	4	1	2	3	100.00	66.67	75.00
合計	350	433	783	211	262	473	60.29	60.51	60.41

調査票の記入者

1. 本人 433人

2. 家族 30人 配偶者11人、子供18人、兄弟姉妹等0人、無記入1人

3. その他 9人

4. 無回答 1人

合計 473人

（参考）前回・第8期計画策定時

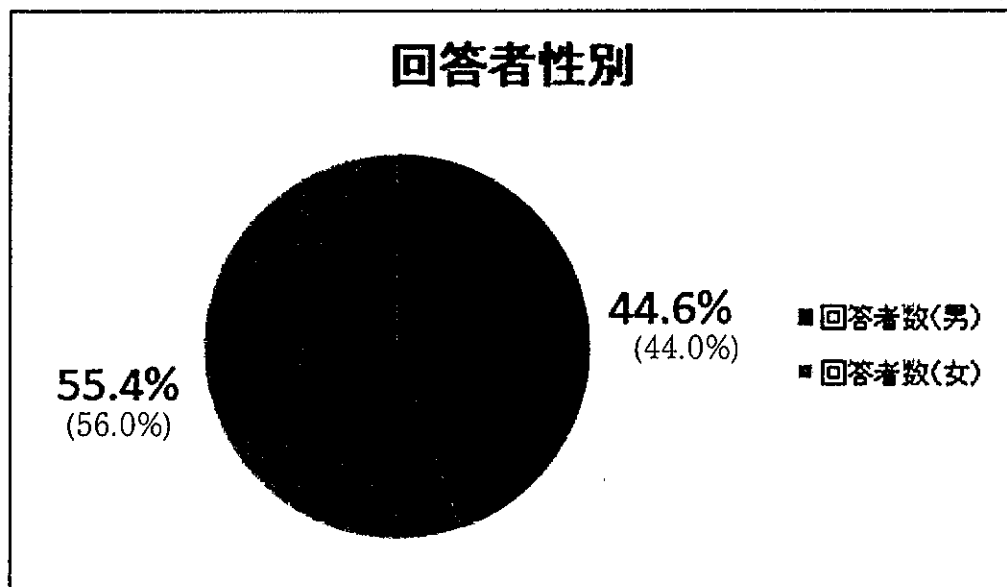
・ 対象者 要介護1～5以外の65歳以上の方（全員）

・ 対象者数 833人

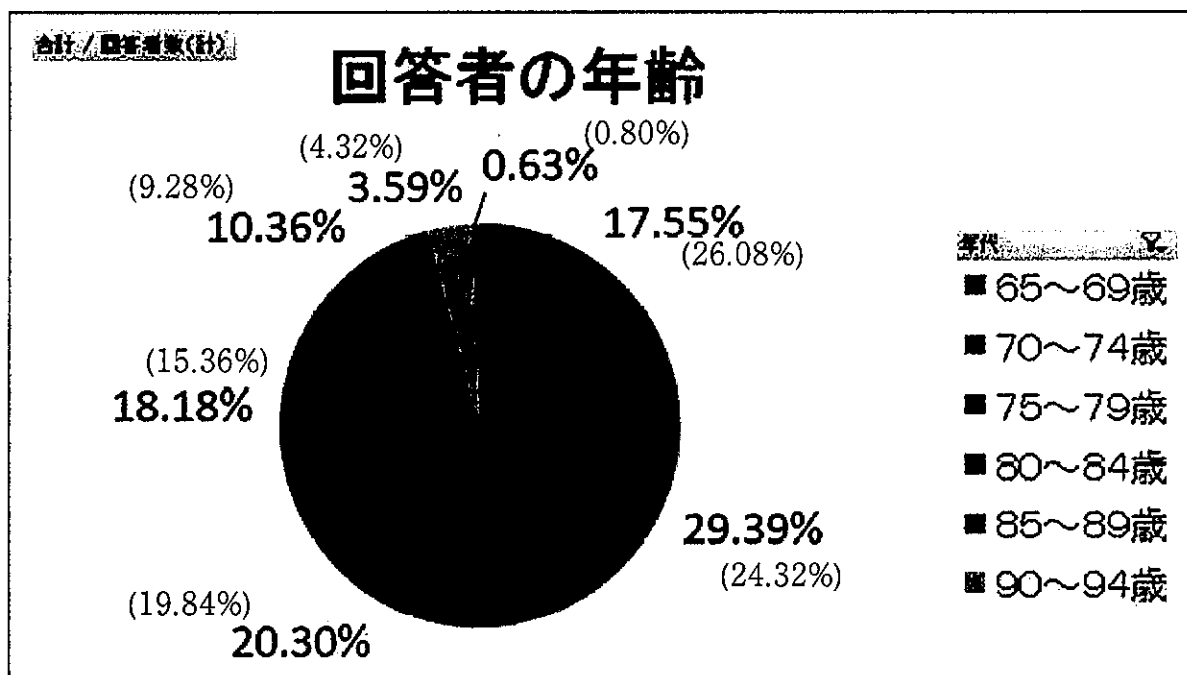
・ アンケート回収数・回収率 625人（75.03%）

○ 回答者の属性

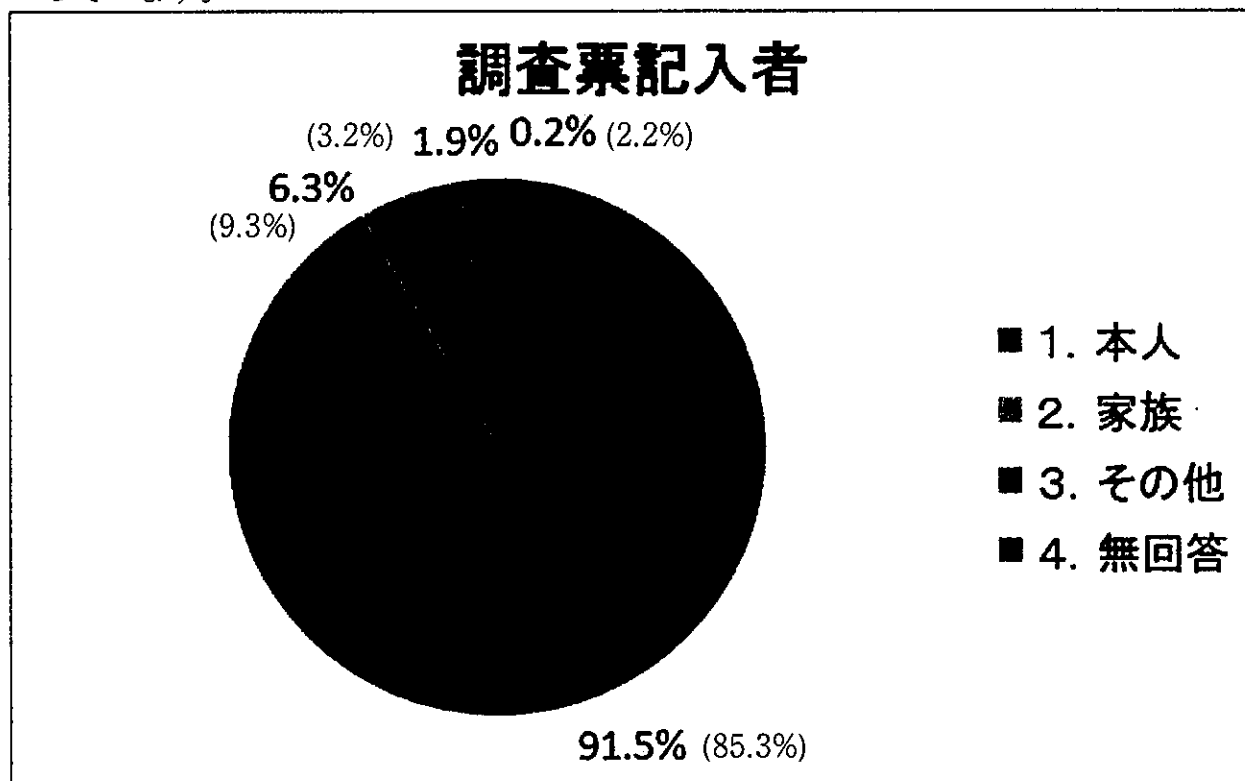
回答者の性別は、男性が44.6%、女性が55.4%と、女性の割合が高くなっています。
(以降、グラフ中の(カッコ)内の数字は、前回調査(R2年度実施)の数値です。)



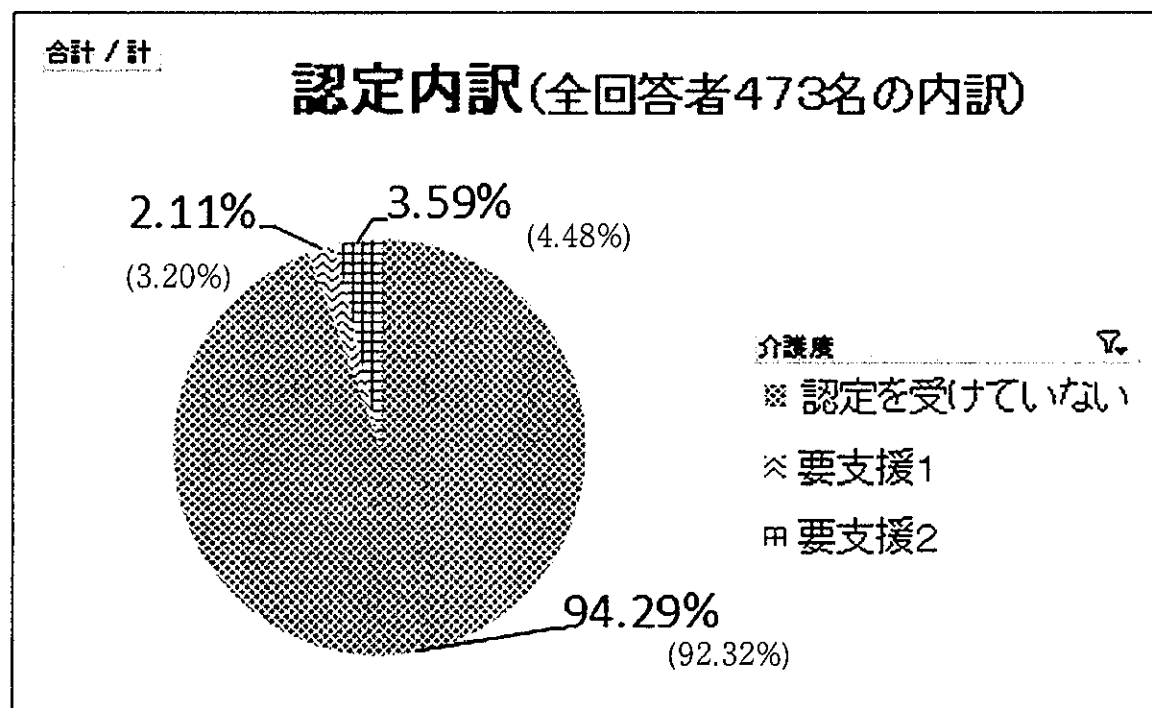
回答者の年齢は、「70～74歳」が29.3%で最も多く、次いで「75～79歳」が20.3%となり、後期高齢者の占める割合が過半数となっています。



調査票の記入者は、「あて名の本人」が91.5%と最も高く、次いで「家族」が6.3%となっています。



回答者の介護認定の内訳を全体、性別、年齢別に集計した結果は次のようになり、認定を受けていない（自立）回答者が最も多くなりました。



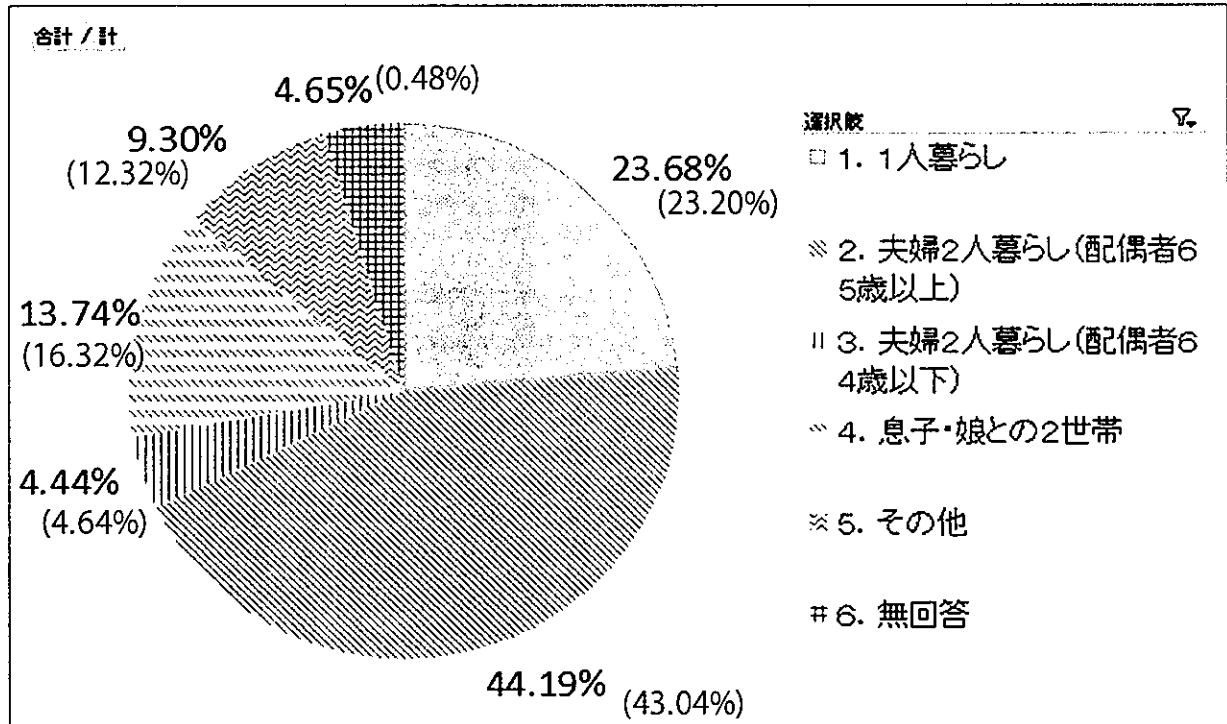
性別	回答者数	認定を受けていない	要支援 1	要支援 2
男	211	96.20%	1.42%	2.37%
女	262	92.75%	2.67%	4.58%

年齢別	回答者数	認定を受けていない	要支援 1	要支援 2
65～69歳	83	100.00%	0.00%	0.00%
70～74歳	139	100.00%	0.00%	0.00%
75～79歳	96	96.88%	2.08%	1.04%
80～84歳	86	94.19%	2.33%	3.49%
85～89歳	49	77.55%	8.16%	14.29%
90～94歳	17	70.59%	11.76%	17.65%
95歳～	3	0.00%	0.00%	100.00%

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.19%と最も多く、次いで「1人暮らし」が23.68%となっています。

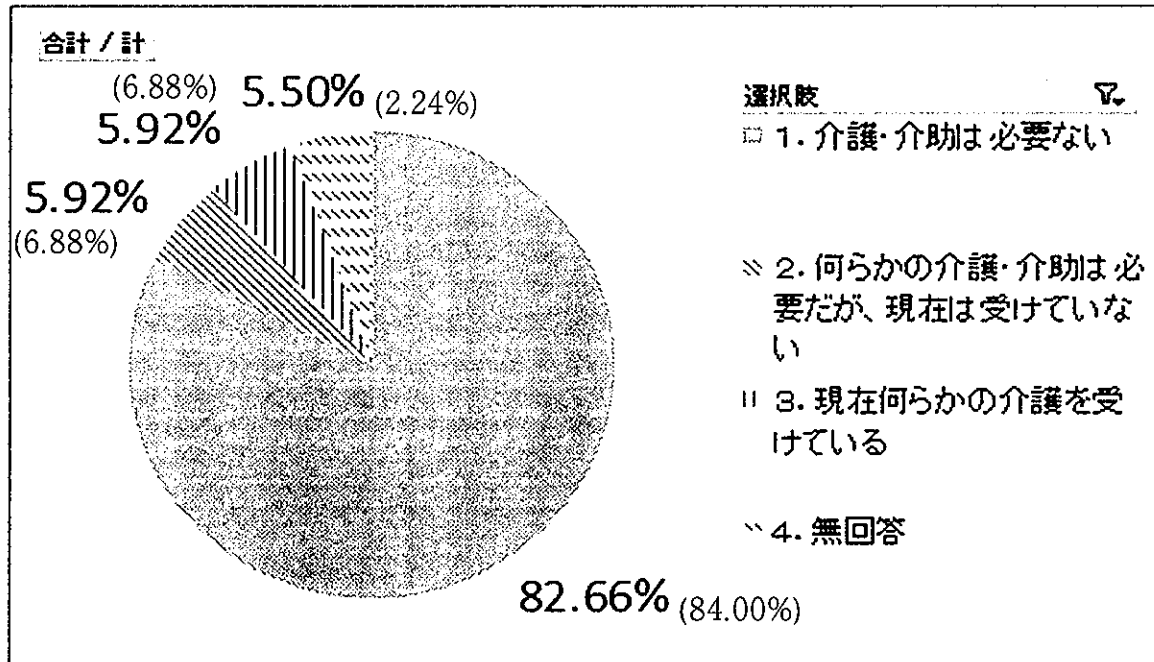


家族構成を性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。
(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし 配偶者65歳以上)	3. 夫婦2人暮らし 配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	5. その他	6. 無回答
性別	男性	211	14.69%	48.82%	9.00%	13.27%	9.00%	5.21%
	女性	262	30.92%	40.46%	0.76%	14.12%	9.54%	4.20%
年齢別	65～69歳	83	25.03%	36.14%	15.66%	4.82%	15.66%	2.41%
	70～74歳	139	25.90%	49.64%	2.88%	11.51%	8.63%	1.44%
	75～79歳	96	17.71%	55.21%	4.17%	11.46%	5.21%	6.25%
	80～84歳	86	20.93%	47.67%	0.00%	22.09%	6.98%	2.33%
	85～89歳	49	26.53%	26.53%	0.00%	20.41%	8.16%	18.37%
	90～94歳	17	29.41%	17.65%	0.00%	23.53%	23.53%	5.88%
	95歳～	3	66.67%	0.00%	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	23.09%	45.29%	4.71%	13.68%	8.97%	4.26%
	要支援1	10	30.00%	50.00%	0.00%	10.00%	10.00%	0.00%
	要支援2	17	5.29%	11.76%	0.00%	17.65%	17.65%	17.65%

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

普段の生活における介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が82.66%と最も多く、一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は5.92%、「現在、何らかの介護を受けている」は5.92%となっており、介護・介助を必要とする人は合計11.84%となっています。



普段の生活における介護・介助の必要性を性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

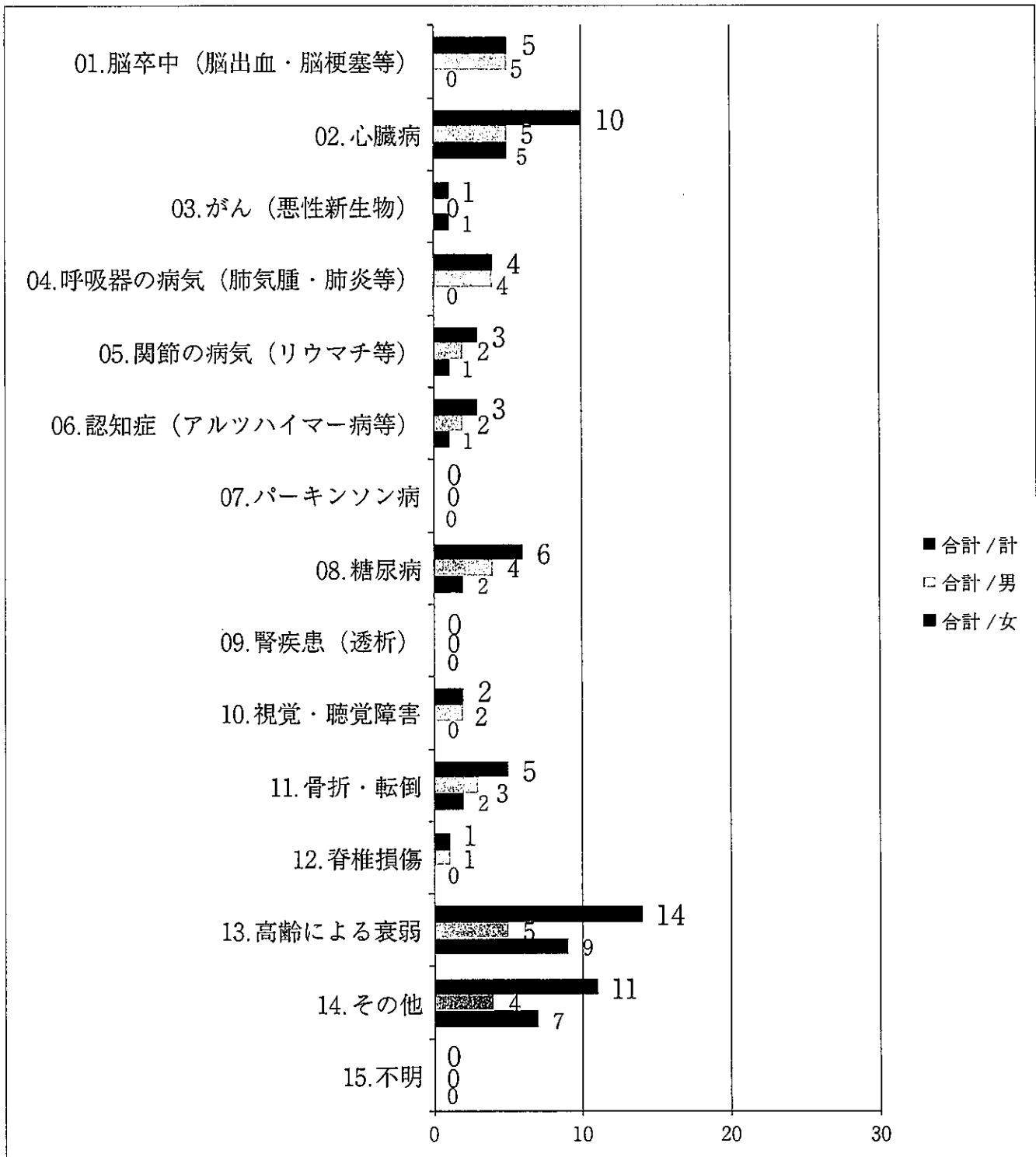
		回答者数	1. 介護・介助は必要ない	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	3. 現在何らかの介護を受けている	4. 無回答
性別	男性	211	83.41%	7.11%	4.74%	4.74%
	女性	262	82.06%	4.96%	6.87%	6.11%
年齢別	65～69歳	83	95.18%	0.00%	2.41%	2.41%
	70～74歳	139	97.84%	0.72%	0.00%	1.44%
	75～79歳	96	79.17%	6.25%	5.21%	9.38%
	80～84歳	86	74.42%	12.79%	8.14%	4.65%
	85～89歳	49	53.06%	14.29%	16.33%	16.33%
	90～94歳	17	52.94%	17.65%	23.53%	5.88%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	85.43%	5.61%	3.81%	5.16%
	要支援1	10	70.00%	10.00%	20.00%	0.00%
	要支援2	17	17.65%	11.76%	52.94%	17.65%

【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

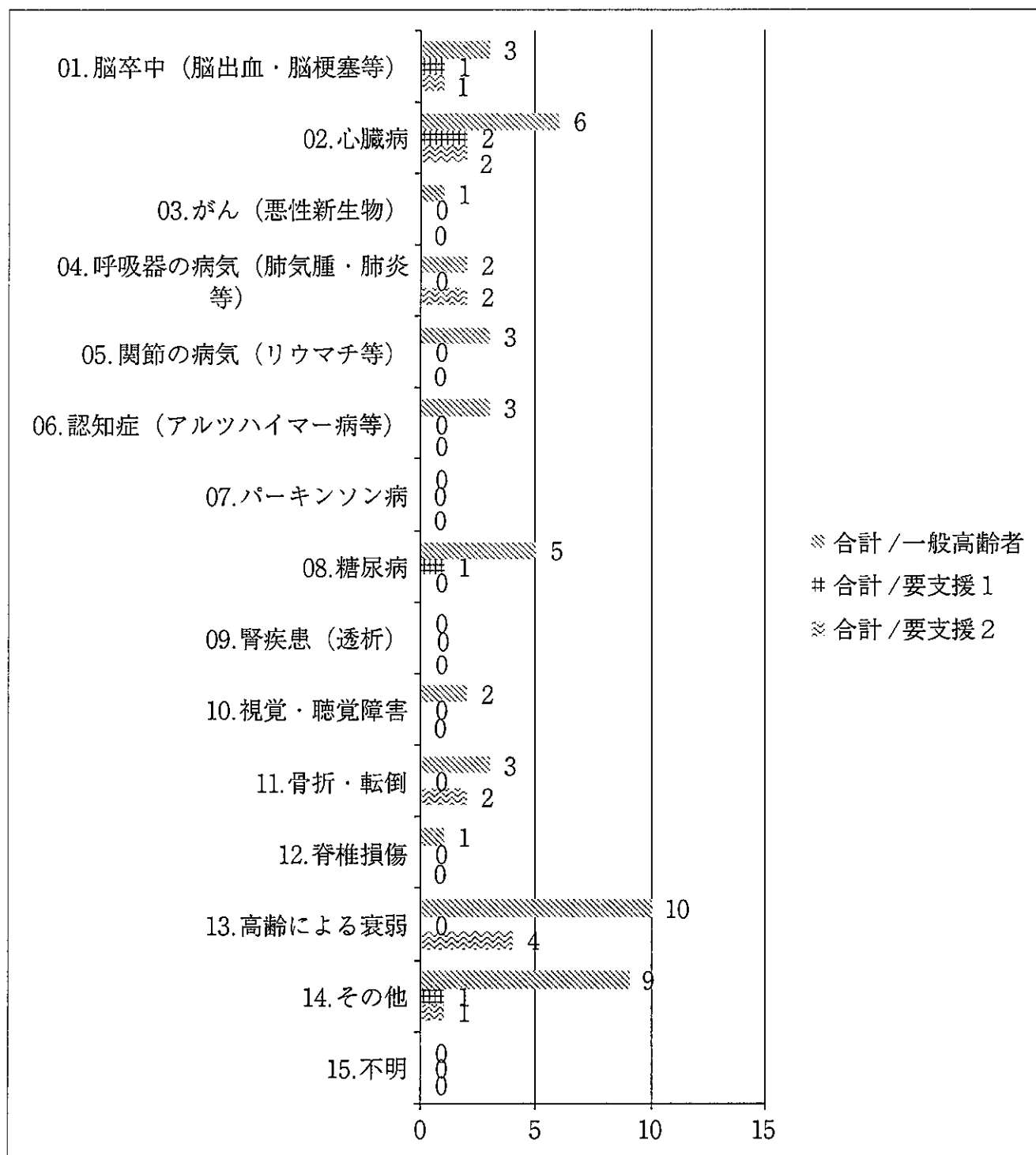
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を選択した回答者のその要因を集計したところ、次のようになり、男性、女性ともに「13.高齢による衰弱」が最も多くなっています。

(単位：人)



次に、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を選択した回答者のその要因を介護認定別に集計したところ、次のようになり、介護認定を受けていない方（一般高齢者）では、「13.高齢による衰弱」が最も多くなり、要支援1、2の認定を受けている方は様々な要因で介護・介助が必要となっています。

(単位：人)

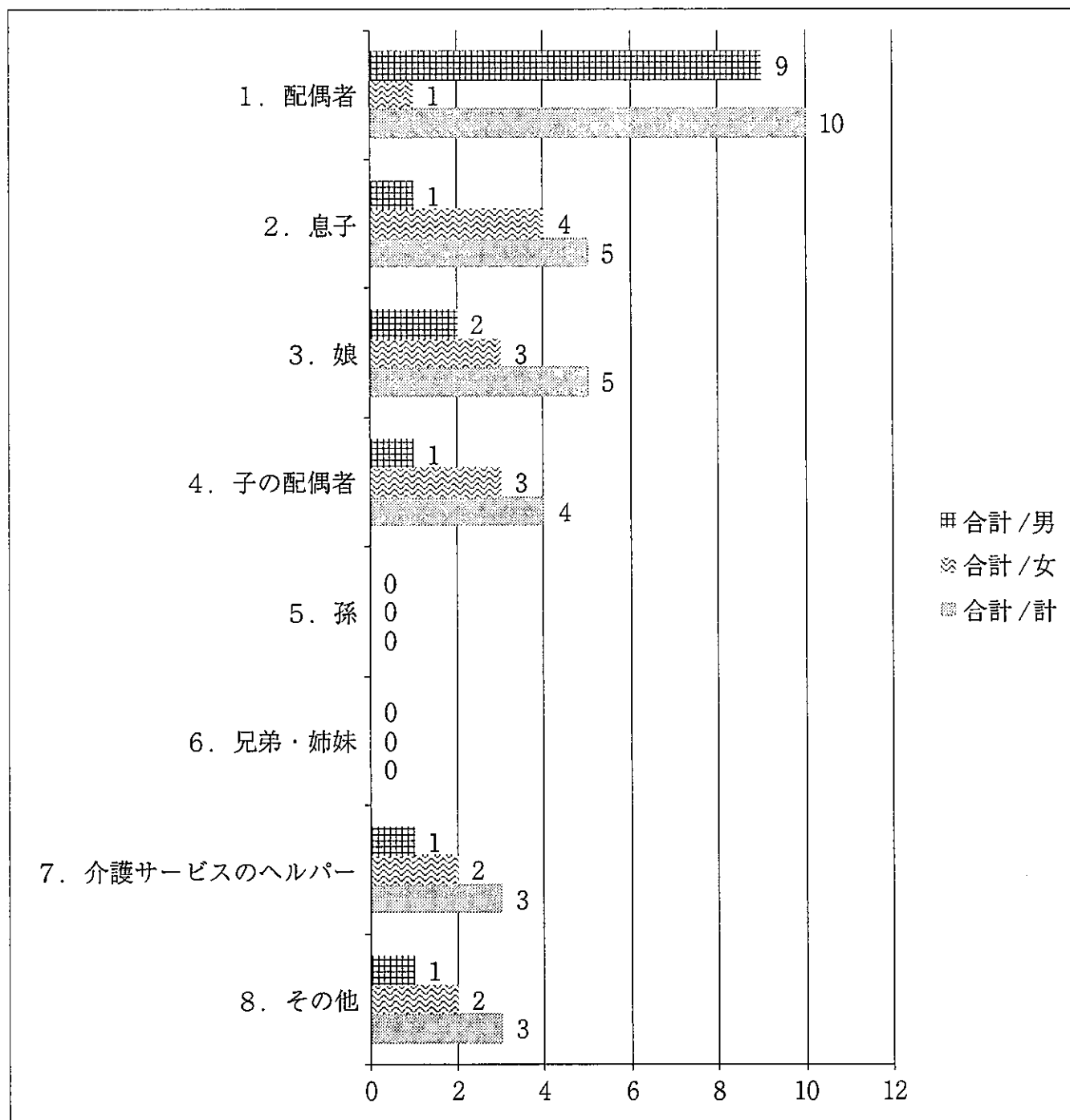


【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

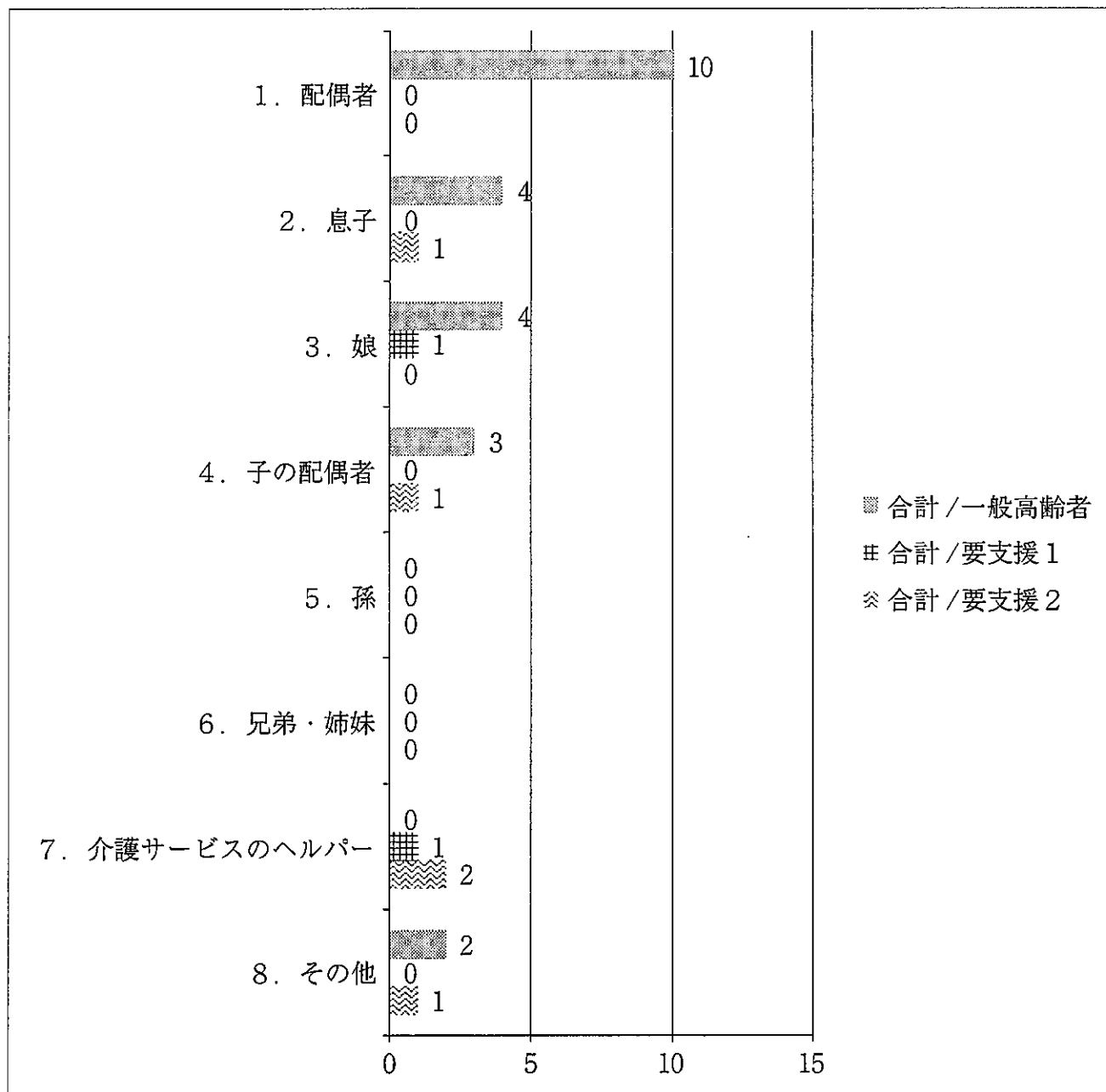
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を選択した回答者のうち、どなたの介護・介助を受けているかを集計したところ、次のようになり、男性では、「1. 配偶者」が最も多く、女性では、「4. 息子」が最も多く、全体においては「3. 配偶者」が最も多くなっています。

(単位：人)



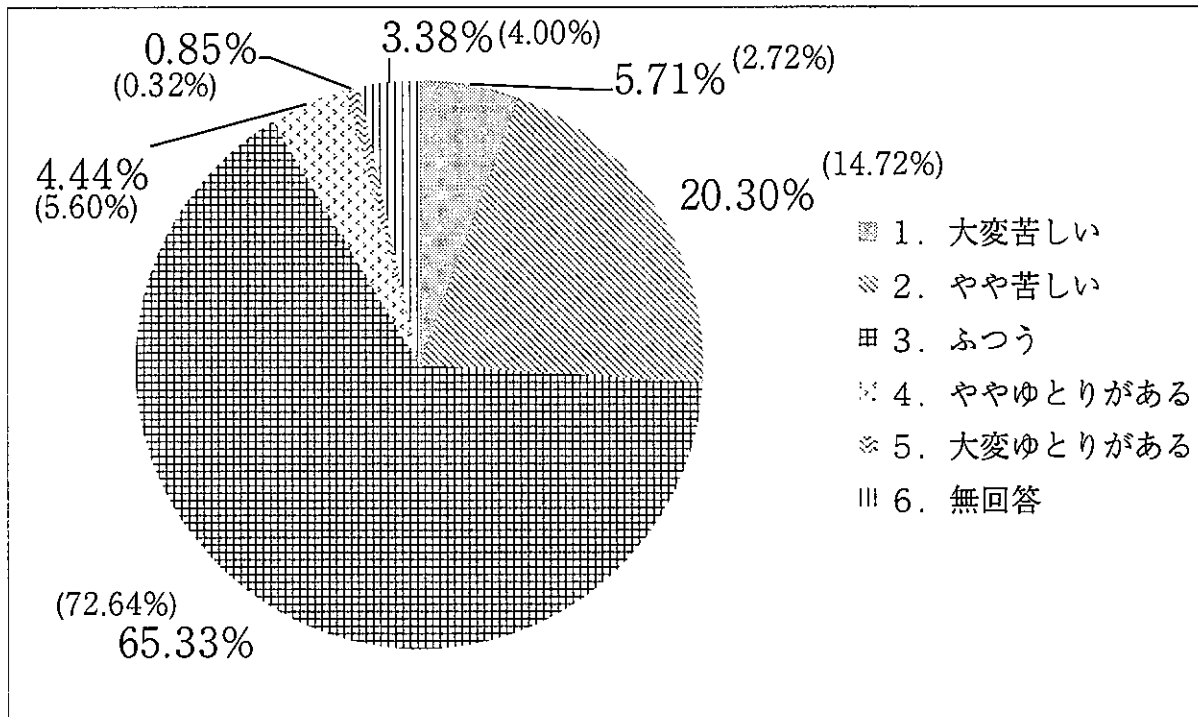
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」を選択した回答者のうち、どなたの介護・介助を受けているかを介護認定別に集計したところ、次のようになり、介護認定を受けていない方（一般高齢者）では、「1. 配偶者」が最も多く、要支援1の認定を受けている方では、「3. 娘」と「7. 介護サービスのヘルパー」が最も多く、要支援2の認定を受けている方では、「7. 介護サービスのヘルパー」が最も多くなっています。

(単位：人)



(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

経済的にみた現在の暮らしの状況について、「ふつう」が65.33%を占めています。次いで「やや苦しい」が20.30%となっており、「大変苦しい」の5.71%と合計した「苦しい」が26.01%となっています。



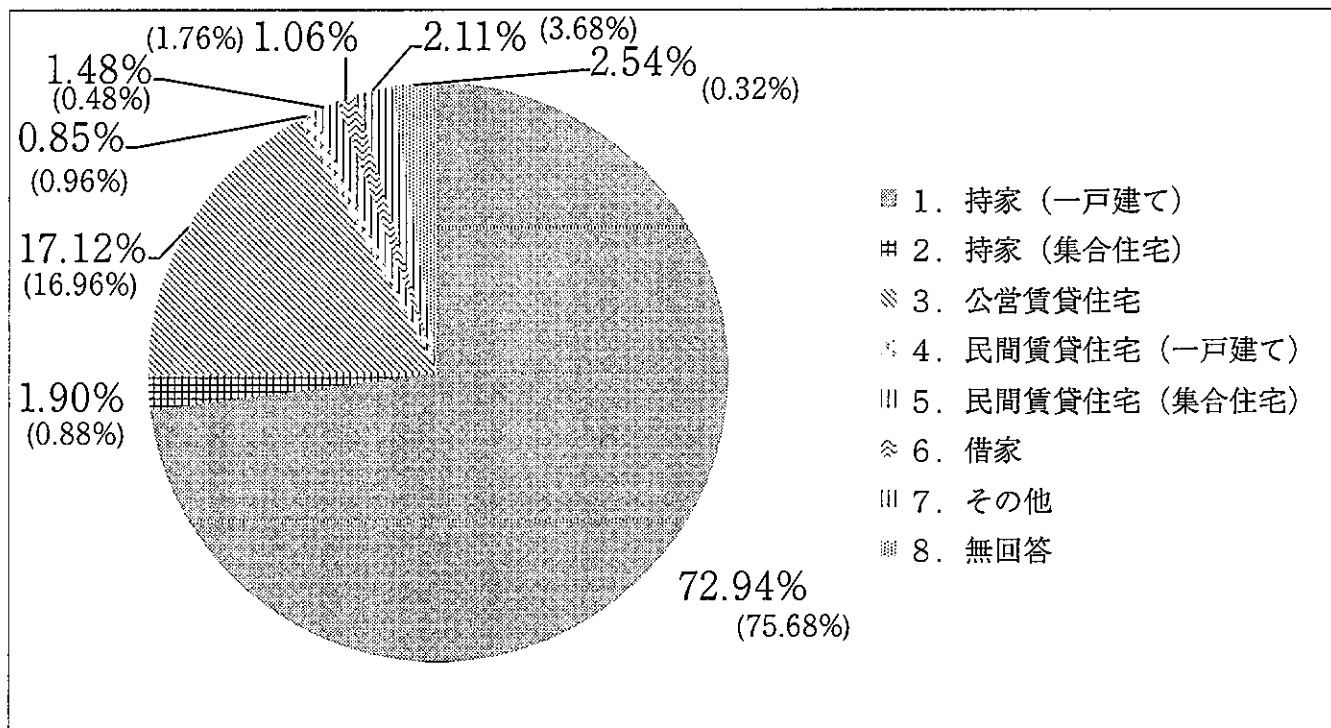
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう	4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	6. 無回答
性別	男性	211	5.69%	19.90%	67.77%	4.23%	0.95%	1.42%
	女性	262	5.73%	20.61%	63.36%	4.58%	0.76%	4.96%
年齢別	65～69歳	83	4.82%	19.28%	67.47%	3.61%	1.20%	3.61%
	70～74歳	139	7.91%	20.86%	65.47%	2.88%	0.00%	2.88%
	75～79歳	96	5.21%	19.79%	63.54%	6.25%	3.13%	2.08%
	80～84歳	86	4.65%	17.44%	67.44%	5.81%	0.00%	4.65%
	85～89歳	49	2.04%	22.45%	69.39%	2.04%	0.00%	4.08%
	90～94歳	17	5.88%	35.29%	47.06%	11.76%	0.00%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	5.61%	20.63%	65.02%	4.71%	0.90%	3.14%
	要支援1	10	10.00%	0.00%	90.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	要支援2	17	5.88%	23.53%	58.82%	0.00%	0.00%	11.76%

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居について、「1. 持家（一戸建て）」が最も多く72.94%を占め、次いで「3. 公営賃貸住宅」の17.12%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

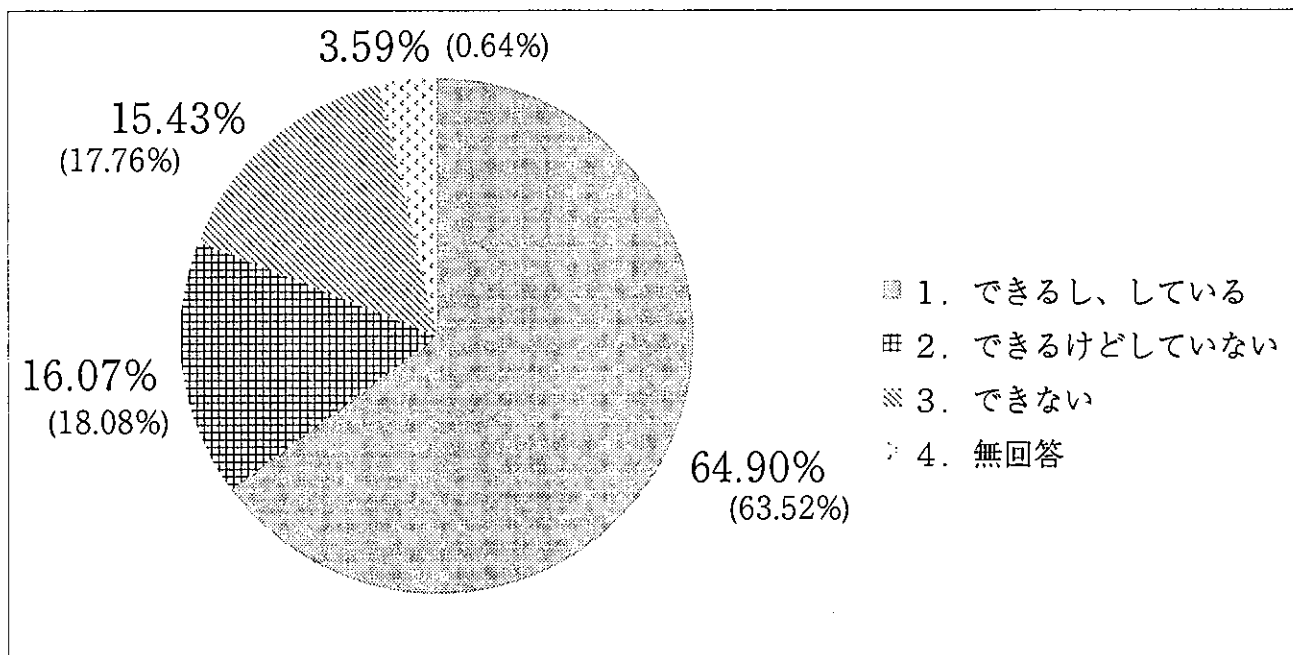
（最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。）

		回答者数	1. 持家（一戸建て）	2. 持家（集合住宅）	3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	5. 民間賃貸住宅（集合住宅）	6. 借家	7. その他	8. 無回答
性別	男性	211	76.78%	3.32%	12.80%	1.42%	1.90%	0.47%	1.90%	1.42%
	女性	262	69.85%	0.76%	20.61%	0.38%	1.15%	1.53%	2.29%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	68.67%	6.02%	21.69%	0.00%	0.00%	0.00%	2.41%	1.20%
	70～74歳	139	69.78%	1.44%	20.14%	0.72%	3.60%	1.44%	1.44%	1.44%
	75～79歳	96	77.08%	1.04%	14.58%	1.04%	1.04%	1.04%	2.08%	2.08%
	80～84歳	86	79.07%	1.16%	12.79%	0.00%	1.16%	1.16%	1.16%	3.49%
	85～89歳	49	77.55%	0.00%	14.29%	0.00%	0.00%	0.00%	2.04%	6.12%
	90～94歳	17	58.82%	0.00%	17.65%	11.76%	0.00%	5.88%	5.88%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	73.55%	2.02%	17.49%	0.90%	1.57%	1.12%	1.35%	2.02%
	要支援1	10	90.00%	0.00%	10.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
	要支援2	17	47.06%	0.00%	11.76%	0.00%	0.00%	0.00%	23.53%	17.65%

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについて、「1. できるし、している」が最も多く64.90%を占め、「2. できるけど、していない」が16.07%、「3. できない」が15.43%となりました。



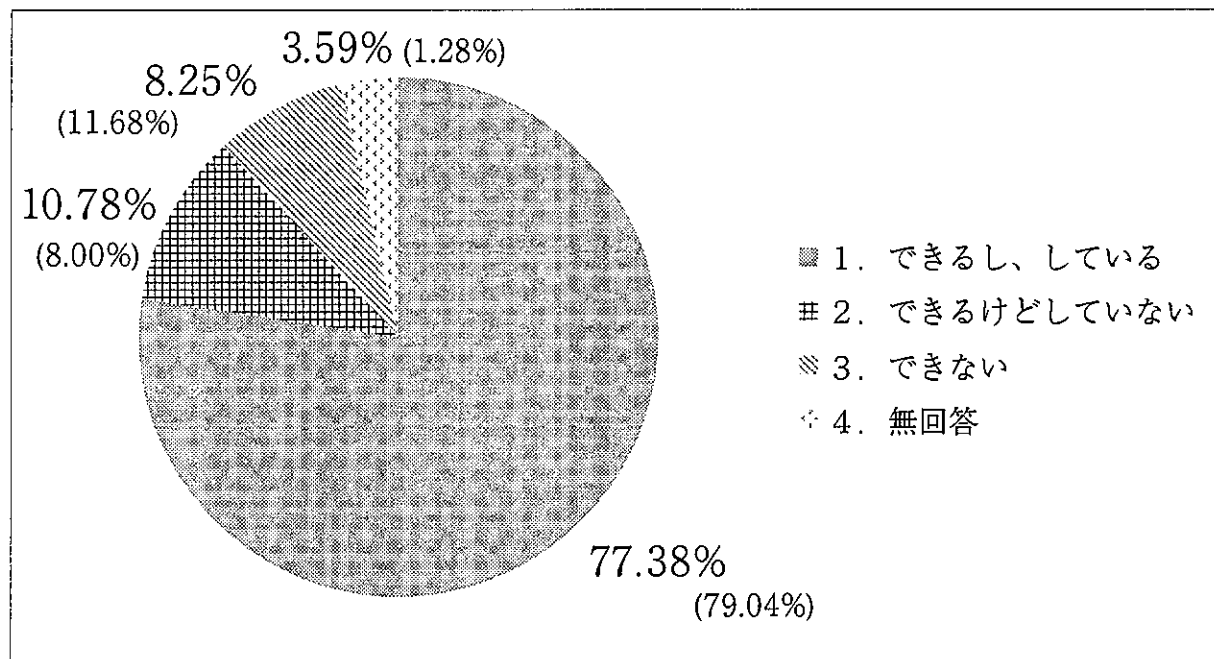
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし、している	2. できるけど、していない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	73.93%	12.32%	10.43%	3.32%
	女性	262	57.63%	19.08%	19.47%	3.82%
年齢別	65～69歳	83	85.54%	10.84%	2.41%	1.20%
	70～74歳	139	73.38%	16.55%	7.91%	2.16%
	75～79歳	96	67.71%	17.71%	10.42%	4.17%
	80～84歳	86	47.67%	20.93%	27.91%	3.49%
	85～89歳	49	44.90%	14.29%	30.61%	10.20%
	90～94歳	17	35.29%	11.76%	52.94%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	66.67%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	67.26%	15.92%	13.45%	3.36%
	要支援1	10	20.00%	40.00%	40.00%	0.00%
	要支援2	17	29.41%	5.88%	52.94%	11.76%

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がるについて、「1. できるし、している」が最も多く77.38%を占め、「2. できるけど、していない」が10.78%、「3. できない」が8.25%となりました。



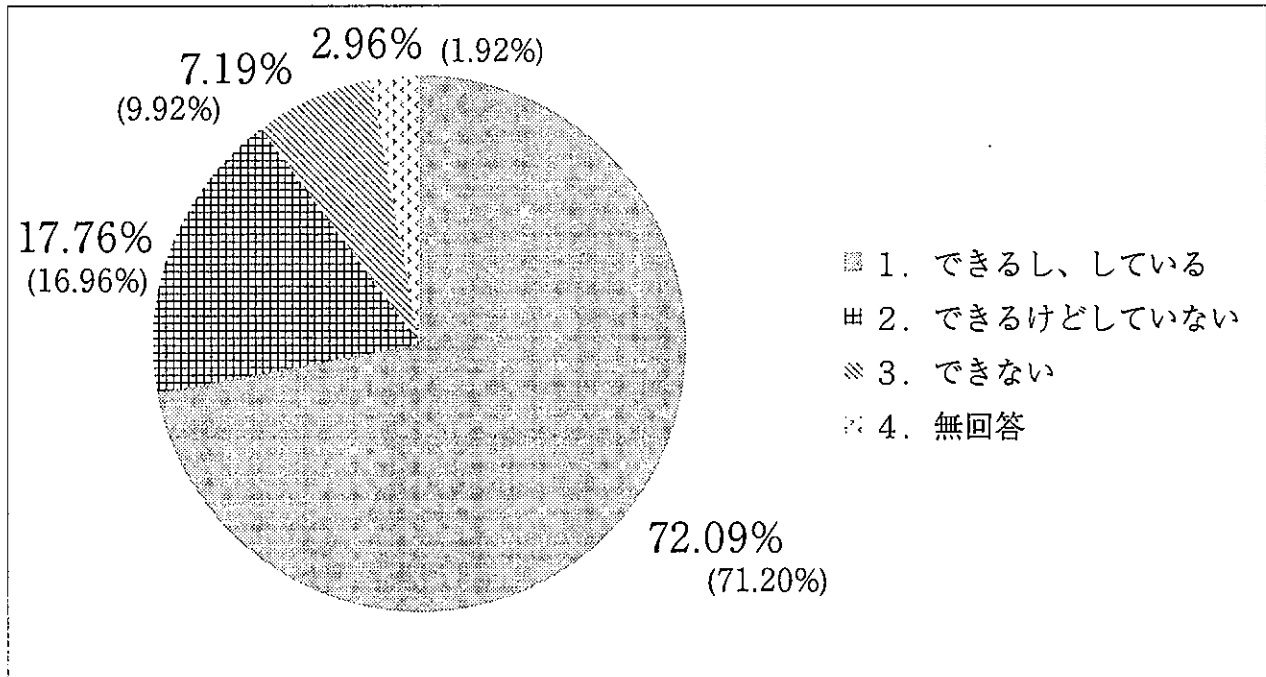
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	80.09%	12.80%	5.21%	1.90%
	女性	262	75.19%	9.16%	10.09%	4.96%
年齢別	65～69歳	83	91.57%	4.82%	1.20%	2.41%
	70～74歳	139	83.45%	10.07%	3.60%	2.88%
	75～79歳	96	78.13%	13.54%	5.21%	3.13%
	80～84歳	86	70.93%	9.30%	15.11%	4.65%
	85～89歳	49	63.27%	14.29%	16.33%	6.12%
	90～94歳	17	35.29%	29.41%	35.29%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	79.60%	10.54%	6.50%	3.36%
	要支援1	10	40.00%	30.00%	30.00%	0.00%
	要支援2	17	41.18%	5.88%	41.18%	11.76%

(3) 15 分位続けて歩いていますか

15分位続けて歩くことについて、「1. できるし、している」が最も多く72.09%を占め、「2. できるけど、していない」が17.76%、「3. できない」が7.19%となりました。



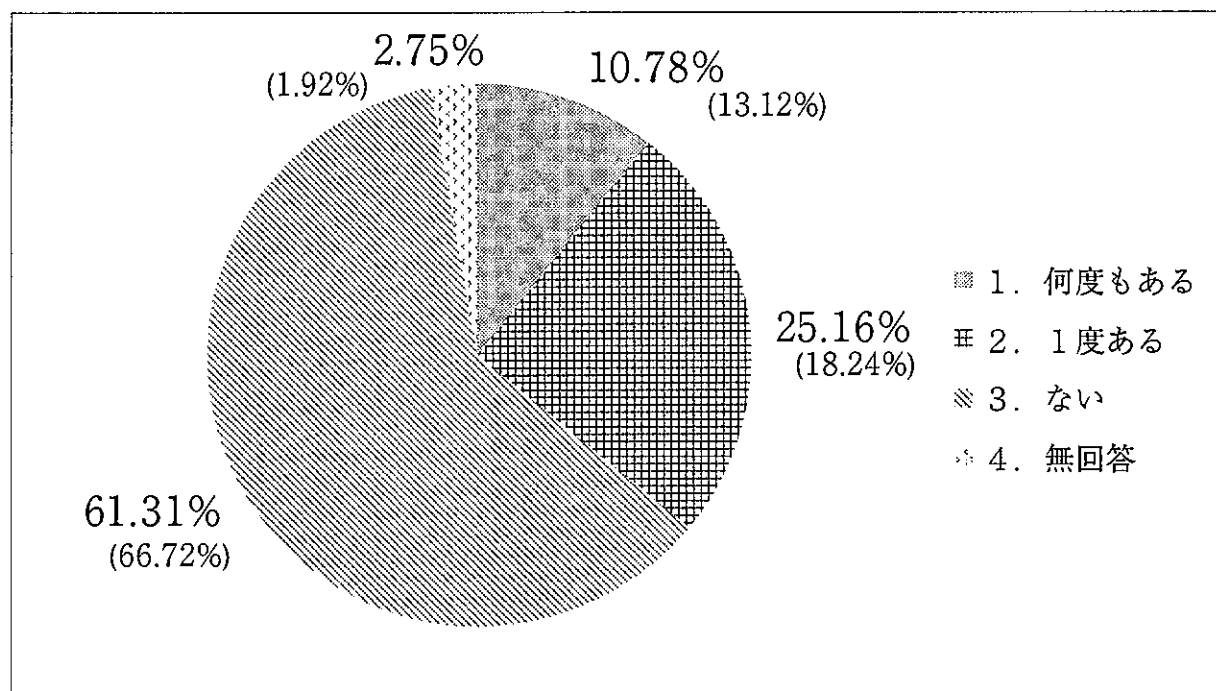
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	78.20%	14.22%	6.16%	1.42%
	女性	262	66.79%	20.99%	8.02%	4.20%
年齢別	65～69歳	83	84.34%	13.25%	1.20%	1.20%
	70～74歳	139	74.10%	22.30%	1.43%	2.16%
	75～79歳	96	77.08%	18.75%	2.08%	2.08%
	80～84歳	86	63.95%	15.12%	16.28%	4.65%
	85～89歳	49	63.26%	14.29%	16.33%	6.12%
	90～94歳	17	47.06%	17.65%	35.29%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	33.33%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	73.77%	17.71%	5.83%	2.69%
	要支援1	10	60.00%	20.00%	20.00%	0.00%
	要支援2	17	29.41%	23.53%	35.29%	11.76%

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

過去1年間に転んだ経験について、「1. 何度もある」が10.78%、「2. 1度ある」が25.16%で転倒経験が「ある」という方が合計35.94%で、「3. ない」が61.31%となっています。



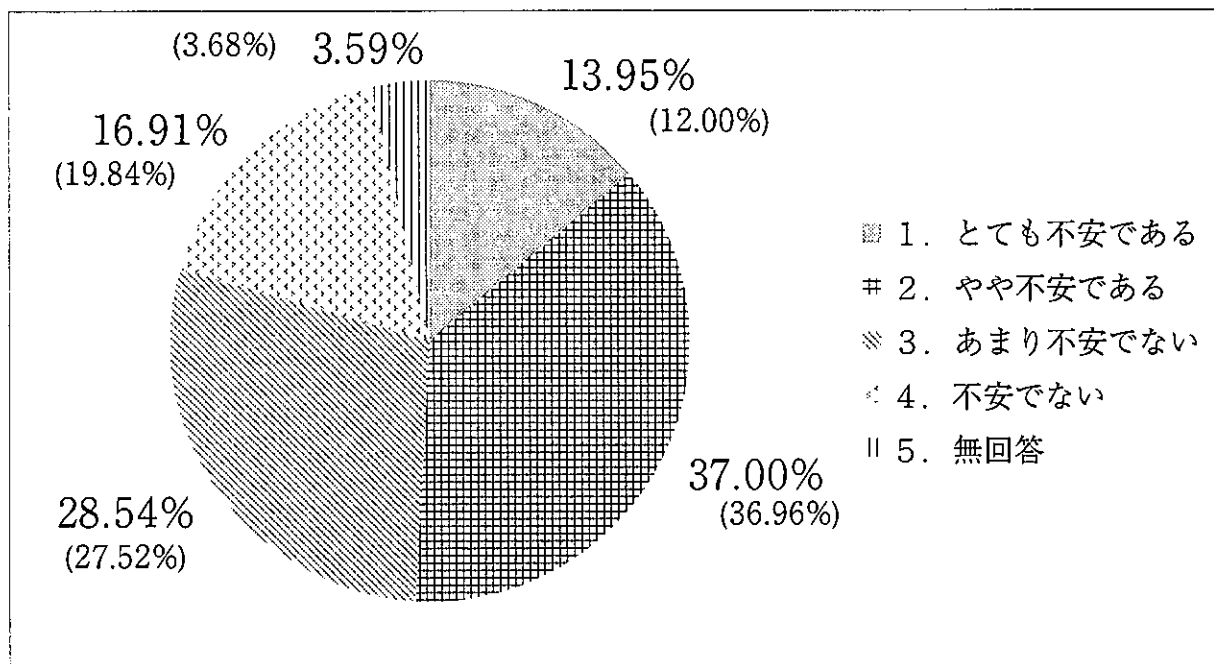
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	4. 無回答
性別	男性	211	10.43%	23.70%	63.98%	1.90%
	女性	262	11.07%	26.34%	59.16%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	4.82%	22.89%	71.08%	1.20%
	70～74歳	139	5.04%	23.74%	69.06%	2.16%
	75～79歳	96	8.33%	27.08%	61.46%	3.13%
	80～84歳	86	16.28%	31.40%	48.84%	3.49%
	85～89歳	49	26.53%	20.41%	48.98%	4.08%
	90～94歳	17	23.53%	23.53%	52.94%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	9.64%	25.78%	62.11%	2.47%
	要支援1	10	30.00%	0.00%	70.00%	0.00%
	要支援2	17	29.41%	23.53%	35.29%	11.76%

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

転倒に対する不安について、「とても不安である」が 13.95%、「やや不安である」が 37.00%となっており、『不安である』の合計は 50.95%となっています。一方、「あまり不安でない」は 28.54%、「不安でない」は 16.91%で、合計した『不安でない』は 45.45%となっています。



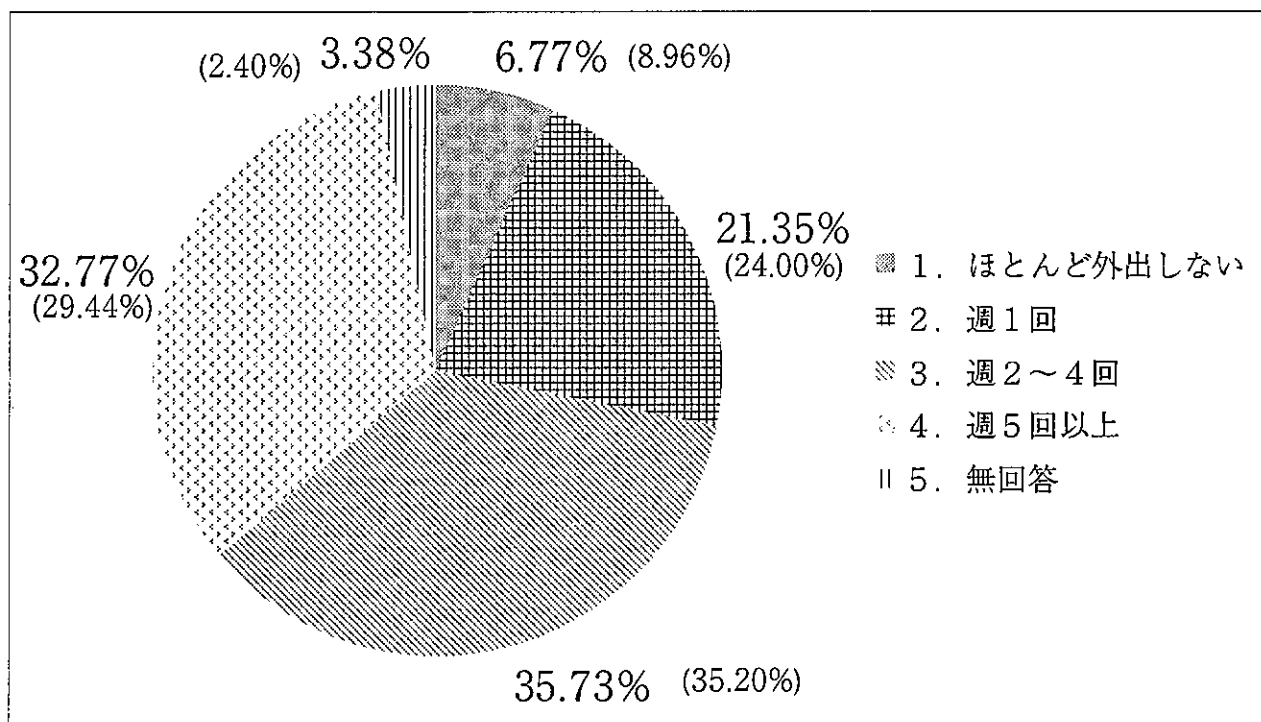
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない	5. 無回答
性別	男性	211	10.90%	29.86%	33.65%	23.22%	2.37%
	女性	262	16.41%	42.75%	24.43%	11.83%	4.58%
年齢別	65～69歳	83	7.23%	31.51%	31.33%	32.53%	1.20%
	70～74歳	139	10.07%	33.09%	35.97%	17.99%	2.88%
	75～79歳	96	10.42%	42.71%	31.25%	13.54%	2.08%
	80～84歳	86	19.77%	40.70%	18.60%	13.95%	6.98%
	85～89歳	49	24.49%	44.90%	20.41%	6.12%	4.08%
	90～94歳	17	35.29%	41.18%	17.65%	0.00%	5.88%
	95歳～	3	33.33%	33.33%	0.00%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	12.56%	36.77%	29.60%	17.94%	3.14%
	要支援 1	10	20.00%	40.00%	30.00%	0.00%	10.00%
	要支援 2	17	47.06%	41.18%	0.00%	0.00%	11.76%

(6) 週に1回以上は外出していますか

1週間あたりの外出頻度について、「週2～4回以上」が35.73%で最も高く、次いで「週5回以上」が32.77%、「週1回」が21.35%となっています。



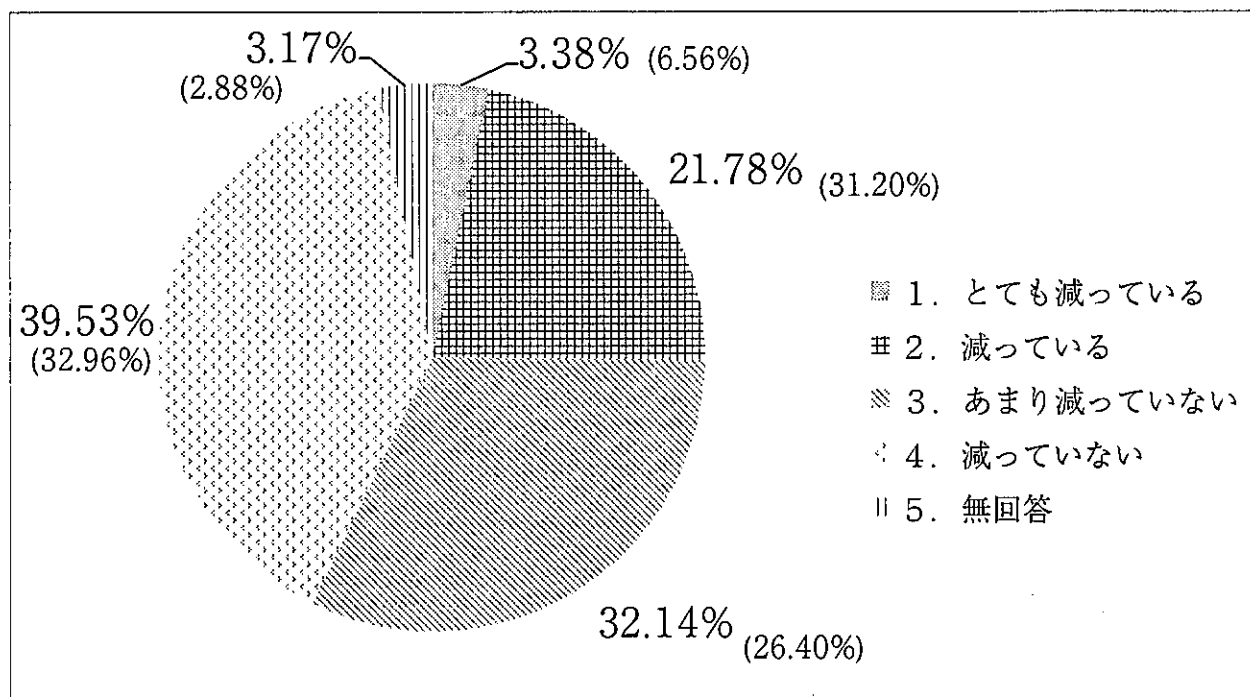
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上	5. 無回答
性別	男性	211	5.69%	17.06%	31.28%	43.60%	2.37%
	女性	262	7.63%	24.81%	39.31%	24.05%	4.20%
年齢別	65～69歳	83	0.00%	14.46%	26.51%	56.63%	2.41%
	70～74歳	139	2.16%	23.02%	41.01%	30.94%	2.88%
	75～79歳	96	4.17%	26.04%	45.83%	21.88%	2.08%
	80～84歳	86	12.79%	22.09%	26.74%	34.88%	3.49%
	85～89歳	49	16.32%	20.41%	34.69%	22.45%	6.12%
	90～94歳	17	29.41%	17.65%	29.41%	17.65%	5.88%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	33.33%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	4.93%	21.08%	36.55%	34.30%	3.14%
	要支援1	10	20.00%	50.00%	20.00%	10.00%	0.00%
	要支援2	17	47.06%	11.76%	23.53%	5.88%	11.76%

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

昨年と比べての外出の回数について、「減っていない」が39.53%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が32.14%となっています。また、「減っている」は21.78%、「とても減っている」は3.38%でした。大きな分類をすると『減っていない』は71.67%で、『減っている』が25.16%となっています。



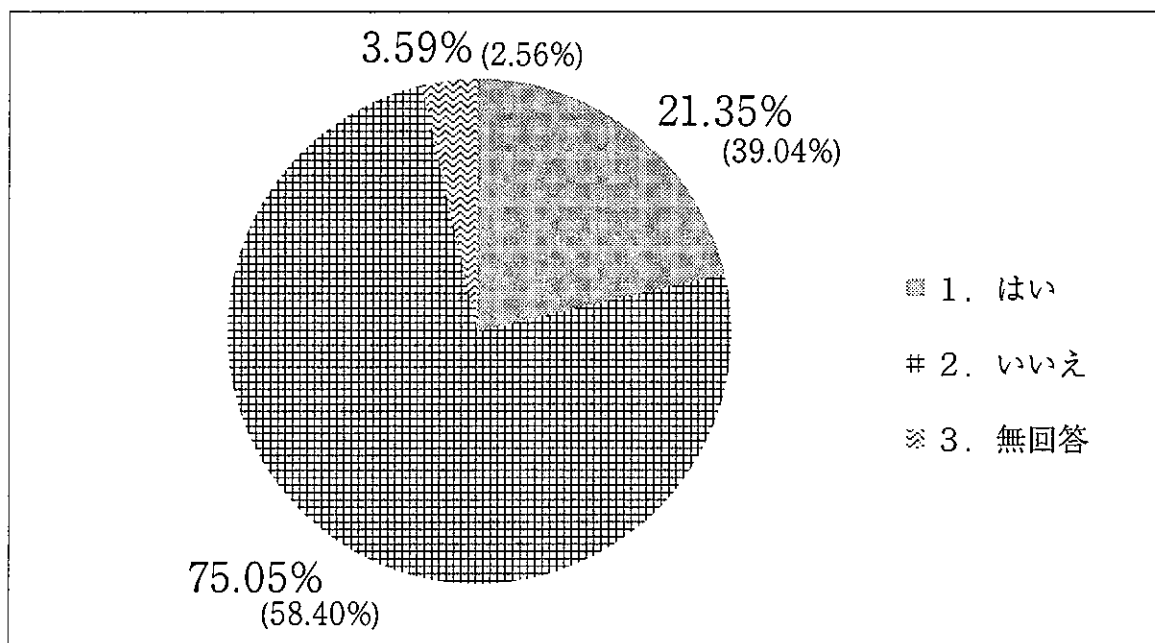
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない	5. 無回答
性別	男性	211	3.32%	17.06%	31.75%	45.97%	1.90%
	女性	262	3.44%	25.58%	32.44%	34.35%	4.20%
年齢別	65～69歳	83	1.20%	18.07%	27.71%	51.81%	1.20%
	70～74歳	139	2.16%	17.27%	31.65%	46.04%	2.88%
	75～79歳	96	3.13%	18.75%	39.58%	36.46%	2.08%
	80～84歳	86	4.65%	24.42%	31.40%	34.88%	4.65%
	85～89歳	49	6.12%	34.69%	26.53%	28.57%	4.08%
	90～94歳	17	11.76%	41.18%	35.29%	5.88%	5.88%
	95歳～	3	0.00%	33.33%	33.33%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	2.91%	20.63%	32.06%	41.48%	2.91%
	要支援1	10	0.00%	40.00%	60.00%	0.00%	0.00%
	要支援2	17	17.65%	41.18%	17.65%	11.76%	11.76%

(8) 外出を控えていますか

外出を控えているかについては、「はい」が21.35%で、「いいえ」が75.05%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

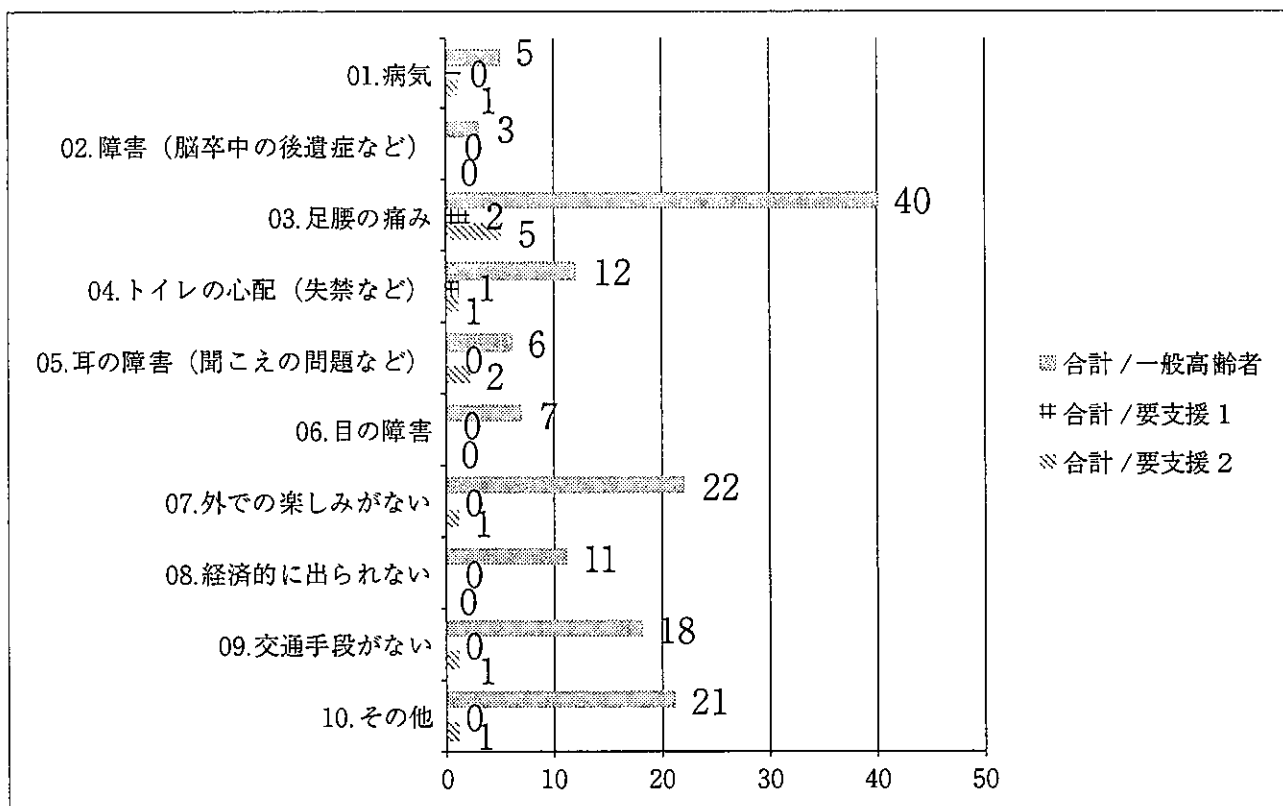
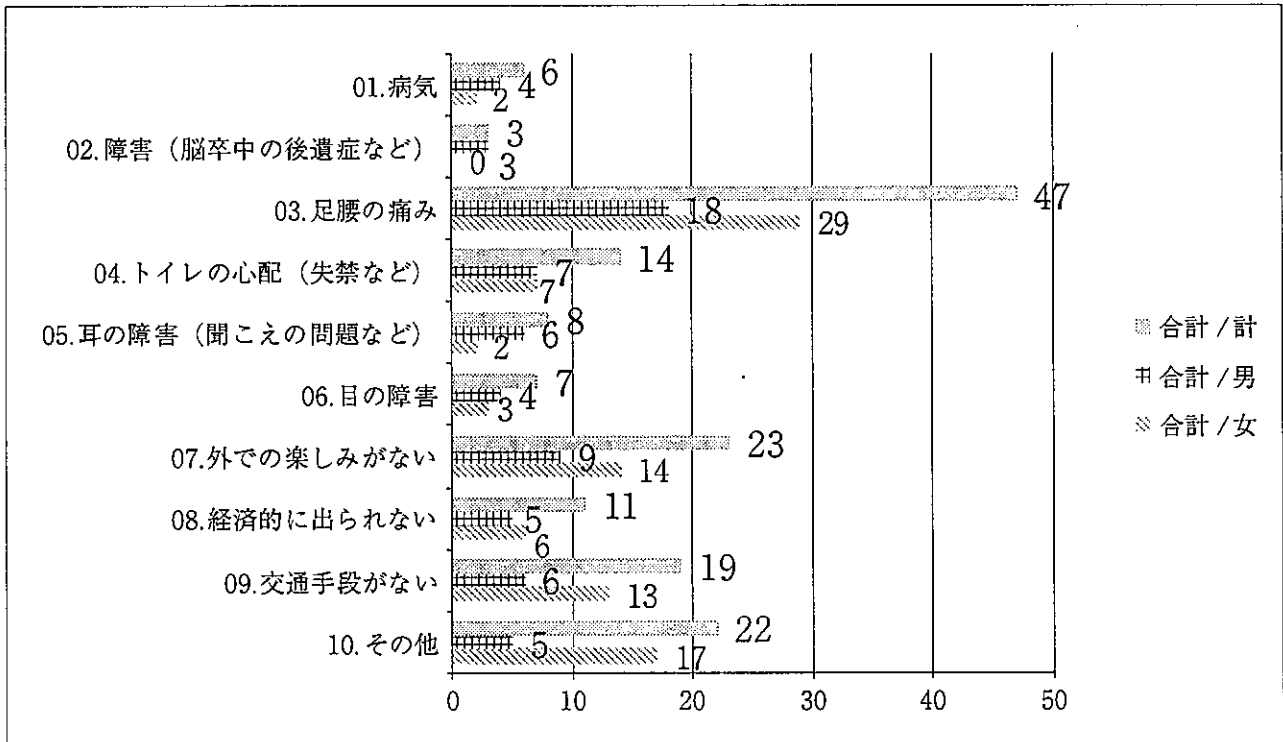
(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	17.06%	81.52%	1.42%
	女性	262	24.81%	69.85%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	14.46%	84.34%	1.20%
	70～74歳	139	15.83%	81.29%	2.88%
	75～79歳	96	19.79%	78.13%	2.08%
	80～84歳	86	24.42%	70.93%	4.65%
	85～89歳	49	30.61%	63.27%	6.12%
	90～94歳	17	64.71%	23.53%	11.76%
	95歳～	3	33.33%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	20.18%	76.46%	3.36%
	要支援1	10	30.00%	70.00%	0.00%
	要支援2	17	47.06%	41.18%	11.76%

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

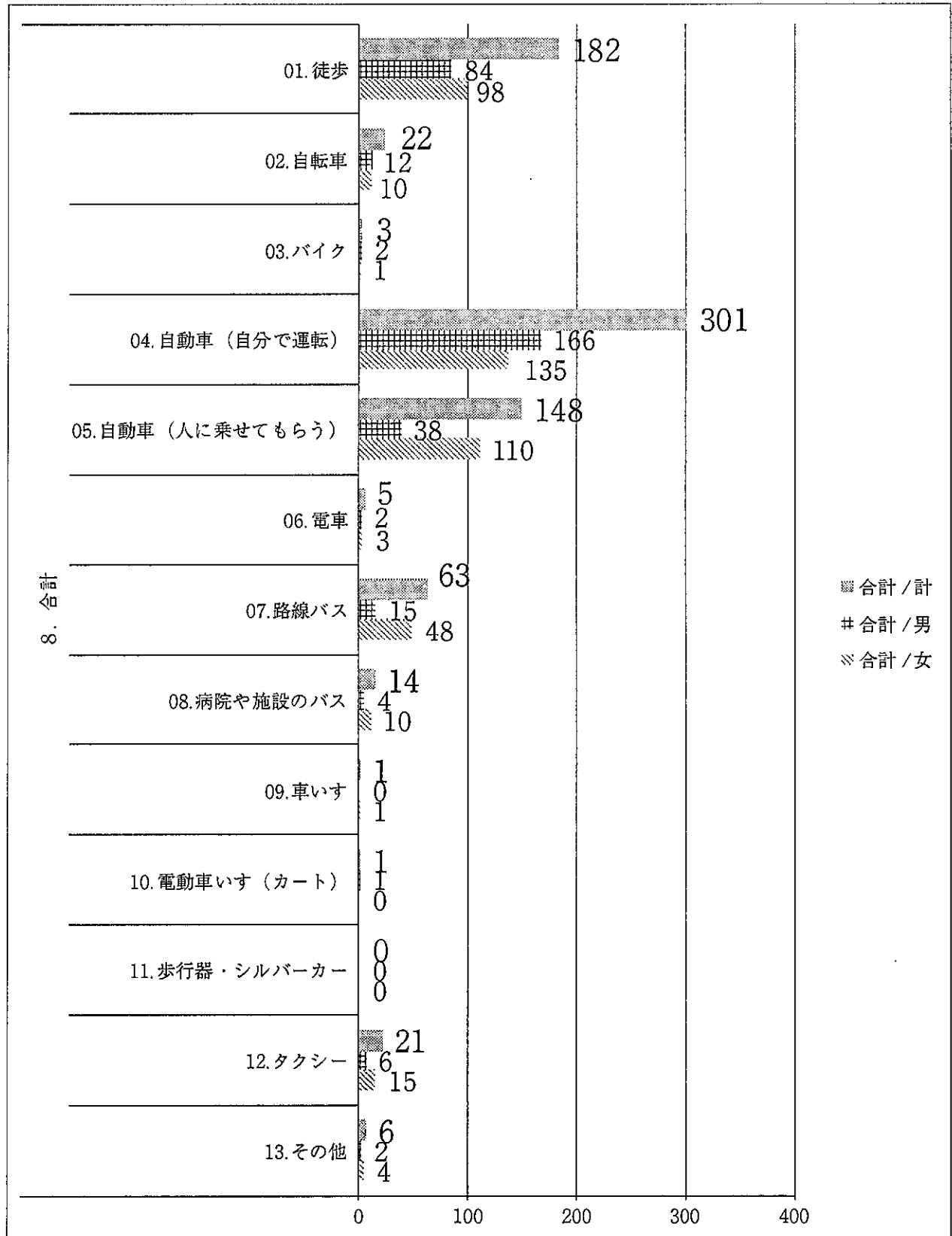
①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

「外出を控えているか」について、「1. はい」と回答した方のその理由については、性別、介護認定別のいずれにおいても「3. 足腰の痛み」が最も多く、次いで「7. 外での楽しみがない」を選択している方が多かったです。



(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

外出する際の移動手段について、合計では「4. 自動車 (自分で運転)」が 301 人と最も多く、次いで、「1. 徒歩」182 人、「5. 自動車 (人に乗せてもらう)」が 148 人となっています。その他の交通手段も含めた集計は次のようになっています。



年齢別に移動手段をとりまとめたものは次のようになっています。

年齢層	移動手段	男	女	計	年齢層	移動手段	男	女	計
1. 65～69歳	01.徒歩	21	15	36	5. 85～89歳	01.徒歩	9	10	19
	02.自転車	3	3	6		02.自転車	1	1	2
	03.バイク	1	0	1		03.バイク	0	0	0
	04.自動車 自分で運転	37	32	69		04.自動車 自分で運転	11	5	16
	05.自動車 人に乗せてもらう	3	14	17		05.自動車 人に乗せてもらう	10	15	25
	06.電車	1	2	3		06.電車	0	0	0
	07.路線バス	5	6	11		07.路線バス	0	3	3
	08.病院や施設のバス	1	0	1		08.病院や施設のバス	1	2	3
	09.車いす	0	0	0		09.車いす	0	0	0
	10.電動車いす カート	0	0	0		10.電動車いす カート	1	0	1
	11.歩行器 シルバーカー	0	0	0		11.歩行器 シルバーカー	0	0	0
	12.タクシー	3	0	3		12.タクシー	1	2	3
	13.その他	0	0	0		13.その他	0	1	1
2. 70～74歳	01.徒歩	17	34	51	6. 90～94歳	01.徒歩	7	4	11
	02.自転車	3	1	4		02.自転車	0	0	0
	03.バイク	1	0	1		03.バイク	0	0	0
	04.自動車 自分で運転	54	53	107		04.自動車 自分で運転	3	0	3
	05.自動車 人に乗せてもらう	8	25	33		05.自動車 人に乗せてもらう	4	6	10
	06.電車	1	1	2		06.電車	0	0	0
	07.路線バス	3	13	16		07.路線バス	2	3	5
	08.病院や施設のバス	0	4	4		08.病院や施設のバス	2	3	5
	09.車いす	0	0	0		09.車いす	0	1	1
	10.電動車いす カート	0	0	0		10.電動車いす カート	0	0	0
	11.歩行器 シルバーカー	0	0	0		11.歩行器 シルバーカー	0	0	0
	12.タクシー	0	4	4		12.タクシー	1	1	2
	13.その他	1	0	1		13.その他	1	1	2
3. 75～79歳	01.徒歩	19	20	39	7. 95～歳	01.徒歩	0	0	0
	02.自転車	4	3	7		02.自転車	0	0	0
	03.バイク	0	1	1		03.バイク	0	0	0
	04.自動車 自分で運転	38	21	59		04.自動車 自分で運転	0	0	0
	05.自動車 人に乗せてもらう	6	24	30		05.自動車 人に乗せてもらう	1	2	3
	06.電車	0	0	0		06.電車	0	0	0
	07.路線バス	3	10	13		07.路線バス	0	0	0
	08.病院や施設のバス	0	1	1		08.病院や施設のバス	0	0	0
	09.車いす	0	0	0		09.車いす	0	0	0
	10.電動車いす カート	0	0	0		10.電動車いす カート	0	0	0
	11.歩行器 シルバーカー	0	0	0		11.歩行器 シルバーカー	0	0	0
	12.タクシー	0	3	3		12.タクシー	0	1	1
	13.その他	0	0	0		13.その他	0	0	0
4. 80～84歳	01.徒歩	11	15	26					
	02.自転車	1	2	3					
	03.バイク	0	0	0					
	04.自動車 自分で運転	23	24	47					
	05.自動車 人に乗せてもらう	6	24	30					
	06.電車	0	0	0					
	07.路線バス	2	13	15					
	08.病院や施設のバス	0	0	0					
	09.車いす	0	0	0					
	10.電動車いす カート	0	0	0					
	11.歩行器 シルバーカー	0	0	0					
	12.タクシー	1	4	5					
	13.その他	0	2	2					

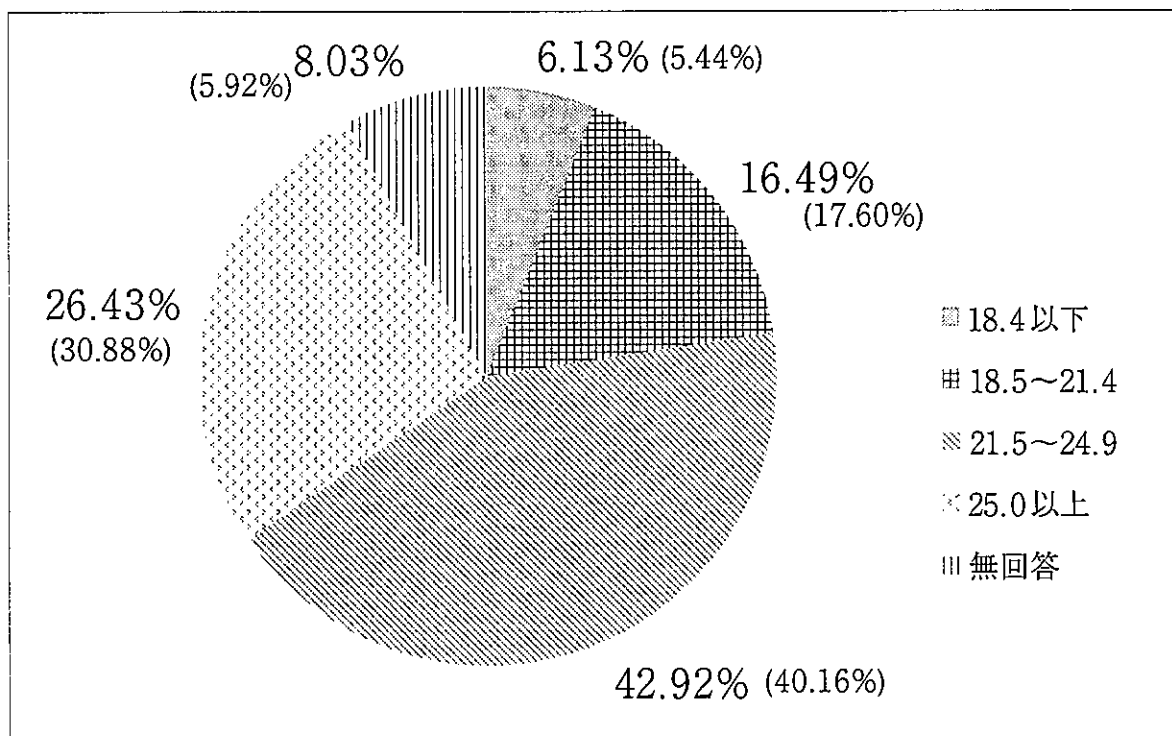
介護認定別に移動手段を集計したものは、次のようになっています。一般高齢者では、「4. 自動車（自分で運転）」が297人と最も多く、要支援1，2では、「5. 自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ5人、11人となり、最も多くなっています。

行ラベル	▼ 合計 / 一般高齢者	合計 / 要支援1	合計 / 要支援2
01.徒歩	171	6	1
02.自転車	22	0	0
03.バイク	3	0	0
04.自動車(自分で運転)	297	2	2
05.自動車(人に乗せてもらう)	132	5	11
06.電車	5	0	0
07.路線バス	63	0	0
08.病院や施設のバス	16	2	2
09.車いす	1	0	0
10.電動車いす(カート)	0	1	0
11.歩行器・シルバーカー	0	0	0
12.タクシー	16	2	3
13.その他	4	0	2
総計	730	18	21

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長・体重から求めたBMIについて、「普通体重(18.5～24.9)」が59.41%を占めており、「肥満(25.0以上)」は26.43%、「低体重(やせ)(18.4以下)」は6.13%となっています。



介護認定別にBMIを集計した結果は、次のとおりです。(BMIが「普通体重(18.5～24.9)」に当たる区分に色づけをしています。)

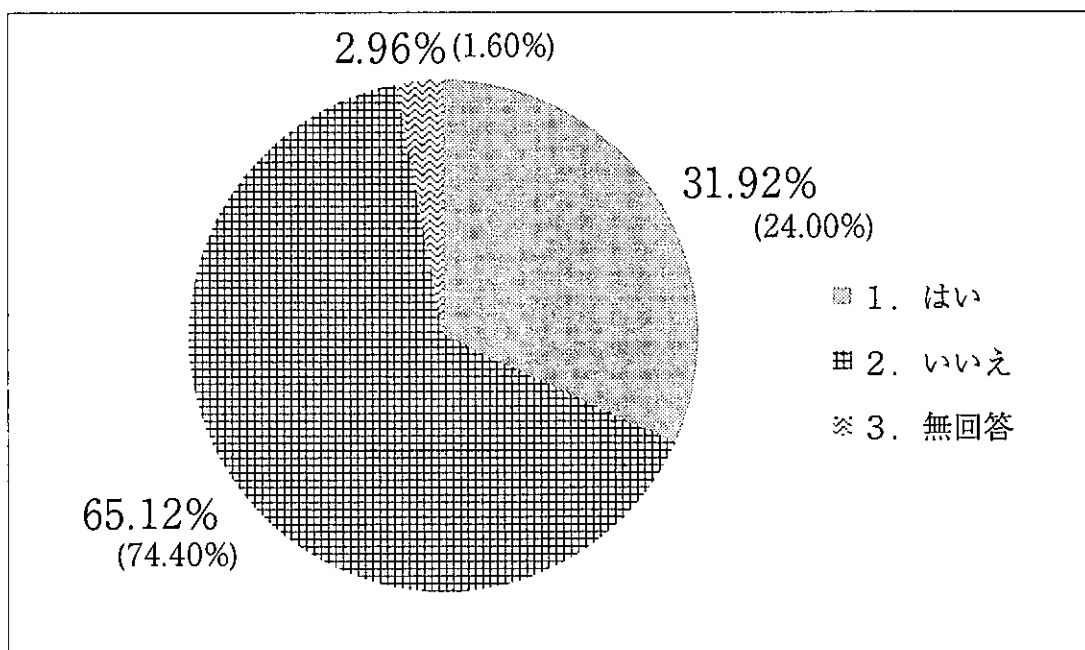
行ラベル	合計 / 一般高齢者	合計 / 要支援 1	合計 / 要支援 2
18.4以下	6.05%	0.00%	11.76%
18.5～21.4	18.39%	20.00%	17.65%
21.5～24.9	41.70%	40.00%	41.18%
25.0以上	26.91%	20.00%	11.76%
無回答	6.95%	20.00%	17.65%
総計	100.00%	100.00%	100.00%

BMIを年齢別、性別で人数を集計したものは、次のようになっています。厚生労働省がまとめた「日本人の食事摂取基準(2020年版)」が示した「目標とするBMIの範囲」は、65～74歳(前期高齢者)、75歳以上(後期高齢者)のいずれにおいても「21.5～24.9」となっています。

行ラベル	合計 / 男	合計 / 女	合計 / 計
日 1. 65～69歳	43	40	83
18.4以下	1	4	5
18.5～19.9	3	2	5
20.0～24.9	21	23	44
25.0以上	13	10	23
無回答	5	1	6
日 2. 70～74歳	58	81	139
18.4以下	1	6	7
18.5～21.4	14	13	27
21.5～24.9	20	32	52
25.0以上	22	28	50
無回答	1	2	3
日 3. 75～79歳	46	50	96
18.4以下	2	3	5
18.5～21.4	5	10	15
21.5～24.9	24	19	43
25.0以上	11	14	25
無回答	4	4	8
日 4. 80～84歳	33	53	86
18.4以下	2	4	6
18.5～21.4	3	9	12
21.5～24.9	17	21	38
25.0以上	8	11	19
無回答	3	8	11
日 5. 85～89歳	23	26	49
18.4以下	1	1	2
18.5～21.4	7	10	17
21.5～24.9	10	8	18
25.0以上	4	2	6
無回答	1	5	6
日 6. 90～94歳	7	10	17
18.4以下	2	2	4
18.5～21.4	0	2	2
21.5～24.9	4	1	5
25.0以上	1	1	2
無回答	0	4	4
日 7. 95～歳	1	2	3
18.4以下	0	0	0
18.5～21.4	0	0	0
21.5～24.9	1	2	3
25.0以上	0	0	0
無回答	0	0	0
総計	211	262	473

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が31.92%、「いいえ」が65.12%となっています。



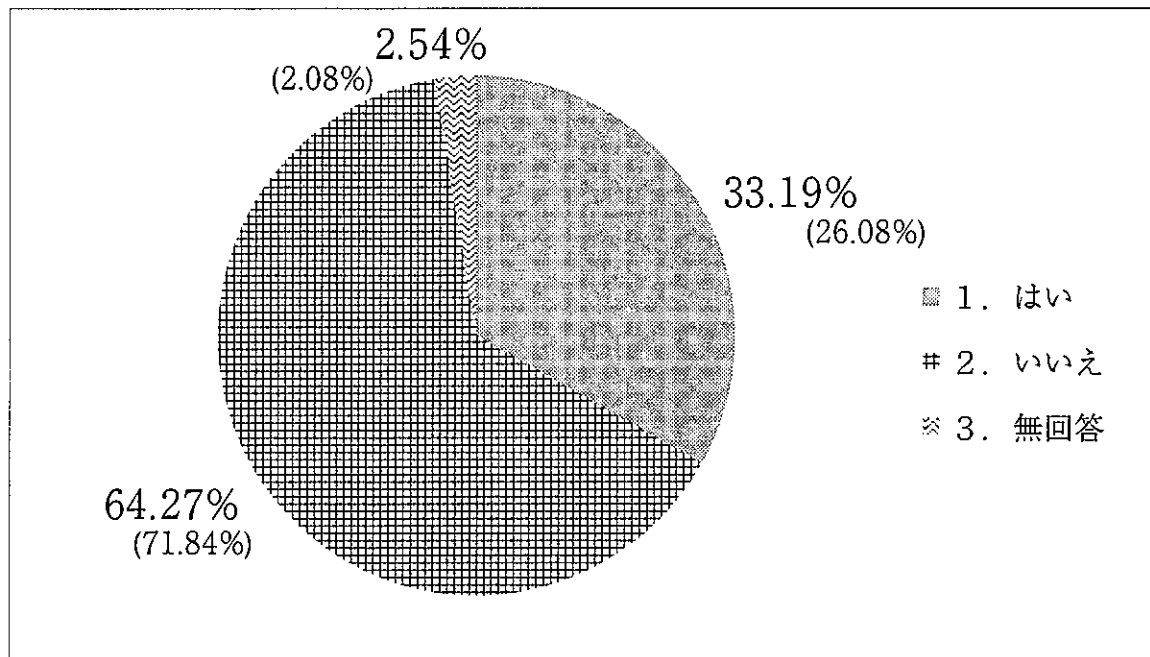
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	37.44%	61.14%	1.42%
	女性	262	27.48%	68.32%	4.20%
年齢別	65～69歳	83	22.89%	17.10%	0.00%
	70～74歳	139	30.94%	66.19%	2.88%
	75～79歳	96	32.29%	64.58%	3.13%
	80～84歳	86	34.88%	58.14%	6.98%
	85～89歳	49	42.86%	55.10%	2.04%
	90～94歳	17	35.29%	64.71%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	32.06%	65.02%	2.91%
	要支援1	10	40.00%	60.00%	0.00%
	要支援2	17	23.53%	70.59%	5.88%

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

お茶や汁物等でむせることがあるかについて、「はい」が33.19%、「いいえ」が64.27%となっています。



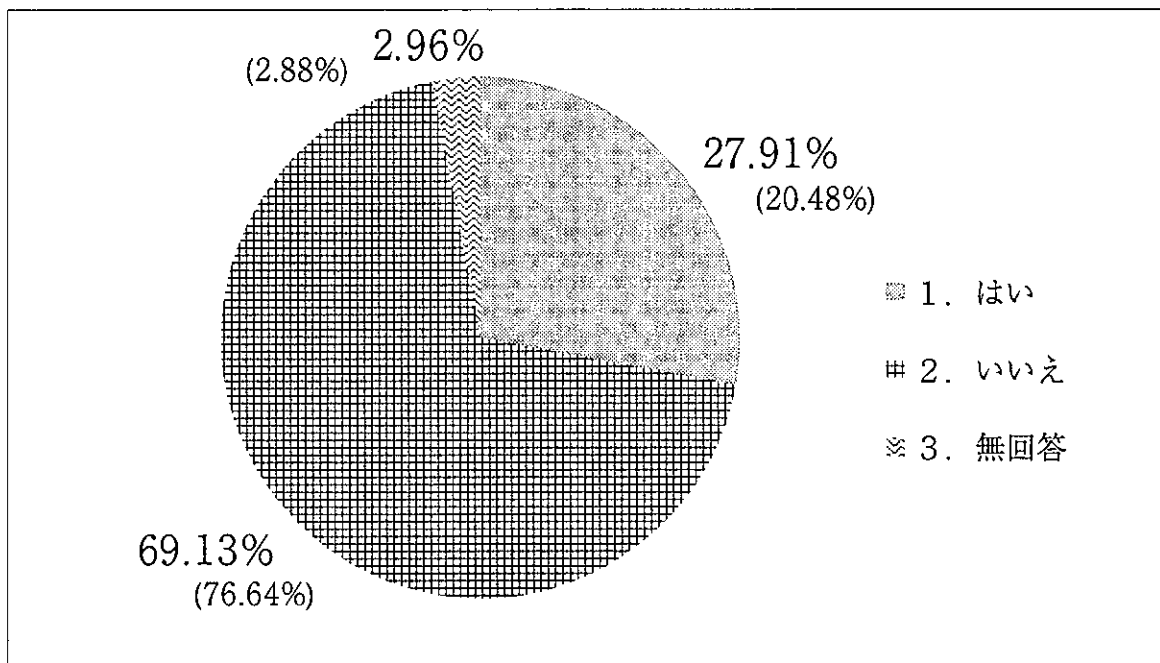
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	43.60%	64.45%	1.42%
	女性	262	32.44%	64.12%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	27.71%	72.29%	0.00%
	70～74歳	139	35.25%	63.31%	1.44%
	75～79歳	96	30.21%	66.66%	3.13%
	80～84歳	86	38.37%	54.65%	6.98%
	85～89歳	49	32.65%	65.31%	2.04%
	90～94歳	17	35.29%	64.71%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	32.96%	64.57%	2.47%
	要支援 1	10	20.00%	80.00%	0.00%
	要支援 2	17	47.06%	47.06%	5.88%

(4) □の渴きが気になりますか

□の渴きが気になるかについて、「はい」が27.91%、「いいえ」が69.13%となっています。



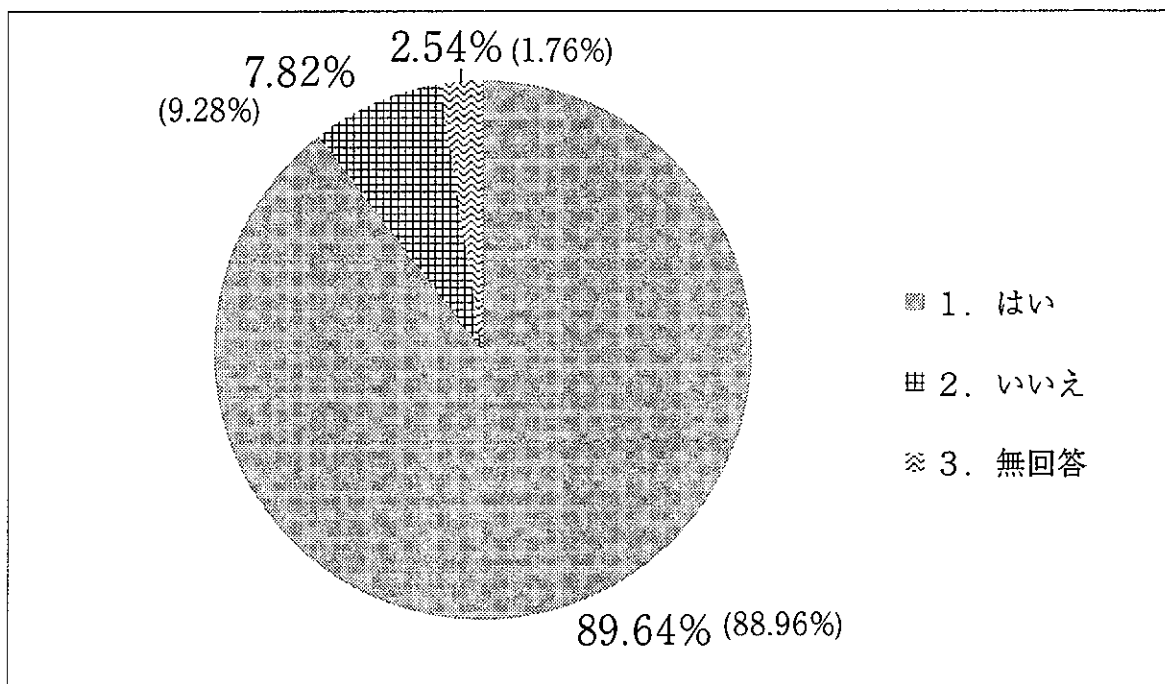
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	29.38%	68.25%	2.37%
	女性	262	26.72%	69.85%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	26.51%	73.49%	0.00%
	70～74歳	139	21.58%	76.98%	1.44%
	75～79歳	96	28.13%	68.75%	3.13%
	80～84歳	86	30.23%	61.63%	8.14%
	85～89歳	49	40.82%	57.14%	2.04%
	90～94歳	17	35.29%	64.71%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	27.13%	70.18%	2.69%
	要支援 1	10	10.00%	90.00%	0.00%
	要支援 2	17	58.82%	29.41%	11.76%

(5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が89.64%、「いいえ」が7.82%となっています。



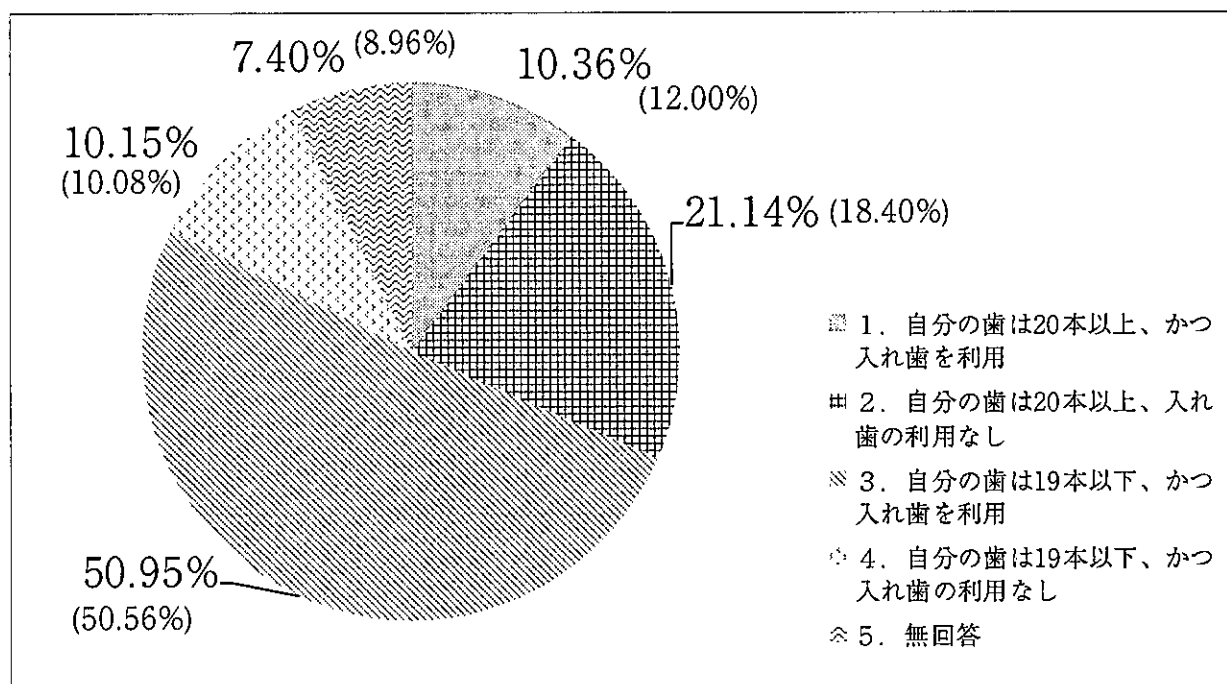
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

（最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。）

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	85.31%	13.27%	1.42%
	女性	262	93.13%	3.44%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	92.77%	7.23%	0.00%
	70～74歳	139	94.24%	5.04%	0.72%
	75～79歳	96	89.58%	7.29%	3.13%
	80～84歳	86	84.88%	8.14%	6.98%
	85～89歳	49	85.71%	12.24%	2.04%
	90～94歳	17	76.47%	17.65%	5.83%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	90.13%	7.62%	2.24%
	要支援1	10	70.00%	20.00%	10.00%
	要支援2	17	88.24%	5.88%	5.88%

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が50.95%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が21.14%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が10.36%となっており、自分の歯が20本以上ある人は合計31.50%、入れ歯を利用している人は合計61.31%となっています。



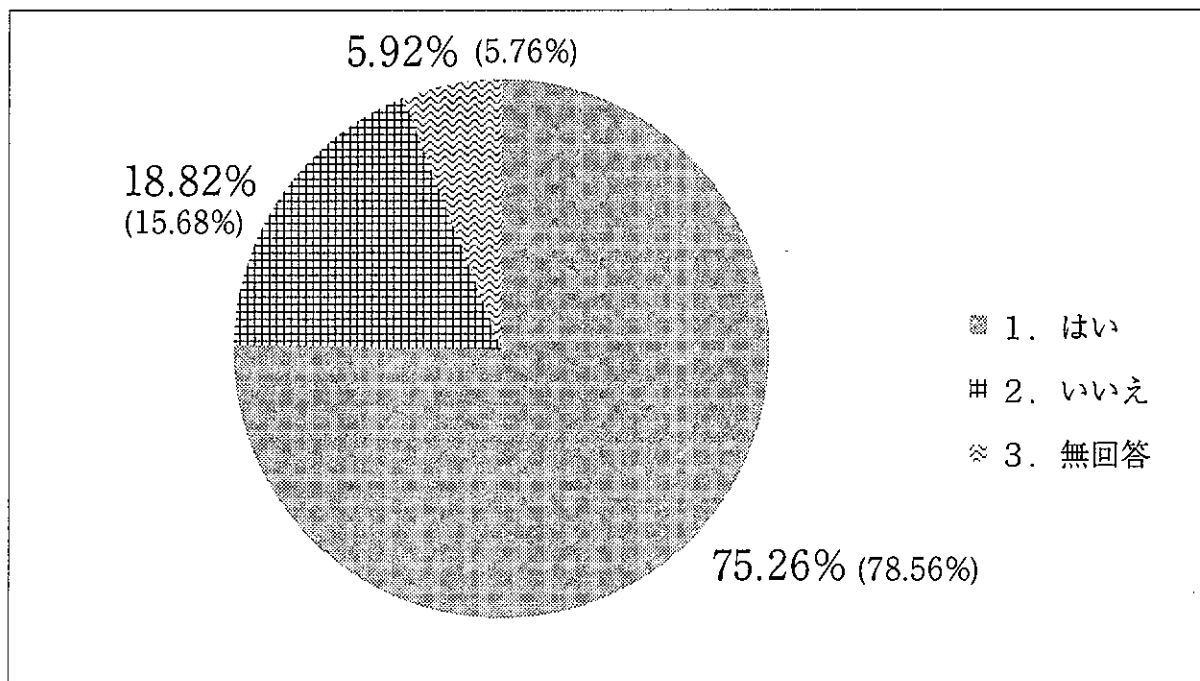
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯の利用なし	5. 無回答
性別	男性	211	9.48%	21.33%	55.45%	9.48%	4.23%
	女性	262	11.09%	20.99%	47.33%	10.69%	9.92%
年齢別	65～69歳	83	12.05%	37.35%	33.73%	16.87%	0.00%
	70～74歳	139	11.51%	24.46%	53.96%	9.35%	0.72%
	75～79歳	96	10.42%	21.88%	52.08%	5.21%	10.42%
	80～84歳	86	5.81%	9.30%	59.30%	8.14%	17.44%
	85～89歳	49	16.33%	10.20%	46.94%	14.29%	12.24%
	90～94歳	17	0.00%	5.88%	70.59%	11.76%	11.76%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	66.67%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	10.76%	22.20%	50.45%	10.09%	6.50%
	要支援1	10	10.00%	0.00%	70.00%	0.00%	20.00%
	要支援2	17	0.00%	5.88%	52.94%	17.65%	23.53%

①噛み合わせは良いですか

噛み合わせが良いかについて、「はい」が75.26%、「いいえ」が18.82%となっています。



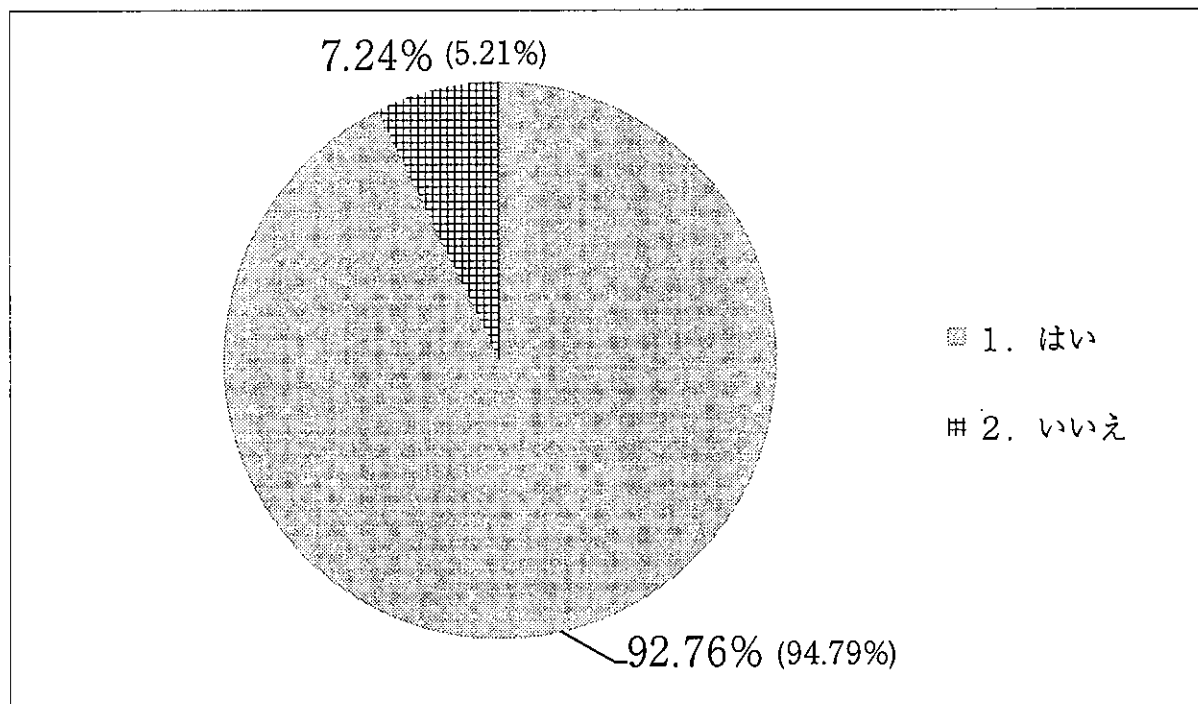
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	76.30%	18.01%	5.69%
	女性	262	74.43%	19.47%	6.11%
年齢別	65～69歳	83	74.70%	21.69%	3.61%
	70～74歳	139	75.54%	20.86%	3.60%
	75～79歳	96	79.17%	12.50%	8.33%
	80～84歳	86	68.60%	20.93%	10.47%
	85～89歳	49	81.63%	14.29%	4.08%
	90～94歳	17	70.59%	23.53%	5.88%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	74.66%	19.28%	6.05%
	要支援 1	10	90.00%	10.00%	0.00%
	要支援 2	17	82.35%	11.76%	5.88%

②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

入れ歯を利用している方々が毎日入れ歯を手入れしているかについて、「はい」が92.76%、「いいえ」が7.24%となっています。



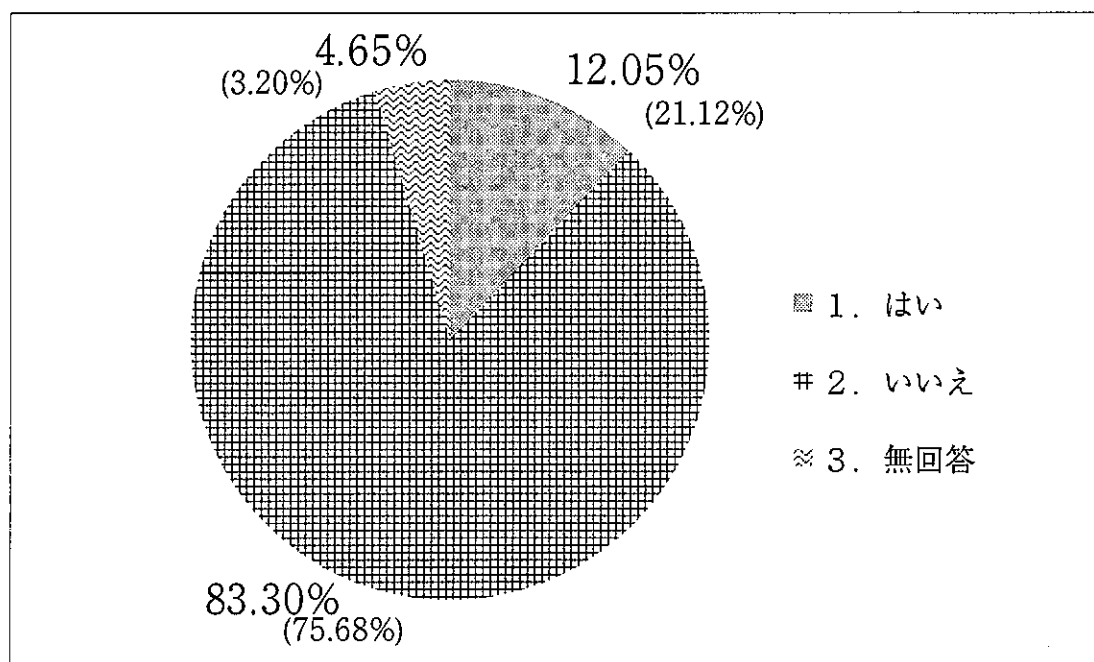
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ
性別	男性	137	86.13%	13.87%
	女性	153	88.89%	11.11%
年齢別	65～69歳	38	84.21%	15.79%
	70～74歳	91	98.90%	1.10%
	75～79歳	60	88.33%	11.67%
	80～84歳	56	92.86%	7.14%
	85～89歳	31	90.32%	9.68%
	90～94歳	12	100.00%	0.00%
	95歳～	2	100.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	273	93.04%	6.96%
	要支援1	8	87.50%	12.50%
	要支援2	9	88.89%	11.11%

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについて、「はい」が12.05%、「いいえ」が83.30%となっています。



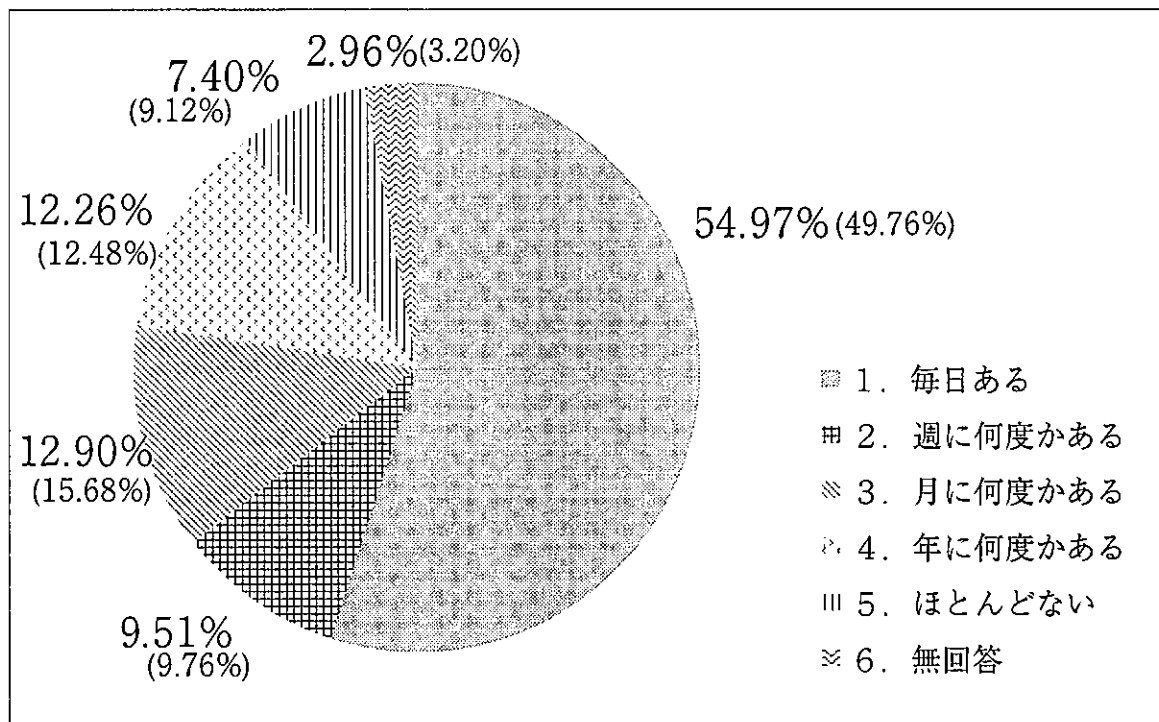
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	12.32%	84.36%	3.32%
	女性	262	11.83%	82.44%	5.73%
年齢別	65～69歳	83	13.25%	84.34%	2.41%
	70～74歳	139	14.39%	84.17%	1.44%
	75～79歳	96	9.38%	85.42%	5.21%
	80～84歳	86	12.79%	77.91%	9.30%
	85～89歳	49	12.24%	79.59%	8.16%
	90～94歳	17	0.00%	94.12%	5.88%
	95歳～	3	0.00%	100.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	11.88%	83.41%	4.71%
	要支援1	10	20.00%	80.00%	0.00%
	要支援2	17	11.76%	82.35%	5.88%

(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

どなたかと食事をとにもする機会があるかについて、「毎日ある」が54.79%で最も高く、次いで「月に何度かある」が12.90%、「年に何度かある」が12.26%、「週に何度かある」が9.51%、「ほとんどない」が7.40%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

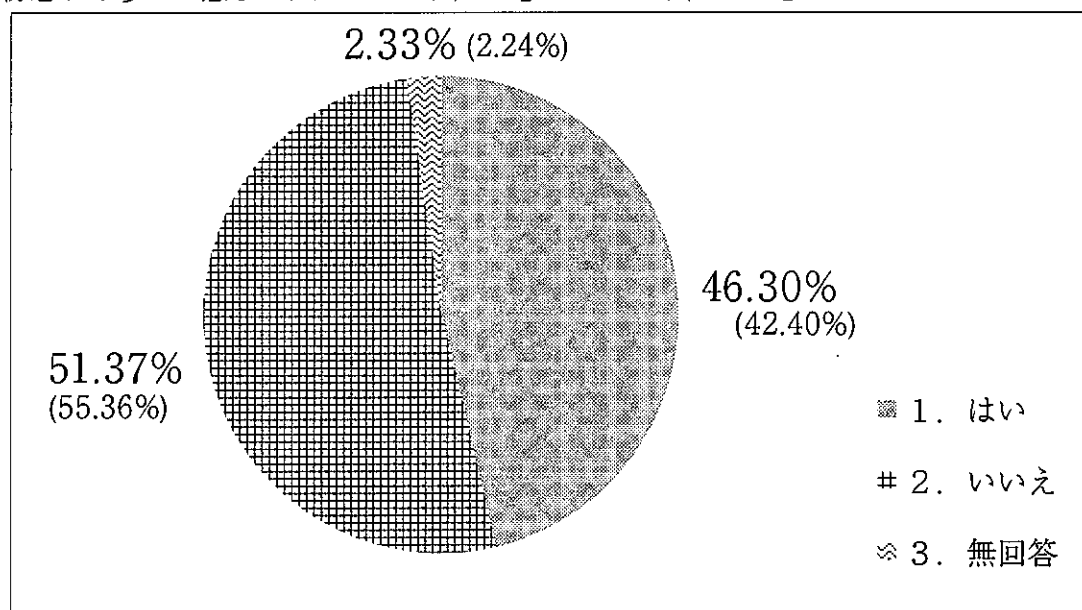
(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	4. 年に何度かある	5. ほとんどない	6. 無回答
性別	男性	211	51.66%	6.16%	9.95%	18.96%	10.43%	2.84%
	女性	262	49.24%	9.54%	17.18%	12.98%	7.25%	3.82%
年齢別	65～69歳	83	56.63%	7.23%	19.28%	10.84%	6.02%	0.00%
	70～74歳	139	53.24%	10.79%	13.67%	11.51%	10.07%	0.72%
	75～79歳	96	45.83%	5.21%	13.54%	16.67%	13.54%	5.21%
	80～84歳	86	73.25%	15.12%	5.81%	0.00%	0.00%	5.81%
	85～89歳	49	53.06%	6.12%	12.24%	22.45%	0.00%	6.12%
	90～94歳	17	29.41%	11.76%	5.88%	35.29%	17.65%	0.00%
	95歳～	3	33.33%	33.33%	33.33%	0.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	50.45%	8.07%	14.13%	16.14%	8.07%	3.14%
	要支援1	10	40.00%	0.00%	10.00%	10.00%	40.00%	0.00%
	要支援2	17	52.94%	28.57%	28.57%	5.88%	5.88%	28.57%

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか

物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が46.30%、「いいえ」が51.37%となっています。



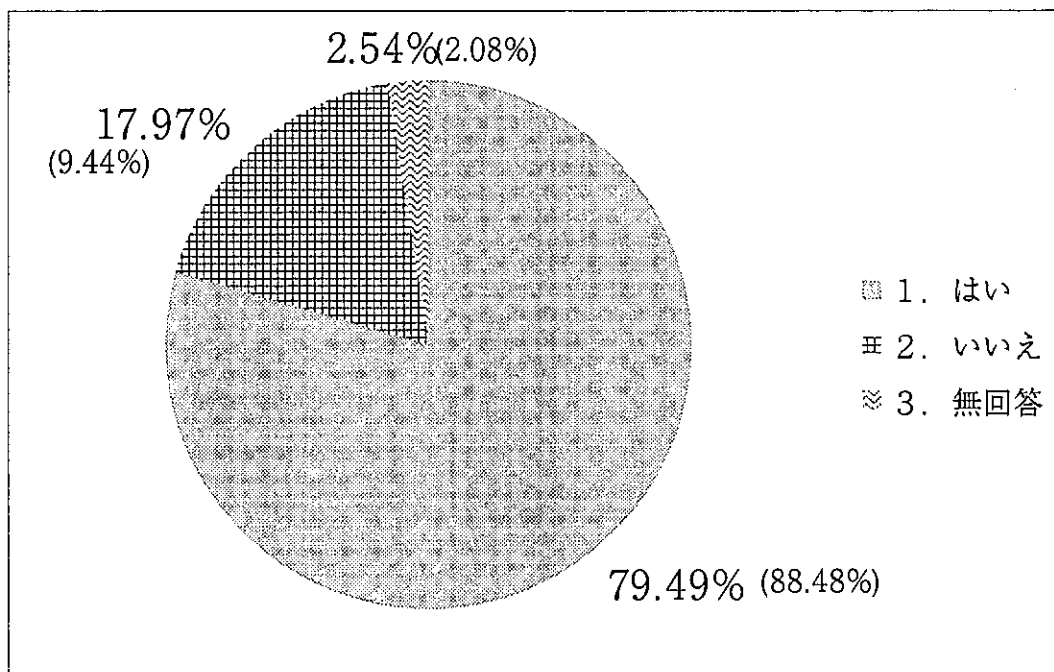
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	45.02%	53.55%	1.42%
	女性	262	47.33%	49.62%	3.05%
年齢別	65～69歳	83	37.35%	62.65%	0.00%
	70～74歳	139	37.41%	61.87%	0.72%
	75～79歳	96	52.08%	44.79%	3.13%
	80～84歳	86	46.51%	46.51%	6.98%
	85～89歳	49	69.39%	28.57%	2.04%
	90～94歳	17	58.82%	41.18%	0.00%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	45.52%	52.24%	2.24%
	要支援1	10	60.00%	40.00%	0.00%
	要支援2	17	58.82%	35.29%	5.88%

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が79.49%、「いいえ」が17.97%となっています。



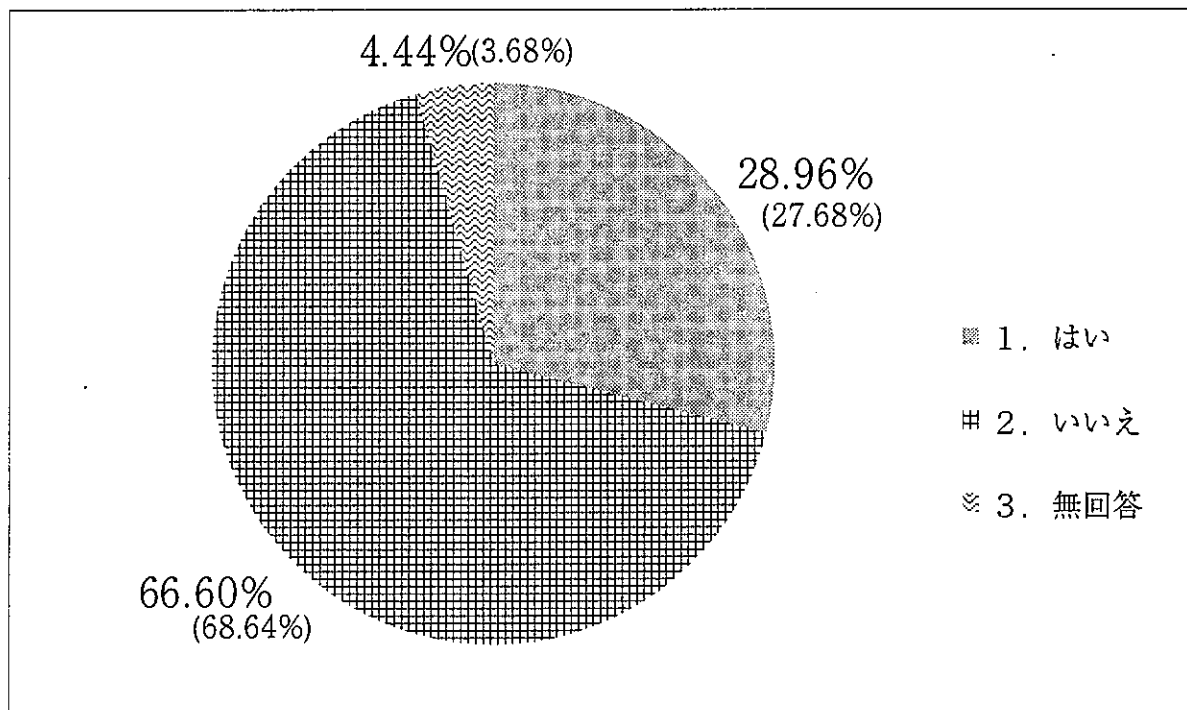
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	87.68%	10.90%	1.42%
	女性	262	86.26%	10.31%	3.44%
年齢別	65～69歳	83	85.54%	14.46%	0.00%
	70～74歳	139	89.93%	9.35%	0.72%
	75～79歳	96	52.08%	44.79%	3.13%
	80～84歳	86	87.21%	5.81%	6.98%
	85～89歳	49	81.63%	16.32%	2.04%
	90～94歳	17	76.47%	17.65%	5.88%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	88.12%	9.64%	2.24%
	要支援 1	10	60.00%	30.00%	10.00%
	要支援 2	17	70.59%	23.53%	5.88%

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が28.96%、「いいえ」が66.60%となっています。



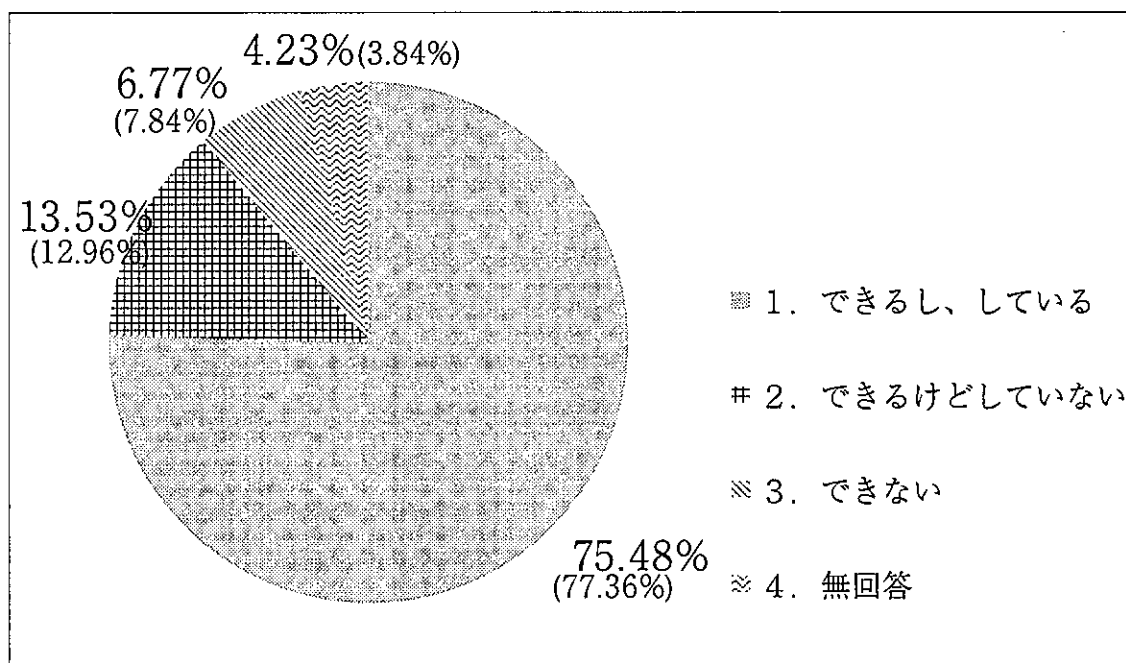
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	34.12%	62.56%	3.32%
	女性	262	24.81%	69.85%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	25.30%	73.49%	1.20%
	70～74歳	139	24.46%	71.94%	3.60%
	75～79歳	96	30.21%	66.67%	3.13%
	80～84歳	86	36.05%	58.14%	5.81%
	85～89歳	49	28.57%	65.31%	6.12%
	90～94歳	17	41.18%	35.29%	23.53%
	95歳～	3	33.33%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	28.03%	68.16%	3.81%
	要支援 1	10	50.00%	30.00%	20.00%
	要支援 2	17	41.18%	47.06%	11.76%

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

バスや電車を使って1人で外出しているかについて、「1. できるし、している」が75.48%で最も多く、次いで「2. できるけどしていない」が13.53%、その次に「3. できない」が6.77%となっています。



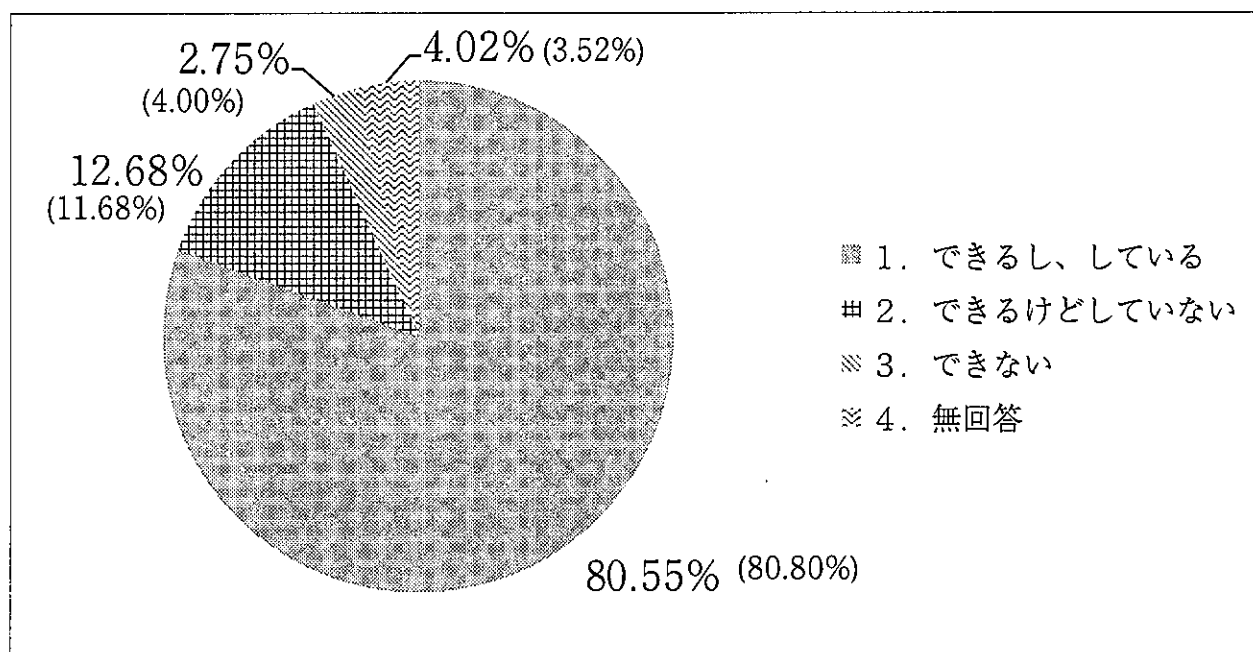
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

（最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。）

		回答者数	1. できるし して いる	2. できるけどして いない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	80.57%	12.80%	4.74%	1.90%
	女性	262	71.37%	14.12%	8.40%	6.11%
年齢別	65～69歳	83	91.57%	4.82%	2.41%	1.20%
	70～74歳	139	83.45%	11.51%	1.44%	3.60%
	75～79歳	96	76.04%	16.67%	4.17%	3.13%
	80～84歳	86	67.44%	15.12%	10.47%	6.98%
	85～89歳	49	57.14%	18.37%	18.37%	6.12%
	90～94歳	17	29.41%	35.29%	23.53%	11.76%
	95歳～	3	33.33%	0.00%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	79.37%	12.56%	4.26%	3.81%
	要支援1	10	10.00%	40.00%	40.00%	10.00%
	要支援2	17	11.76%	23.53%	52.94%	11.76%

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

自分で食品・日用品の買物をしているかについて、「1. できるし、している」が80.55%で最も多く、次いで「2. できるけどしていない」が12.68%、その次に「3. できない」が2.75%となっています。



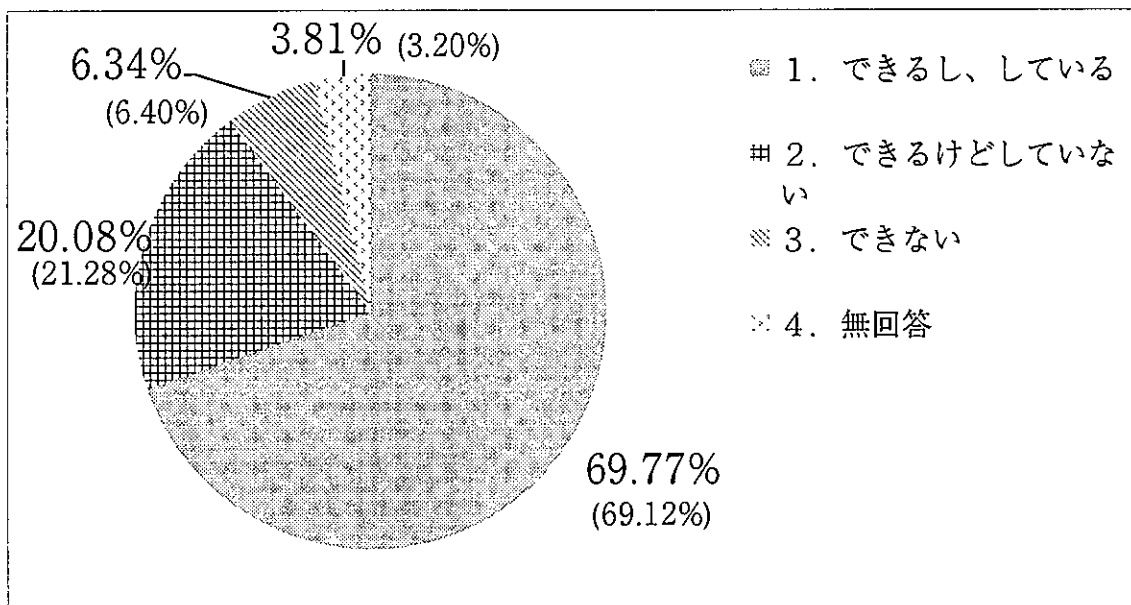
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし している	2. できるけどして いない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	74.88%	18.48%	4.27%	2.37%
	女性	262	85.11%	8.02%	1.53%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	91.57%	7.23%	0.00%	1.20%
	70～74歳	139	84.89%	11.51%	0.00%	3.60%
	75～79歳	96	84.38%	11.46%	2.08%	2.08%
	80～84歳	86	79.07%	10.47%	4.65%	5.81%
	85～89歳	49	63.27%	22.45%	8.16%	6.12%
	90～94歳	17	41.18%	29.41%	11.76%	17.65%
	95歳～	3	0.00%	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	82.96%	11.88%	1.79%	3.36%
	要支援1	10	70.00%	10.00%	0.00%	20.00%
	要支援2	17	23.53%	35.29%	29.41%	11.76%

(6) 自分で食事の用意をしていますか

自分で食事の用意をしているかについて、「1. できるし、している」が69.77%で最も多く、次いで「2. できるけどしていない」が20.08%、その次に「3. できない」が6.34%となっています。



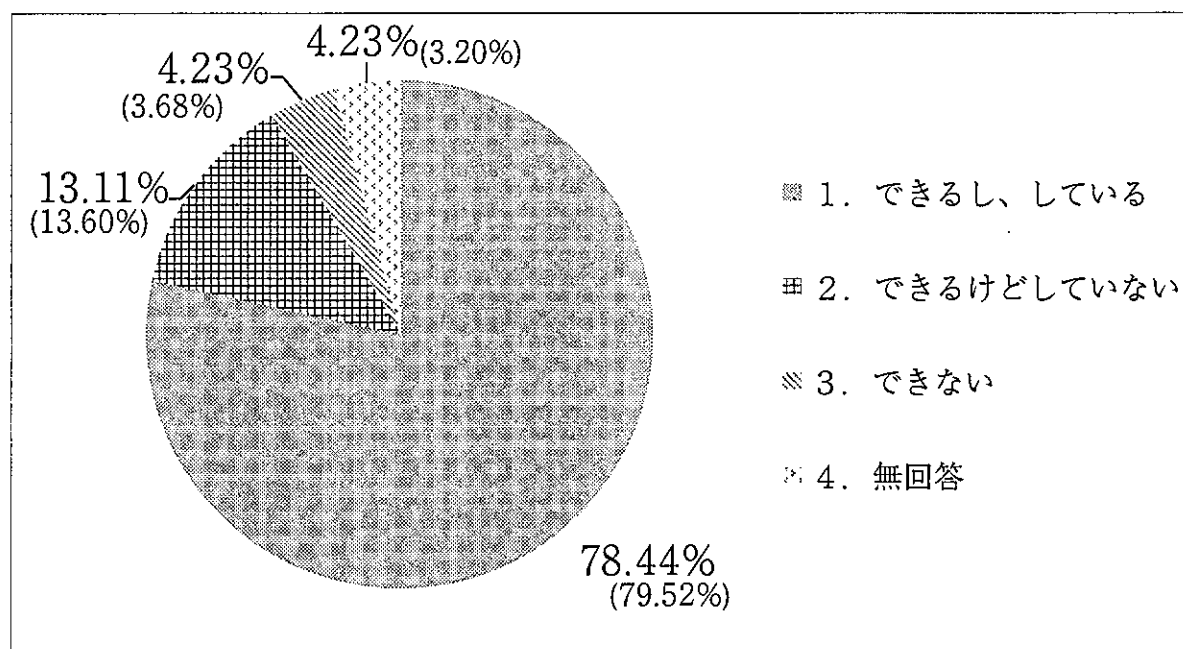
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	46.45%	37.91%	13.74%	1.90%
	女性	262	88.55%	5.73%	0.38%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	80.72%	15.66%	2.41%	1.20%
	70～74歳	139	74.82%	17.26%	4.32%	3.60%
	75～79歳	96	67.71%	22.92%	7.29%	2.08%
	80～84歳	86	69.77%	16.28%	8.14%	5.81%
	85～89歳	49	53.06%	34.69%	6.12%	6.12%
	90～94歳	17	35.29%	29.41%	23.53%	11.76%
	95歳～	3	66.67%	0.00%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	71.08%	20.40%	5.16%	3.36%
	要支援1	10	70.00%	0.00%	20.00%	10.00%
	要支援2	17	35.29%	23.53%	29.41%	11.76%

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

自分で請求書の支払いをしているかについて、「1. できるし、している」が78.44%で最も多く、次いで「2. できるけどしていない」が13.11%、その次に「3. できない」が4.23%となっています。



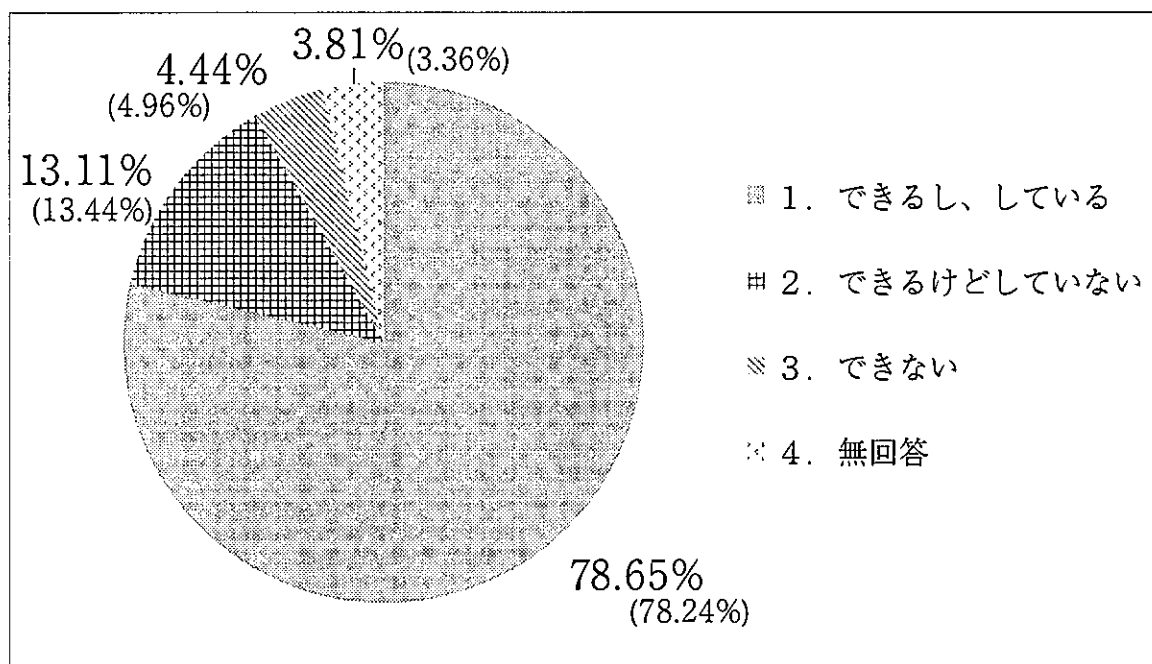
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし して いる	2. できるけどして いない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	73.93%	18.48%	5.69%	1.90%
	女性	262	82.06%	8.78%	3.05%	6.11%
年齢別	65～69歳	83	83.13%	13.25%	1.20%	2.41%
	70～74歳	139	83.45%	10.79%	2.16%	3.60%
	75～79歳	96	84.38%	11.46%	2.08%	2.08%
	80～84歳	86	72.09%	13.95%	8.14%	5.81%
	85～89歳	49	63.27%	18.37%	10.20%	8.16%
	90～94歳	17	52.94%	23.53%	11.76%	11.76%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	79.82%	13.00%	3.36%	3.81%
	要支援1	10	80.00%	0.00%	10.00%	10.00%
	要支援2	17	41.18%	23.53%	23.53%	11.76%

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

自分で預貯金の出し入れをしているかについて、「1. できるし、している」が78.65%で最も多く、次いで「2. できるけどしていない」が13.11%、その次に「3. できない」が4.44%となっています。



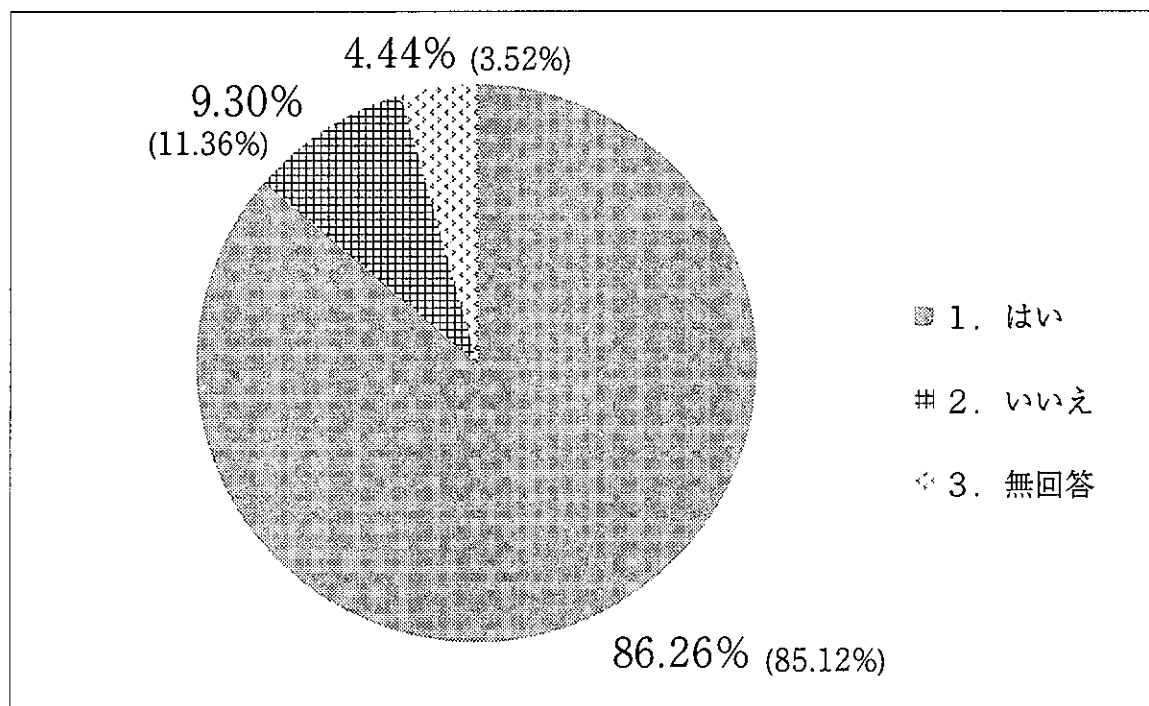
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	4. 無回答
性別	男性	211	71.56%	19.90%	6.64%	1.90%
	女性	262	84.35%	7.63%	2.67%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	84.34%	10.84%	3.61%	1.20%
	70～74歳	139	87.05%	7.91%	1.44%	3.60%
	75～79歳	96	82.29%	12.50%	3.13%	2.08%
	80～84歳	86	73.25%	15.12%	5.81%	5.81%
	85～89歳	49	57.14%	24.49%	12.24%	6.12%
	90～94歳	17	58.82%	17.65%	11.76%	11.76%
	95歳～	3	33.33%	66.67%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	81.17%	11.21%	4.26%	3.36%
	要支援1	10	60.00%	30.00%	10.00%	0.00%
	要支援2	17	23.53%	52.94%	11.76%	11.76%

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについて、「はい」が86.26%、「いいえ」が9.30%となっています。



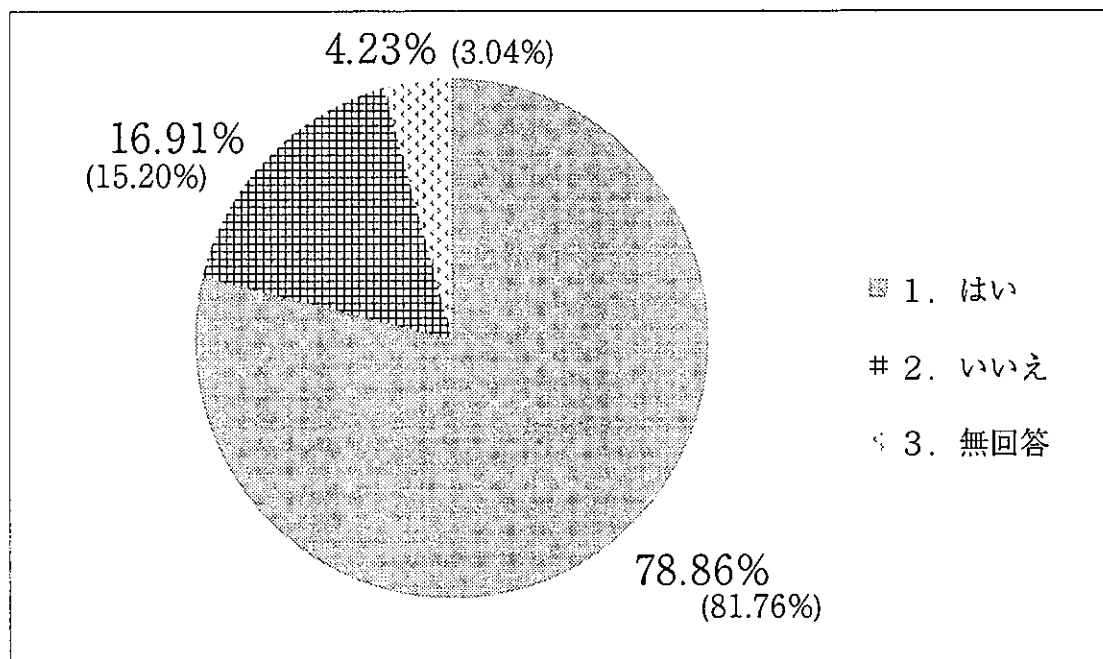
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

（最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。）

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	87.68%	10.43%	1.90%
	女性	262	85.11%	8.40%	6.49%
年齢別	65～69歳	83	93.98%	4.82%	1.20%
	70～74歳	139	92.09%	3.60%	4.32%
	75～79歳	96	87.50%	9.38%	3.13%
	80～84歳	86	81.40%	12.79%	5.81%
	85～89歳	49	69.39%	22.45%	8.16%
	90～94歳	17	64.71%	23.53%	11.76%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	88.57%	7.62%	3.81%
	要支援 1	10	40.00%	50.00%	10.00%
	要支援 2	17	52.94%	29.41%	17.65%

(10) 新聞を読んでいますか

新聞を読んでいるかについて、「はい」が78.86%、「いいえ」が16.91%となっています。



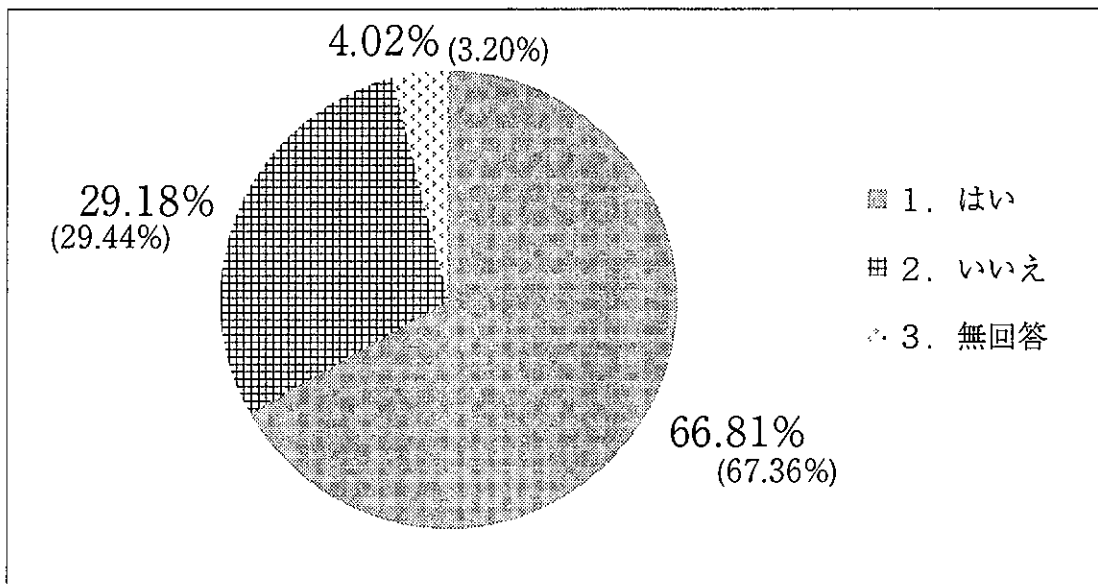
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	81.52%	16.11%	2.37%
	女性	262	76.72%	17.55%	5.73%
年齢別	65～69歳	83	75.90%	22.89%	1.20%
	70～74歳	139	78.42%	17.99%	3.60%
	75～79歳	96	82.29%	13.54%	4.17%
	80～84歳	86	76.74%	17.44%	5.81%
	85～89歳	49	81.63%	12.24%	6.12%
	90～94歳	17	82.35%	5.83%	11.76%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	79.60%	16.59%	3.81%
	要支援1	10	70.00%	20.00%	10.00%
	要支援2	17	64.71%	23.53%	11.76%

(11) 本や雑誌を読んでいますか

本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が66.81%、「いいえ」が29.18%となっています。

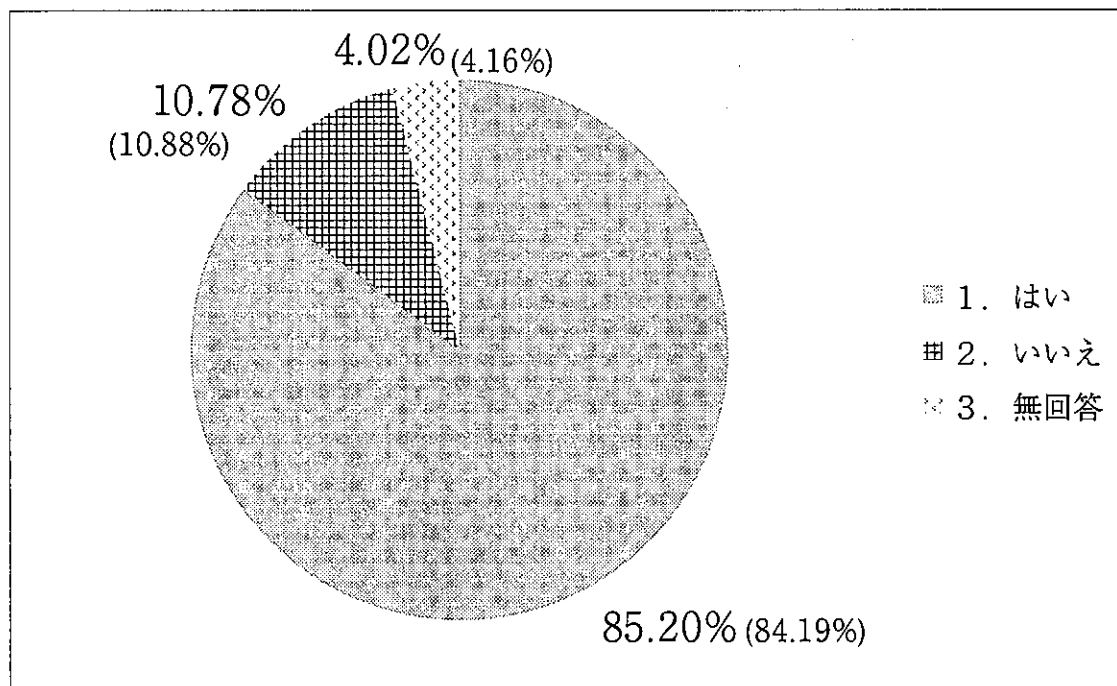


上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	65.40%	32.70%	1.90%
	女性	262	67.94%	26.34%	5.73%
年齢別	65～69歳	83	72.29%	26.50%	1.20%
	70～74歳	139	66.91%	29.50%	3.60%
	75～79歳	96	69.79%	28.13%	2.08%
	80～84歳	86	60.47%	32.56%	6.98%
	85～89歳	49	67.35%	26.53%	6.12%
	90～94歳	17	47.06%	41.18%	11.76%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	67.49%	28.92%	3.59%
	要支援1	10	40.00%	50.00%	10.00%
	要支援2	17	64.71%	23.53%	11.76%

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が85.20%、「いいえ」が10.78%となっています。



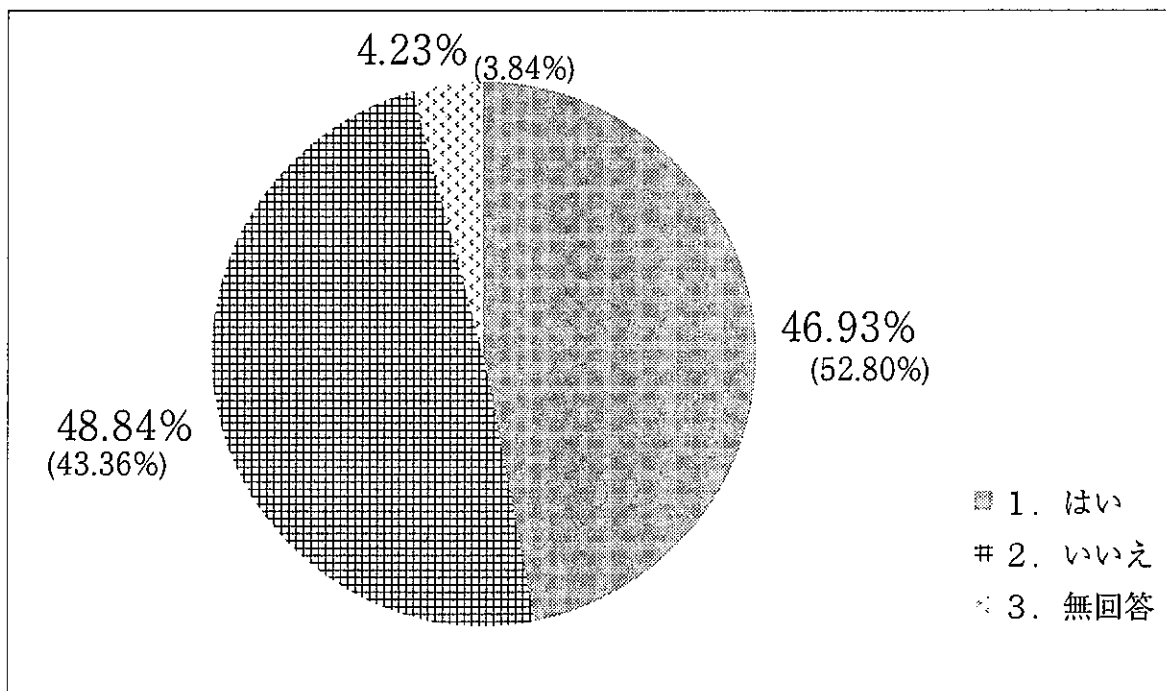
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	83.41%	14.22%	2.37%
	女性	262	86.64%	8.02%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	85.54%	12.25%	1.20%
	70～74歳	139	87.05%	9.35%	3.60%
	75～79歳	96	87.50%	10.41%	2.08%
	80～84歳	86	88.37%	4.65%	6.98%
	85～89歳	49	77.55%	16.33%	6.12%
	90～94歳	17	58.82%	29.41%	11.76%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	85.87%	10.54%	3.59%
	要支援1	10	60.00%	30.00%	10.00%
	要支援2	17	82.35%	5.88%	11.76%

(13) 友人の家を訪ねていますか

友人の家を訪ねているかについて、「はい」が46.93%、「いいえ」が48.84%となっています。



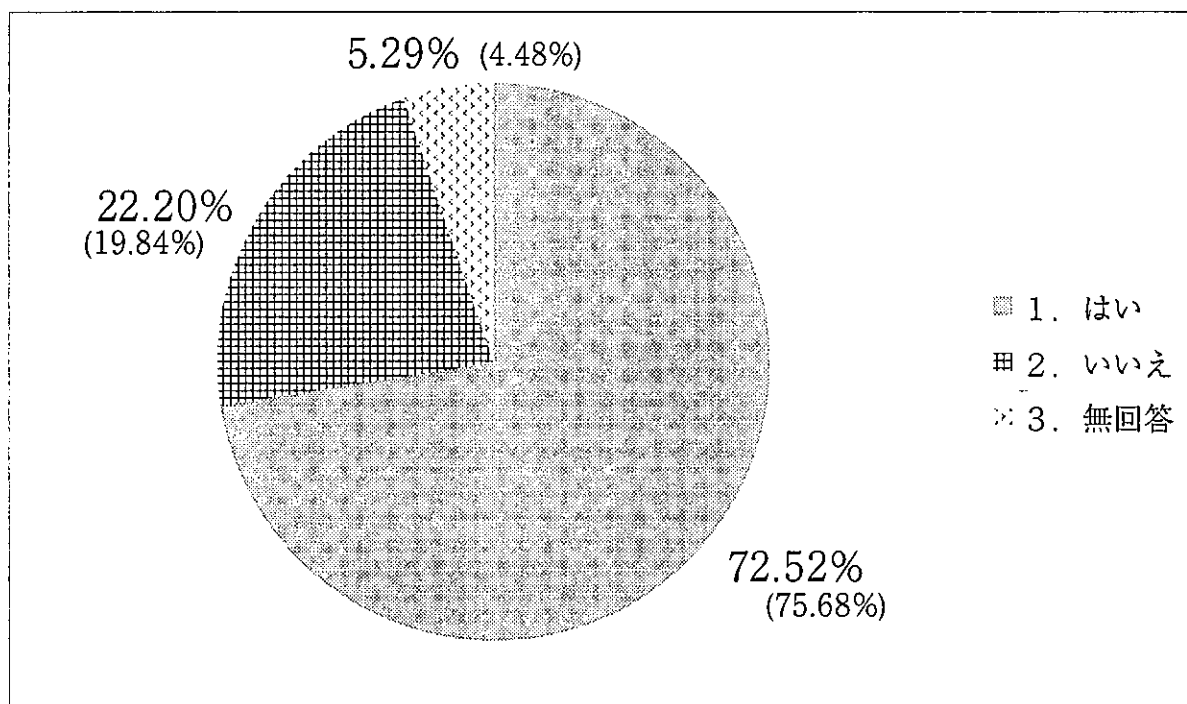
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	41.23%	55.92%	2.84%
	女性	262	51.53%	43.13%	5.34%
年齢別	65～69歳	83	46.99%	51.81%	1.20%
	70～74歳	139	46.76%	48.92%	4.32%
	75～79歳	96	45.83%	51.04%	3.13%
	80～84歳	86	55.81%	38.37%	5.81%
	85～89歳	49	44.90%	48.98%	6.12%
	90～94歳	17	23.53%	64.71%	11.76%
	95歳～	3	0.00%	100.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	49.10%	47.09%	3.81%
	要支援1	10	20.00%	70.00%	10.00%
	要支援2	17	5.88%	82.35%	11.76%

(14) 家族や友人の相談にのっていますか

家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が72.52%、「いいえ」が22.20%となっています。



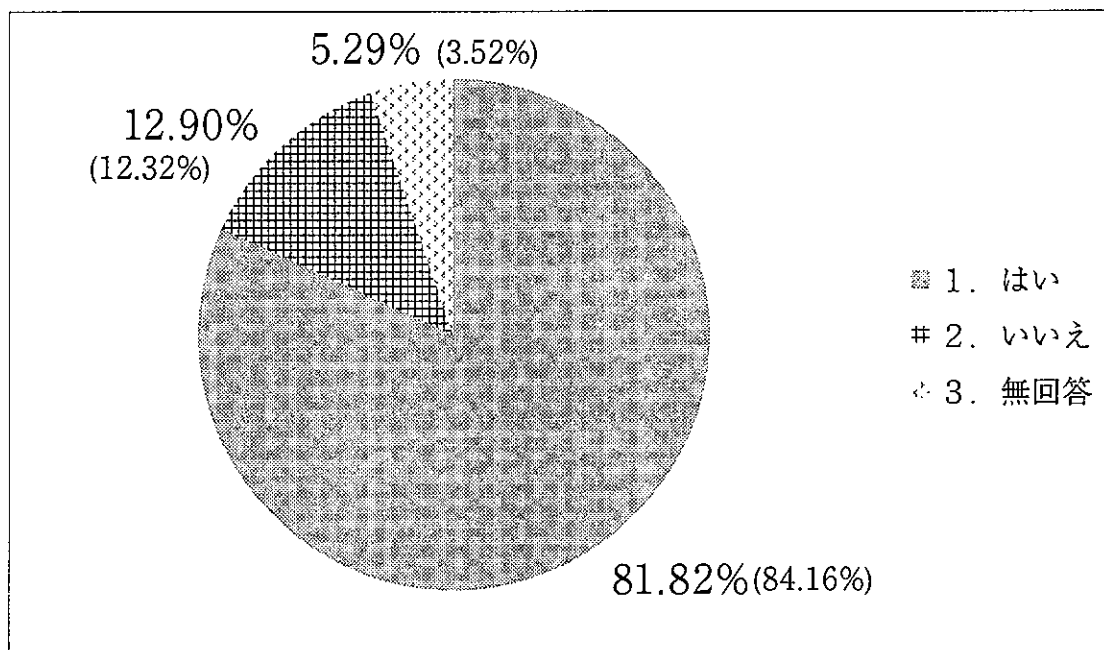
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	70.14%	27.01%	2.84%
	女性	262	74.43%	18.32%	7.25%
年齢別	65～69歳	83	79.52%	19.28%	1.20%
	70～74歳	139	75.54%	19.42%	5.04%
	75～79歳	96	75.00%	18.75%	6.25%
	80～84歳	86	70.93%	22.09%	6.98%
	85～89歳	49	63.27%	30.61%	6.12%
	90～94歳	17	41.18%	47.06%	11.76%
	95歳～	3	33.33%	66.67%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	75.56%	19.73%	4.71%
	要支援1	10	10.00%	70.00%	20.00%
	要支援2	17	29.41%	58.82%	11.76%

(15) 病人を見舞うことができますか

病人を見舞うことができるかについて、「はい」が81.82%、「いいえ」が12.90%となっています。



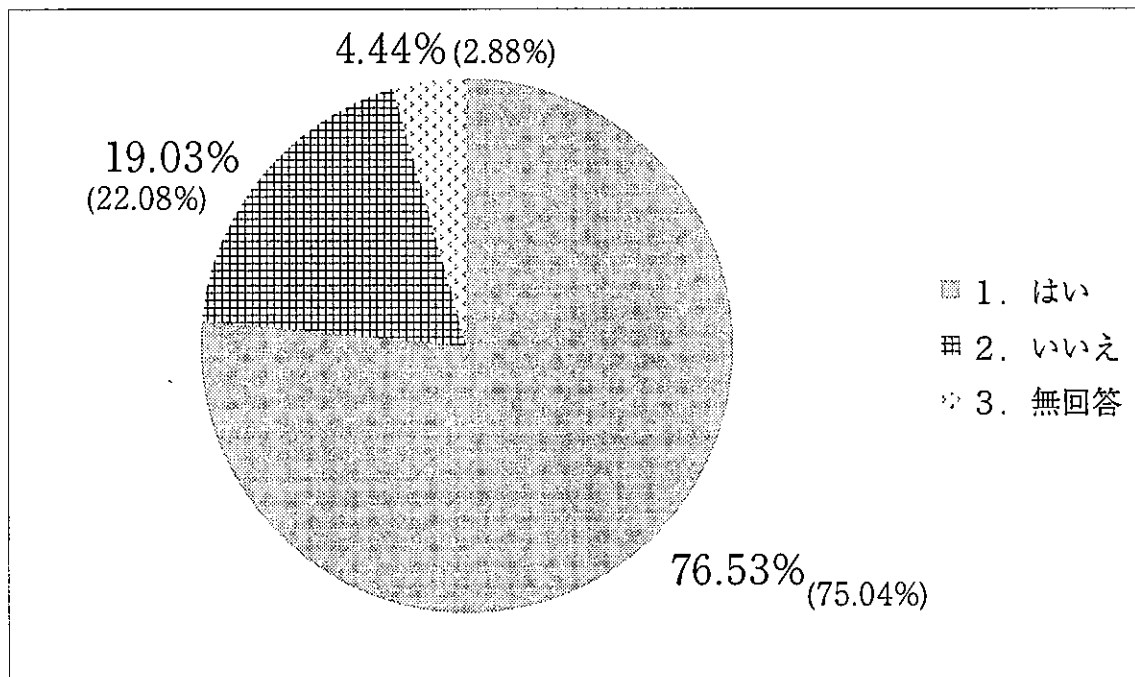
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	85.78%	10.90%	3.32%
	女性	262	78.63%	14.50%	6.87%
年齢別	65～69歳	83	86.75%	10.84%	2.41%
	70～74歳	139	84.89%	10.79%	4.32%
	75～79歳	96	82.29%	11.46%	6.25%
	80～84歳	86	80.23%	12.79%	6.98%
	85～89歳	49	69.39%	24.49%	6.12%
	90～94歳	17	76.47%	11.76%	11.76%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	84.53%	10.54%	4.93%
	要支援1	10	40.00%	50.00%	10.00%
	要支援2	17	35.29%	52.94%	11.76%

(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が76.53%、「いいえ」が19.03%となっています。



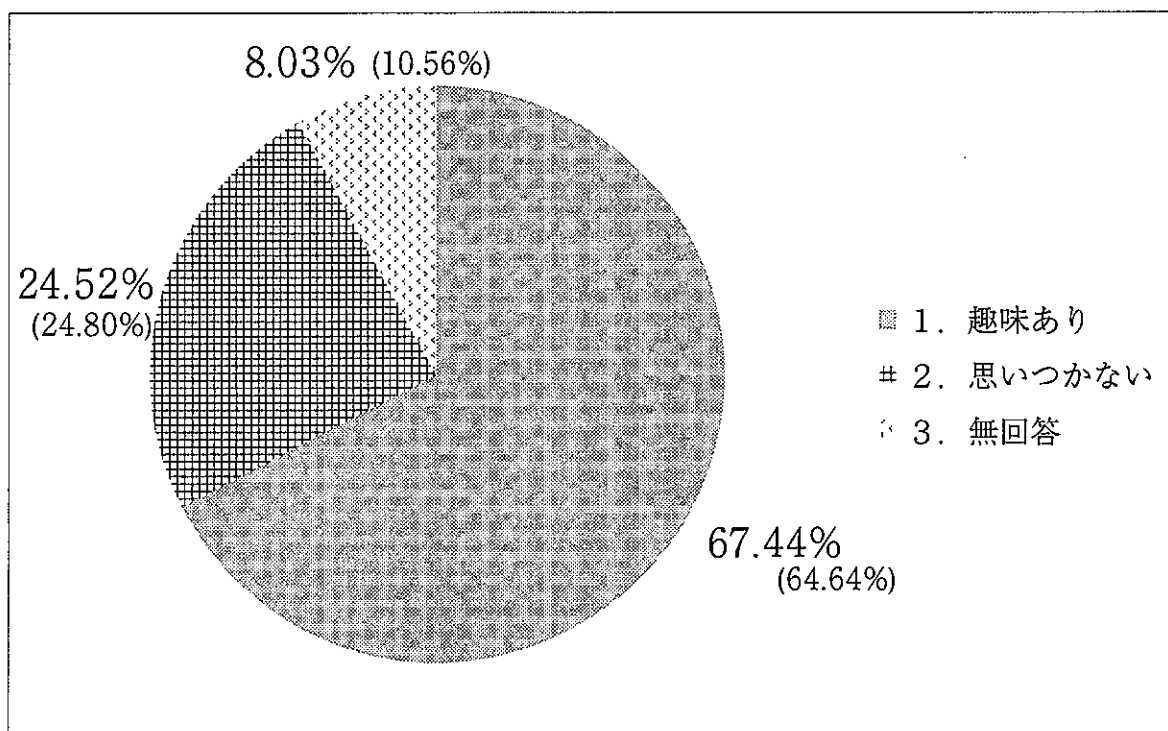
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	73.46%	23.70%	2.84%
	女性	262	79.01%	15.27%	5.73%
年齢別	65～69歳	83	81.93%	16.87%	1.20%
	70～74歳	139	77.70%	21.58%	4.32%
	75～79歳	96	79.17%	17.71%	3.13%
	80～84歳	86	77.91%	16.28%	5.81%
	85～89歳	49	69.39%	22.45%	8.16%
	90～94歳	17	64.71%	23.53%	11.76%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	77.35%	18.61%	4.04%
	要支援 1	10	60.00%	30.00%	10.00%
	要支援 2	17	64.71%	23.53%	11.76%

(17) 趣味はありますか

趣味があるかについて、「はい」が67.44%、「いいえ」が24.52%となっています。



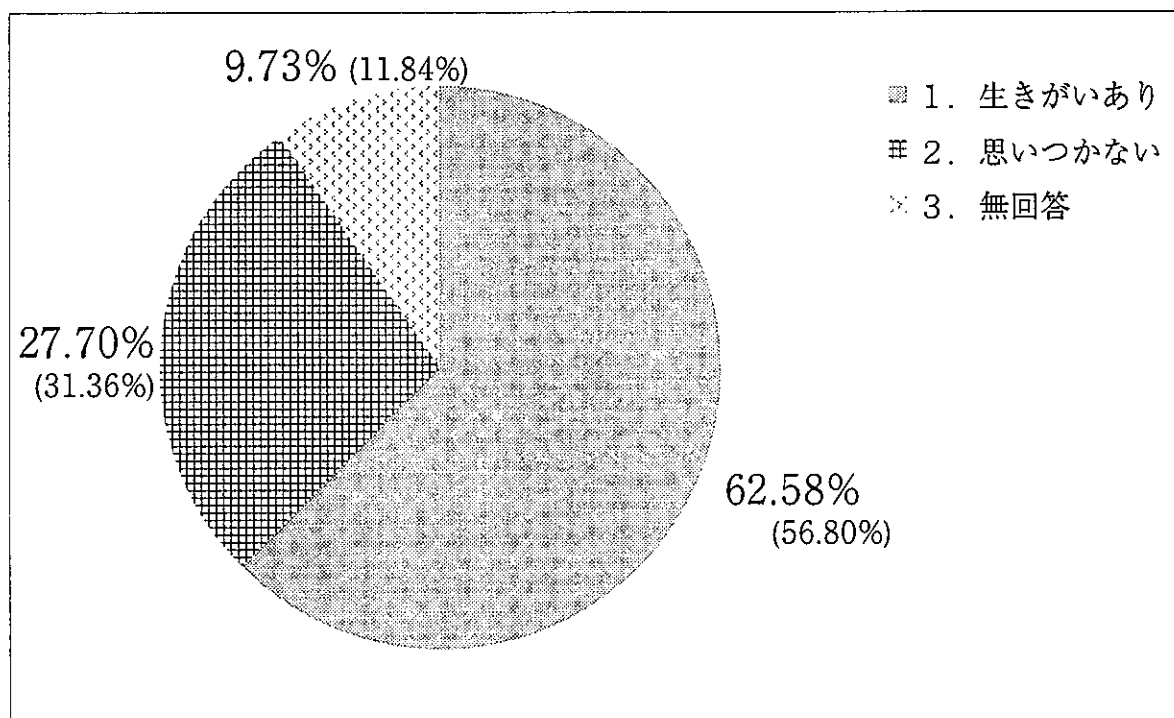
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 趣味あり	2. 思いつかない	3. 無回答
性別	男性	211	65.40%	27.49%	7.11%
	女性	262	69.08%	21.14%	8.78%
年齢別	65～69歳	83	66.27%	28.92%	4.82%
	70～74歳	139	68.35%	25.18%	6.47%
	75～79歳	96	70.83%	21.88%	7.29%
	80～84歳	86	72.09%	16.28%	11.63%
	85～89歳	49	65.31%	24.49%	10.20%
	90～94歳	17	29.41%	52.94%	17.65%
	95歳～	3	66.67%	33.33%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	68.61%	23.77%	7.62%
	要支援1	10	30.00%	60.00%	10.00%
	要支援2	17	58.82%	23.53%	17.65%

(18) 生きがいがありますか

生きがいがあるかについて、「はい」が62.58%、「いいえ」が27.70%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 生きがいあり	2. 思いつかない	3. 無回答
性別	男性	211	60.19%	31.75%	8.06%
	女性	262	64.50%	24.43%	11.07%
年齢別	65～69歳	83	72.29%	24.10%	3.61%
	70～74歳	139	58.99%	32.37%	8.63%
	75～79歳	96	61.46%	28.13%	10.42%
	80～84歳	86	62.79%	22.09%	15.12%
	85～89歳	49	61.22%	28.57%	10.20%
	90～94歳	17	47.06%	35.29%	17.65%
	95歳～	3	100.00%	0.00%	0.00%
認定別	一般高齢者	446	63.68%	26.91%	9.42%
	要支援 1	10	40.00%	50.00%	10.00%
	要支援 2	17	47.05%	35.29%	17.65%

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

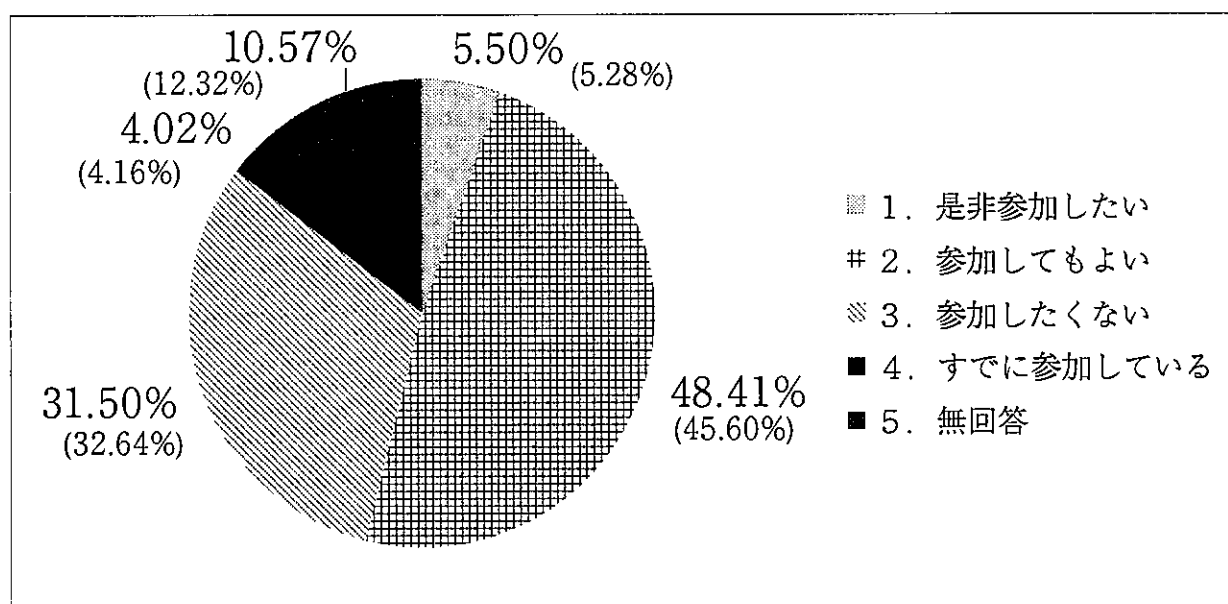
※① - ⑦それぞれに回答してください

地域での活動等への参加状況について集計した結果は、次のようになり、『参加している』（「1.週4回以上」～「5.年に数回」の合計）の割合は、高い順に「⑦ 町内会・自治会」で41.01%、「⑧ 収入のある仕事」で28.96%、「③ 趣味関係のグループ」で23.68%、「② スポーツ関係」で20.08%、「① ボランティアのグループ」で17.55%、「⑥ 老人クラブ」で11.84%、「⑤ 通いの場」で8.25%、「④ 学習・教養サークル」で5.92%となっています。

	回答者数	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回
① ボランティアのグループ	473	0.63%	1.06%	1.06%	5.92%	8.88%
② スポーツ関係のグループやクラブ	473	3.59%	2.75%	2.33%	6.98%	4.44%
③ 趣味関係のグループ	473	1.48%	2.54%	4.44%	8.46%	6.77%
④ 学習・教養サークル	473	0.00%	0.00%	0.21%	2.54%	3.17%
⑤ 通いの場	473	0.00%	0.42%	0.00%	2.11%	5.71%
⑥ 老人クラブ	473	0.63%	0.42%	0.85%	5.71%	4.23%
⑦ 町内会・自治会	473	0.85%	0.42%	0.85%	3.81%	35.10%
⑧ 収入のある仕事	473	17.76%	4.23%	1.06%	1.90%	4.02%
	回答者数	再掲) 1. 週4回以上 ～ 5. 年に数回 参加の合計	6. 参加していない	7. 無回答		
① ボランティアのグループ	473	17.55%	53.70%	28.75%		
② スポーツ関係のグループやクラブ	473	20.08%	50.95%	28.96%		
③ 趣味関係のグループ	473	23.68%	48.84%	27.48%		
④ 学習・教養サークル	473	5.92%	60.47%	33.62%		
⑤ 通いの場	473	8.25%	61.10%	30.66%		
⑥ 老人クラブ	473	11.84%	59.41%	28.75%		
⑦ 町内会・自治会	473	41.01%	32.56%	26.43%		
⑧ 収入のある仕事	473	28.96%	41.65%	29.39%		

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

参加者としての地域活動への参加意向について、「是非参加したい」が5.50%、「参加してもよい」が48.41%と、参加意向がある人が合計53.91%となっており、「参加したくない」の31.50%を上回っています。



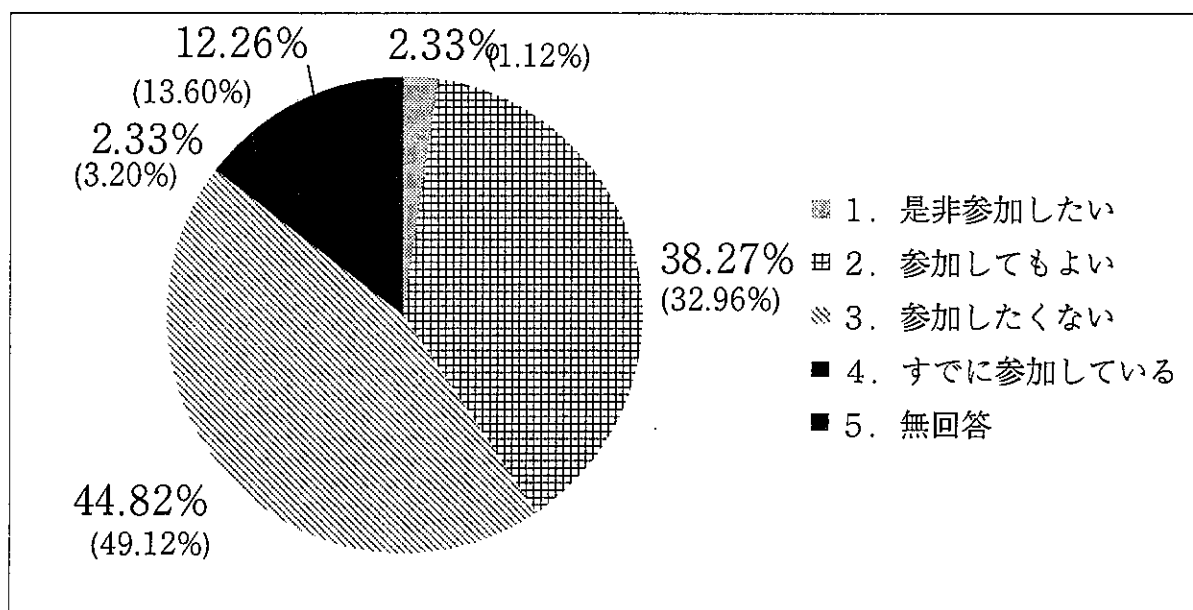
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. すでに参加している	5. 無回答
性別	男性	211	4.27%	49.29%	35.55%	2.84%	8.06%
	女性	262	6.49%	47.71%	28.24%	4.96%	12.60%
年齢別	65～69歳	83	3.61%	54.22%	34.94%	2.41%	4.82%
	70～74歳	139	5.04%	56.83%	29.50%	3.60%	5.04%
	75～79歳	96	4.17%	50.00%	30.21%	5.21%	10.42%
	80～84歳	86	9.30%	38.37%	30.23%	5.81%	16.28%
	85～89歳	49	4.08%	42.86%	34.69%	4.08%	14.29%
	90～94歳	17	11.76%	17.65%	41.18%	0.00%	29.41%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
認定別	一般高齢者	446	5.83%	50.90%	30.27%	4.04%	8.97%
	要支援1	10	0.00%	20.00%	70.00%	0.00%	10.00%
	要支援2	17	0.00%	0.00%	41.18%	5.88%	52.94%

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

企画・運営（お世話役）としての地域活動への参加意向について、「是非参加したい」が2.33%、「参加してもよい」が38.27%と、参加意向がある人が合計40.60%となっており、「参加したくない」の44.82%を下回っています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

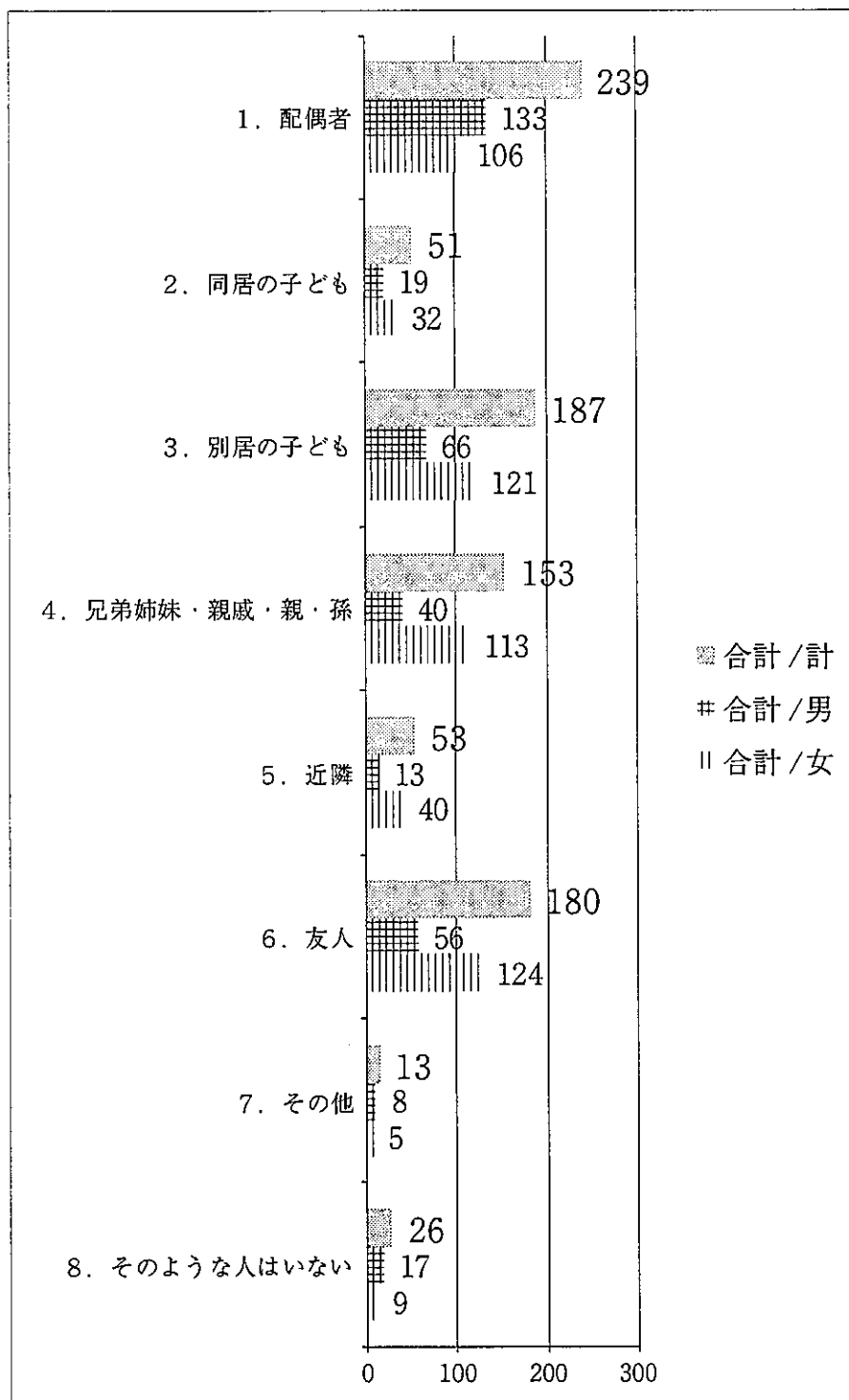
(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. すでに参加している	5. 無回答
性別	男性	211	1.90%	41.71%	45.50%	1.90%	9.00%
	女性	262	2.67%	35.50%	44.27%	2.67%	14.89%
年齢別	65～69歳	83	3.61%	46.99%	44.58%	1.20%	3.61%
	70～74歳	139	1.44%	45.32%	45.32%	2.16%	5.76%
	75～79歳	96	0.00%	37.50%	47.92%	3.13%	11.46%
	80～84歳	86	4.65%	32.56%	38.37%	2.33%	22.09%
	85～89歳	49	4.08%	22.45%	51.02%	4.08%	18.37%
	90～94歳	17	0.00%	23.53%	47.06%	0.00%	29.41%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
認定別	一般高齢者	446	2.46%	40.36%	43.95%	2.47%	10.76%
	要支援1	10	0.00%	10.00%	80.00%	0.00%	10.00%
	要支援2	17	0.00%	0.00%	47.06%	0.00%	52.94%

問6 たすけあいについて

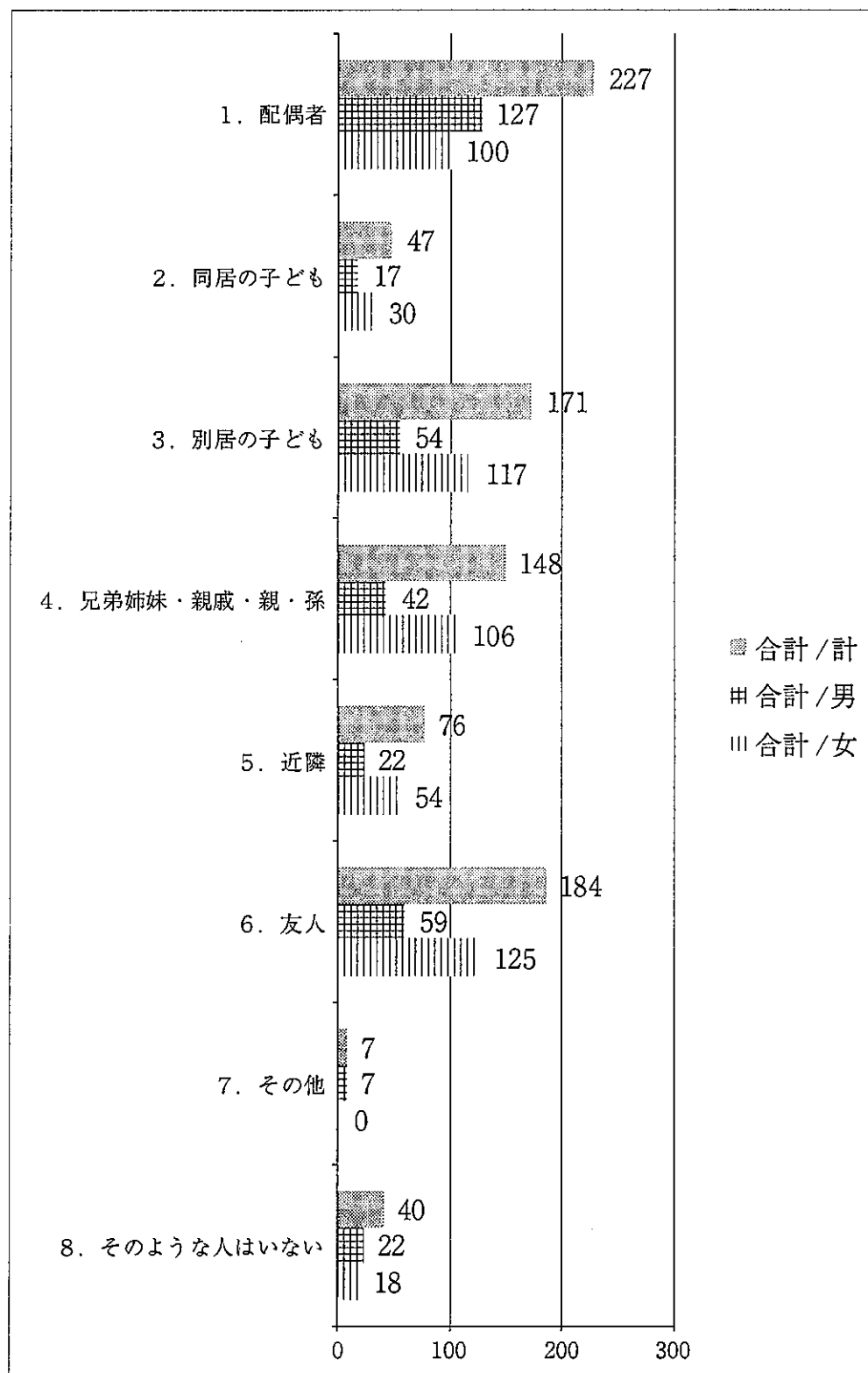
(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人について集計したところ、次のようになり、全体合計では、「1. 配偶者」と答えた方が239人と最も多く、次いで「3. 別居の子ども」で187人、その次に「4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫」が153人となっています。男女性別ごとでは、男性では「1. 配偶者」と答えた方が133人と最も多く、女性では「6. 友人」で124人が最も多く、性別ごとの集計では多い順が全体合計と変わっています。



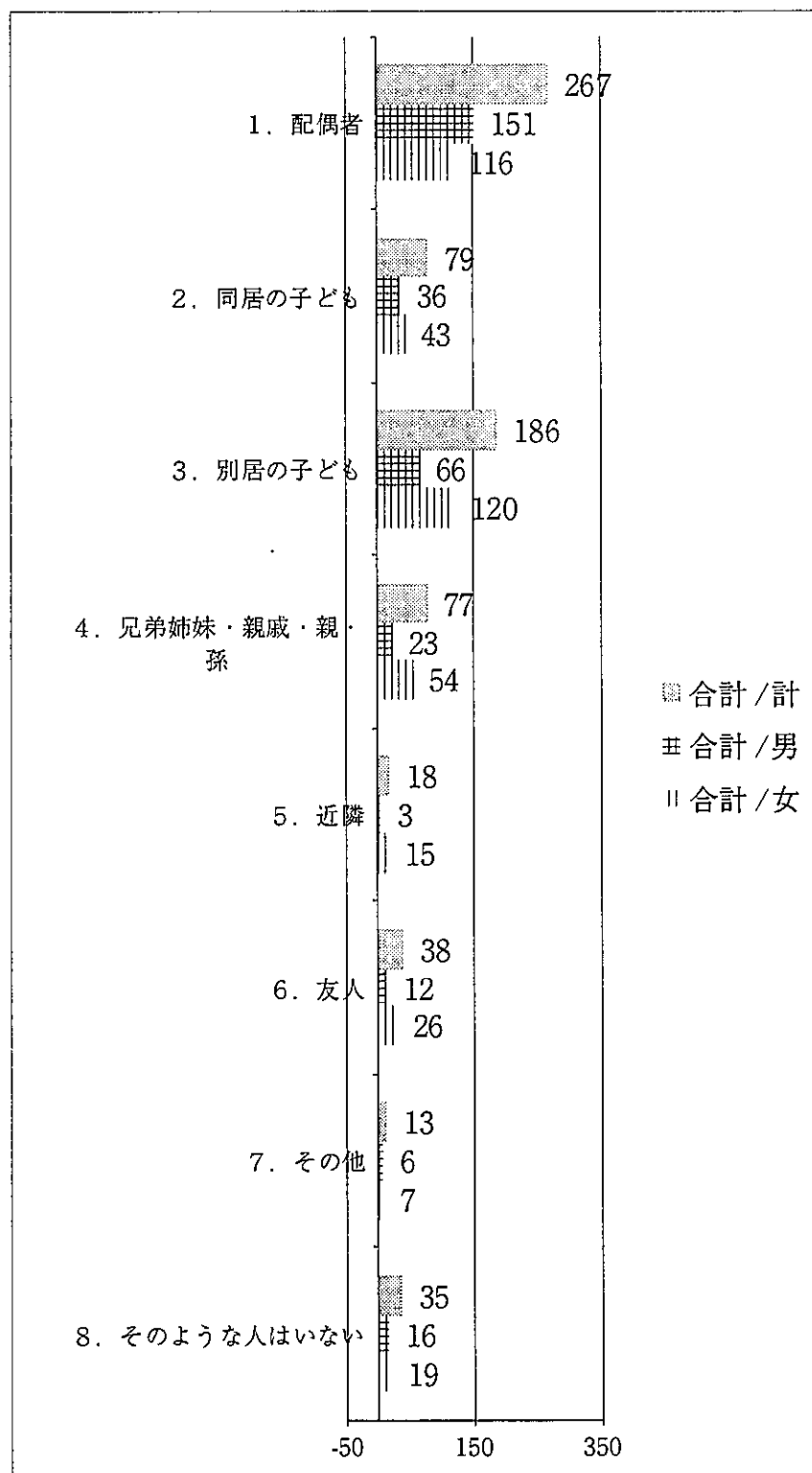
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人について集計したところ、次のようになり、全体合計では、「1. 配偶者」と答えた方が227人と最も多く、次いで「6. 友人」で184人、その次に「3. 別居のこども」が171人となっています。男女性別ごとでは、男性では「1. 配偶者」と答えた方が127人と最も多く、女性では「6. 友人」で125人が最も多くなっています。



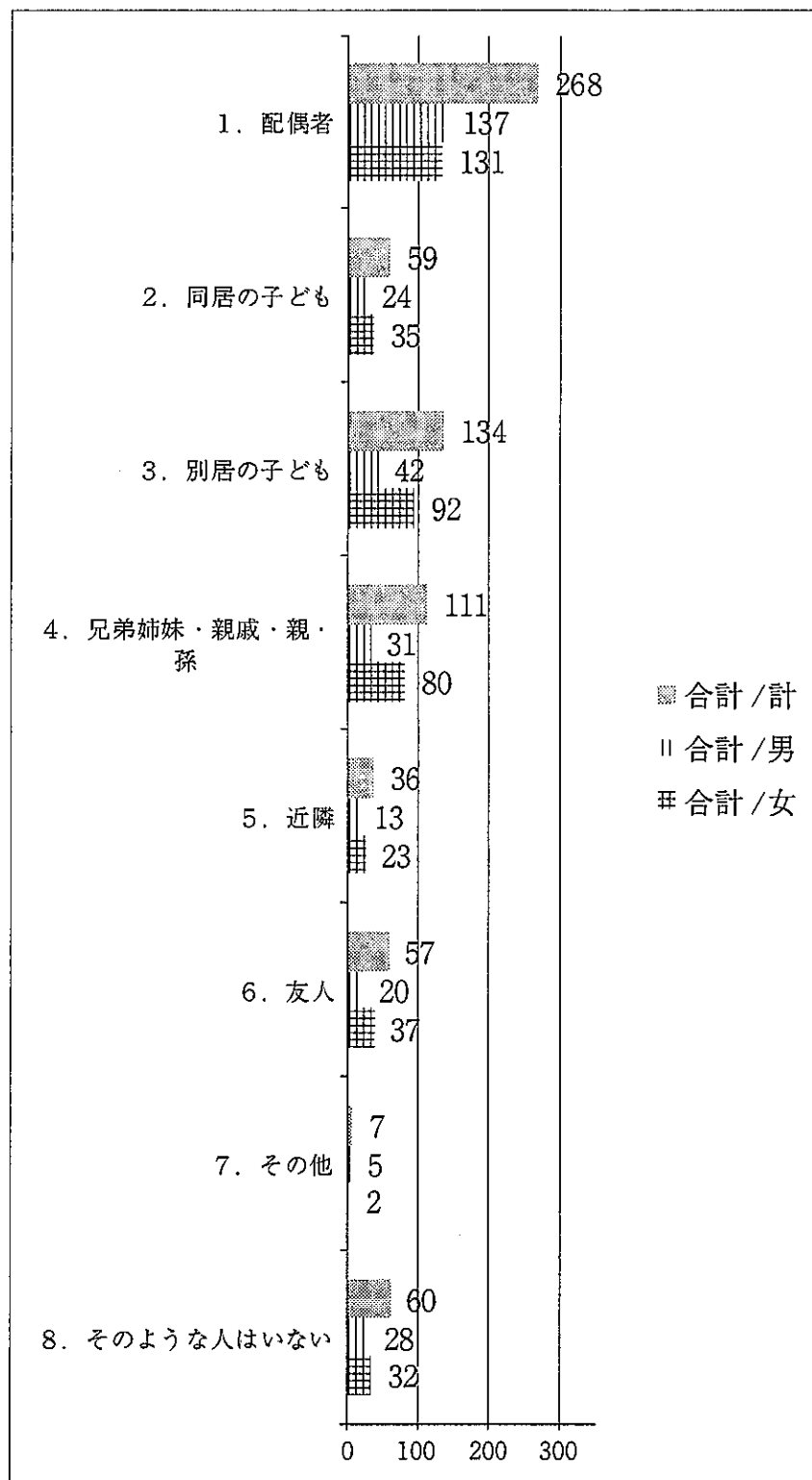
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

看病や世話をしてくれる人について集計したところ、次のようになり、全体合計では、「1. 配偶者」と答えた方が267人と最も多く、次いで「3. 別居の子ども」で186人、その次に「2. 同居の子ども」が79人となっています。男女性別ごとでは、男性では「1. 配偶者」と答えた方が151人と最も多く、女性では「3. 別居の子ども」で120人が最も多くなっています。



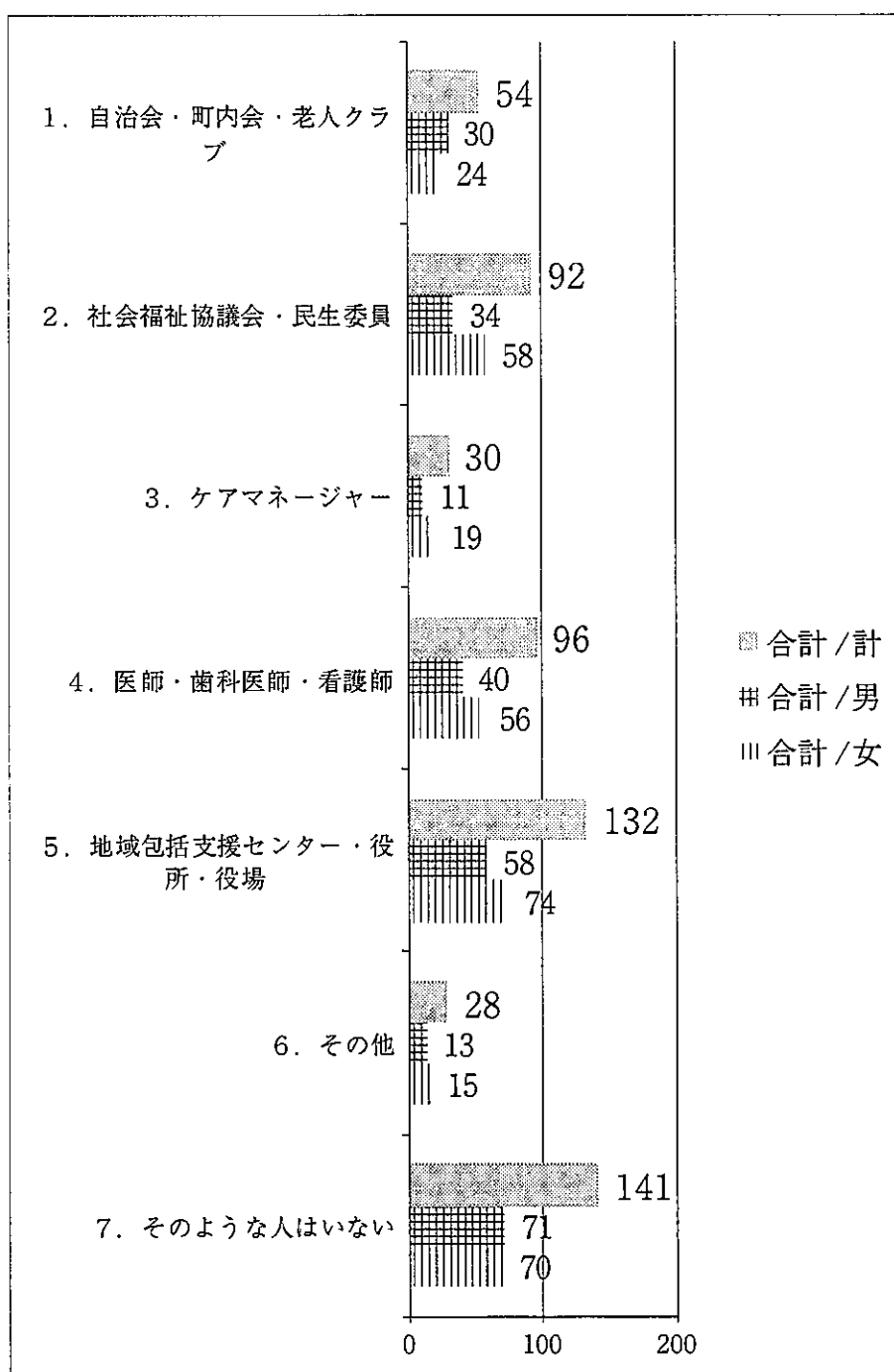
(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

看病や世話をしあける人について集計したところ、次のようになり 全体合計では、「1. 配偶者」と答えた方が 268 人と最も多く、次いで「3. 別居の子ども」で 134 人、その次に「4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 111 人となっています。男女性別ごとでは、男性では「1. 配偶者」と答えた方が 137 人と最も多く、女性の場合も「1. 配偶者」が 131 人で最も多くなっています。



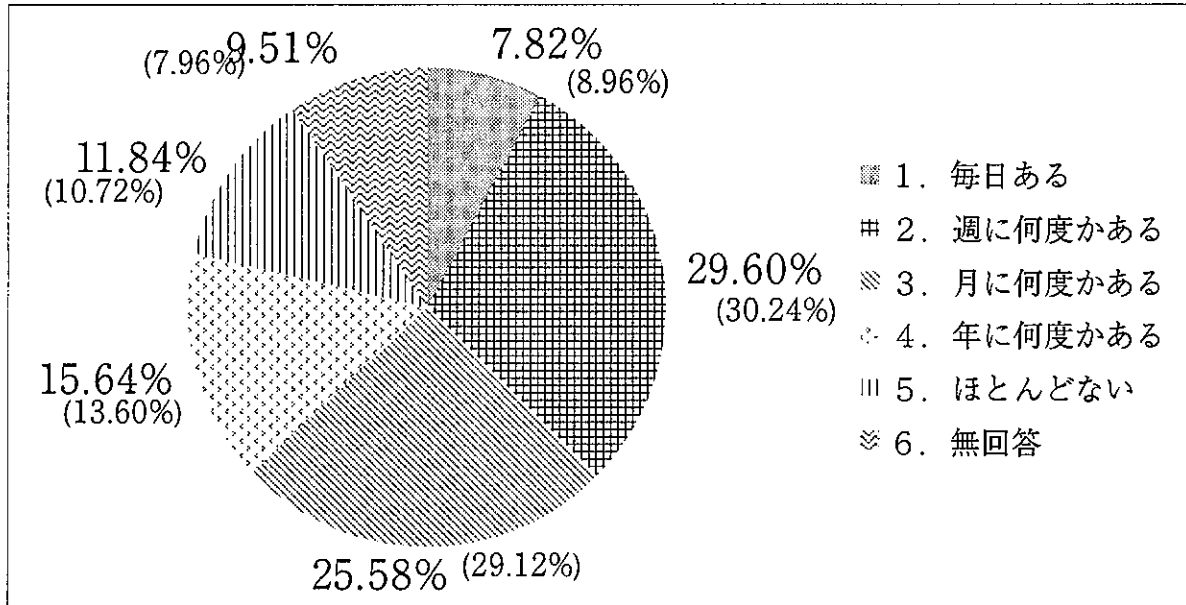
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手について集計したところ、次のようになり、全体合計では、「7. そのような人はいない」と答えた方が141人と最も多く、「5. 地域包括支援センター・役所・役場」が132人、その次に「4. 医師・歯科医師・看護師」が96人となっています。男女性別ごとでは、男性では「7. そのような人はいない」が71人で最も多く、次いで「5. 地域包括支援センター・役所・役場」が48人となり、女性の場合は「5. 地域包括支援センター・役所・役場」が74人で最も多くなっています。



(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

友人・知人と会う頻度については、「2. 週に何度かある」を選んだ方が最も多く 29.60%で、次いで「3. 月に何度かある」が 25.58%、その次が「4. 年に何度かある」で 15.64%となり、『ある』（「1. 毎日ある」～「4. 年に何度かある」）を選んだ方は、78.64%となっています。



友人・知人と会う頻度について、性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

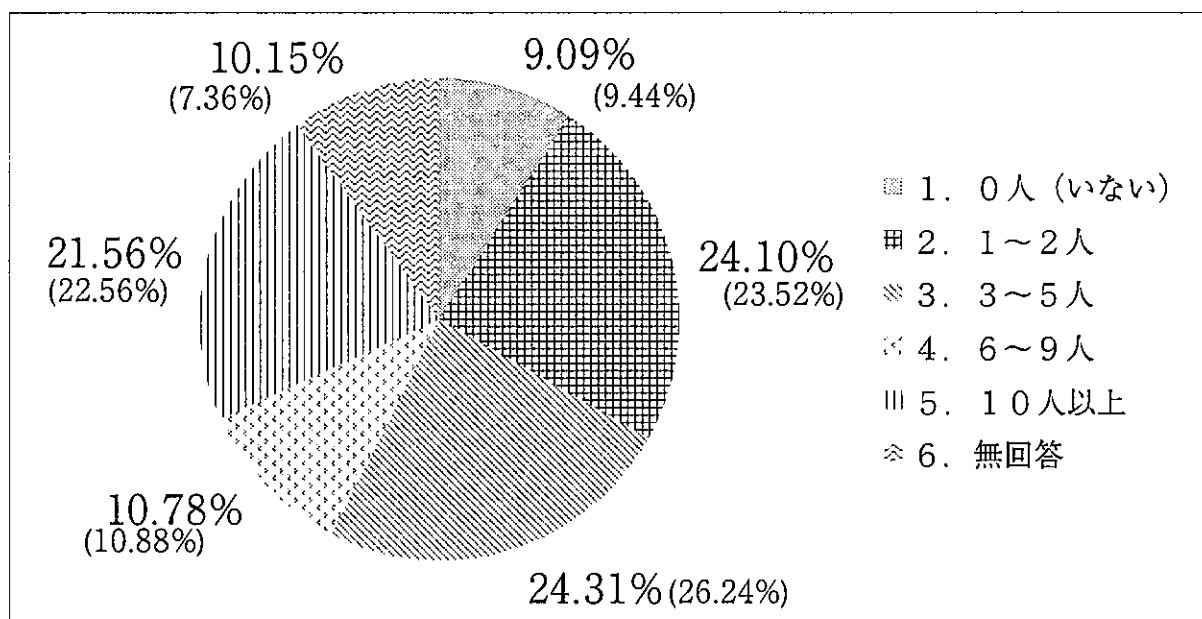
(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	4. 年に何度かある	5. ほとんどない	6. 無回答
性別	男性	211	9.48%	26.54%	25.12%	17.54%	11.85%	9.48%
	女性	262	6.49%	32.06%	25.95%	14.12%	11.83%	9.54%
年齢別	65～69歳	83	10.84%	21.69%	21.69%	26.51%	9.64%	9.64%
	70～74歳	139	7.91%	30.94%	29.50%	13.67%	10.07%	7.91%
	75～79歳	96	8.33%	34.38%	26.04%	14.58%	7.29%	9.38%
	80～84歳	86	6.98%	29.07%	25.58%	9.30%	13.95%	15.12%
	85～89歳	49	6.12%	34.69%	22.45%	18.37%	12.24%	6.12%
	90～94歳	17	0.00%	17.65%	23.53%	11.76%	47.06%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	33.33%	0.00%	0.00%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	8.30%	30.27%	25.34%	15.92%	10.54%	9.64%
	要支援1	10	0.00%	0.00%	70.00%	0.00%	30.00%	0.00%
	要支援2	17	0.00%	29.41%	5.88%	17.65%	35.29%	11.76%

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

この1か月間で友人・知人と会った人数については、「3. 3～5人以上」を選んだ方が最も多く24.31%で、次いで「2. 1～2人」が24.10%、その次が「5. 10人以上」で21.56%となり、『友人・知人と会った』（「2. 1～2人」～「5. 10人以上」）を選んだ方は、89.84%となっています。



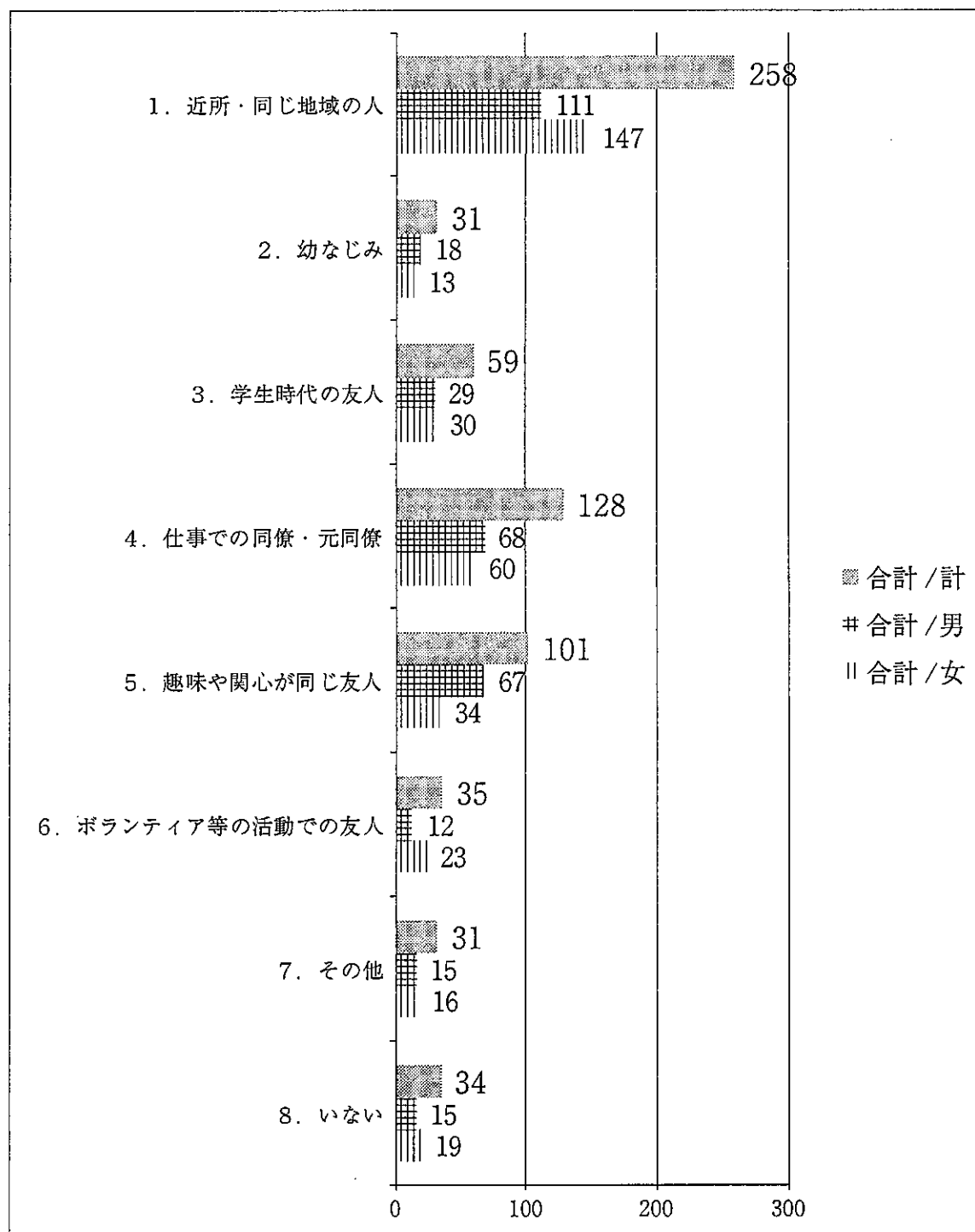
この1か月間で友人・知人と会った人数について、性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. 0人(いない)	2. 1～2人	3. 3～5人	4. 6～9人	5. 10人以上	6. 無回答
性別	男性	211	8.53%	28.44%	20.38%	10.43%	22.75%	9.48%
	女性	262	9.54%	20.23%	27.48%	11.07%	20.99%	10.69%
年齢別	65～69歳	83	14.46%	24.10%	20.48%	12.05%	20.48%	8.43%
	70～74歳	139	6.47%	25.18%	27.34%	11.51%	20.14%	9.35%
	75～79歳	96	5.21%	22.92%	27.08%	13.54%	19.79%	11.46%
	80～84歳	86	10.47%	18.60%	25.58%	6.98%	25.58%	12.79%
	85～89歳	49	8.16%	26.53%	22.45%	10.20%	24.49%	8.16%
	90～94歳	17	23.53%	41.18%	5.88%	0.00%	23.53%	5.88%
	95歳～	3	0.00%	33.33%	0.00%	33.33%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	8.74%	23.09%	24.66%	10.99%	22.20%	10.31%
	要支援1	10	10.00%	40.00%	30.00%	0.00%	20.00%	0.00%
	要支援2	17	17.65%	35.29%	11.76%	11.76%	11.76%	11.76%

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

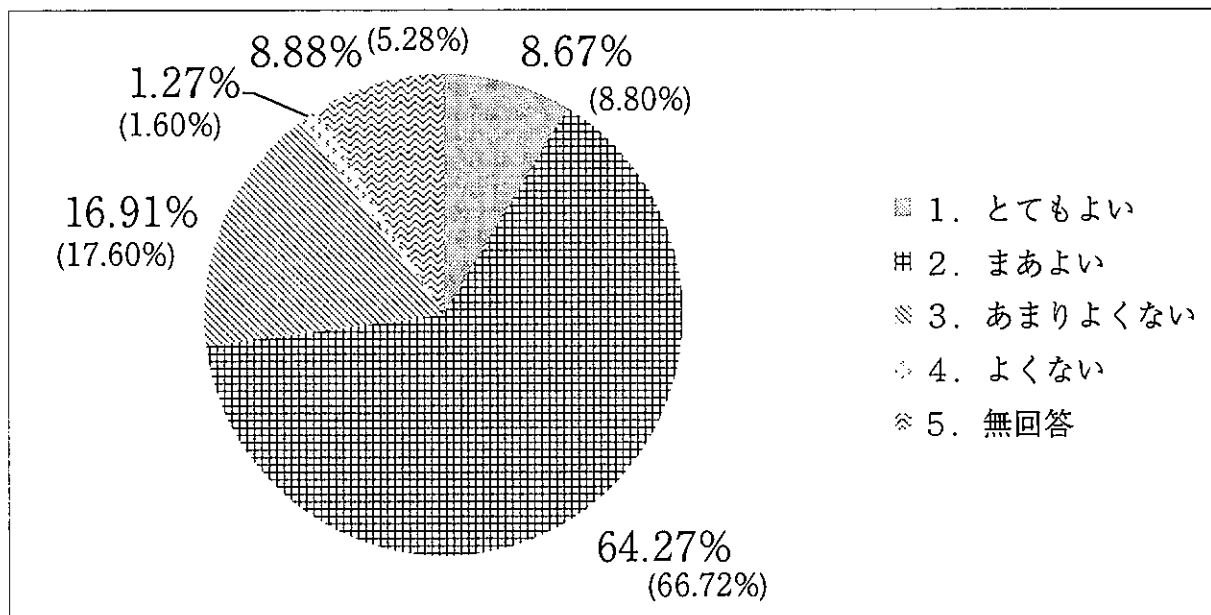
よく会う友人・知人はどんな関係の人について集計したところ、次のようになり、全体合計では、「1. 近所・同じ地域の人」を選んだ方が258人と最も多く、次いで「4. 仕事での同僚・元同僚」で128人、その次に「5. 趣味や関心が同じ友人」が101人となっています。男女性別ごとでは、男性では「1. 近所・同じ地域の人」と答えた方が111人と最も多く、女性の場合も「1. 近所・同じ地域の人」が147人で最も多くなっています。



問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

自分自身の健康状態について、「とてもよい」が8.67%、「まあよい」が64.27%となっており、合計した『よい』が72.94%となっています。一方、「あまりよくない」は16.91%、「よくない」は1.27%となっており、合計した『よくない』は18.18%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない	5. 無回答
性別	男性	211	9.48%	60.66%	19.91%	0.95%	9.00%
	女性	262	8.02%	67.18%	14.50%	1.53%	8.78%
年齢別	65～69歳	83	12.05%	64.47%	10.84%	1.20%	8.43%
	70～74歳	139	7.91%	68.35%	15.83%	0.00%	7.91%
	75～79歳	96	10.42%	66.67%	15.63%	0.00%	7.29%
	80～84歳	86	5.81%	53.49%	22.09%	4.65%	13.95%
	85～89歳	49	6.12%	63.27%	20.41%	2.04%	8.16%
	90～94歳	17	11.76%	58.82%	29.41%	0.00%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	66.67%	0.00%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	8.52%	64.80%	16.59%	1.12%	8.97%
	要支援1	10	30.00%	50.00%	20.00%	0.00%	0.00%
	要支援2	17	0.00%	58.82%	23.53%	5.88%	11.76%

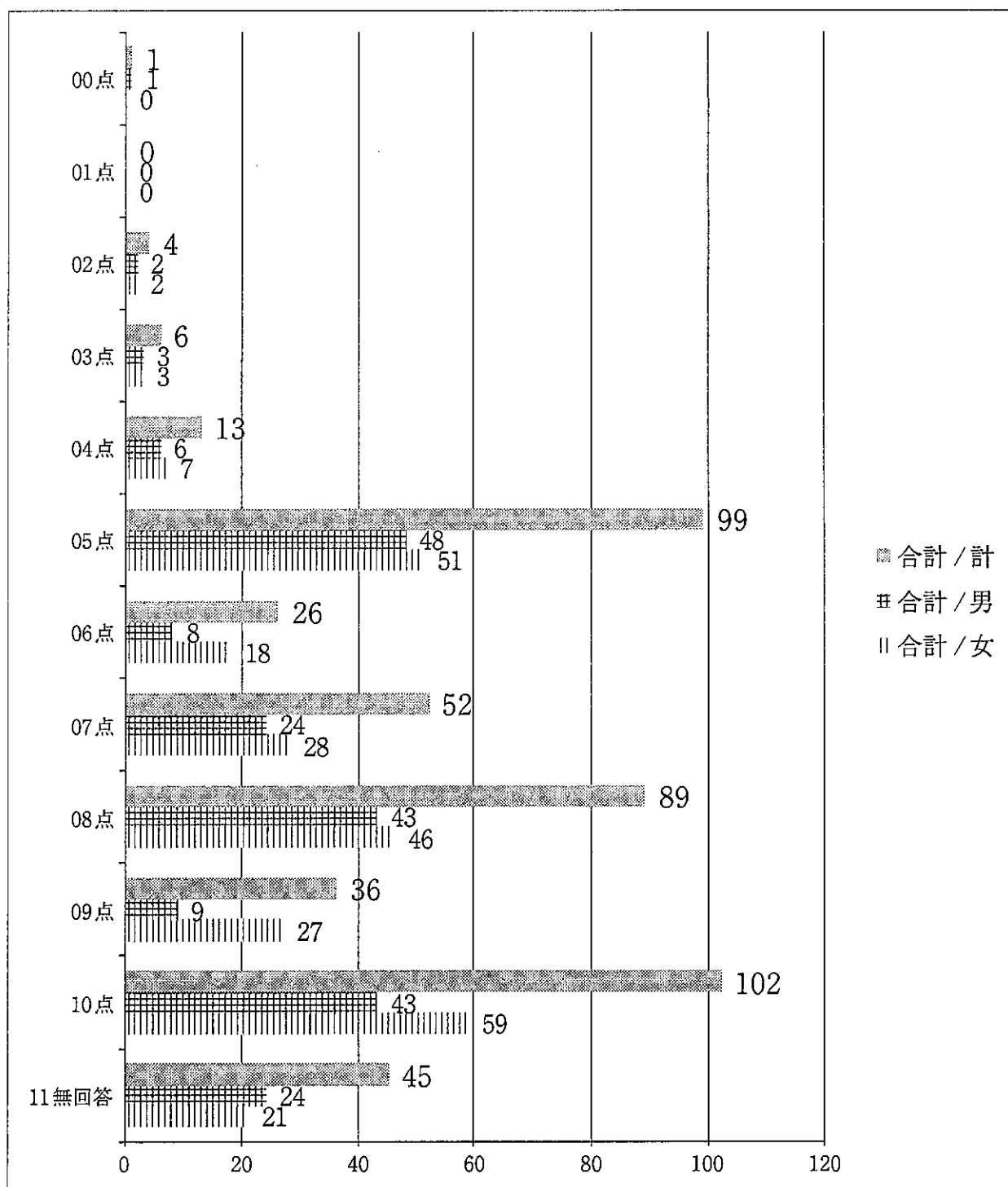
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

現在どの程度幸せに感じているか10点満点でたずねたところ、全体合計では、「10点」と答えた方が最も多く102人、次いで「5点」が99人、その次が「8点」で89人となっています。

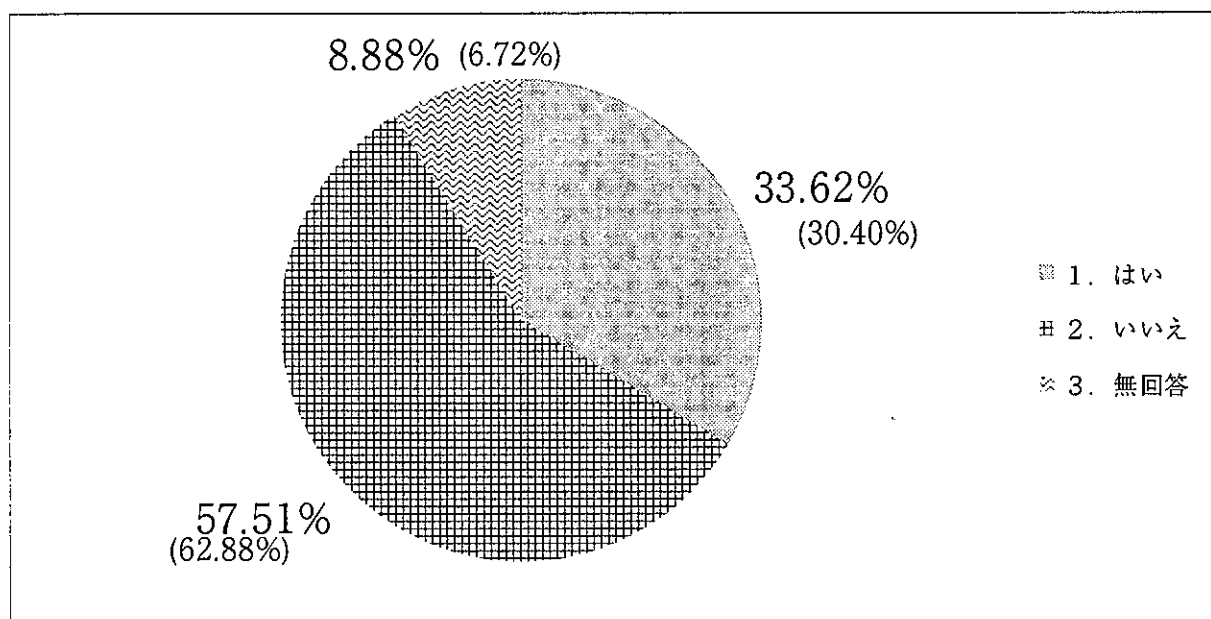
性別ごとの集計では、男性は「5点」と答えた方が最も多く48人で、女性は「10点」と答えた方が最も多く59人でした。

また、全体と性別ごとに平均を集計したところ、男性が7.2点、女性が7.5点で、全体では7.4点となりました。(前回、3年前の調査結果の平均は、男性7.2点、女性7.6点、平均7.4点でした。)



(3) この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

この1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかどうかについて集計したところ、「はい」が33.62%、「いいえ」が57.51%となっています。



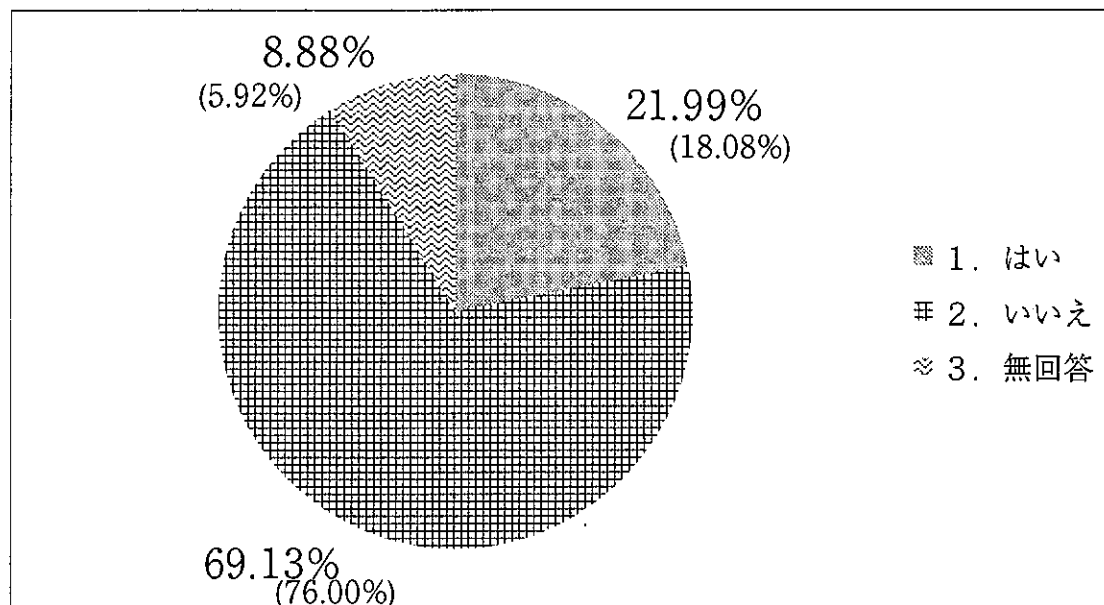
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	29.86%	61.14%	9.00%
	女性	262	36.64%	54.58%	8.78%
年齢別	65～69歳	83	27.71%	63.86%	8.43%
	70～74歳	139	33.81%	58.27%	7.91%
	75～79歳	96	34.38%	56.25%	9.38%
	80～84歳	86	32.56%	53.49%	13.95%
	85～89歳	49	44.90%	51.02%	4.08%
	90～94歳	17	35.29%	64.71%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	66.67%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	32.96%	58.07%	8.97%
	要支援 1	10	50.00%	50.00%	0.00%
	要支援 2	17	44.18%	47.06%	11.76%

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかどうかについて集計したところ、「はい」が21.99%、「いいえ」が69.13%となっています。



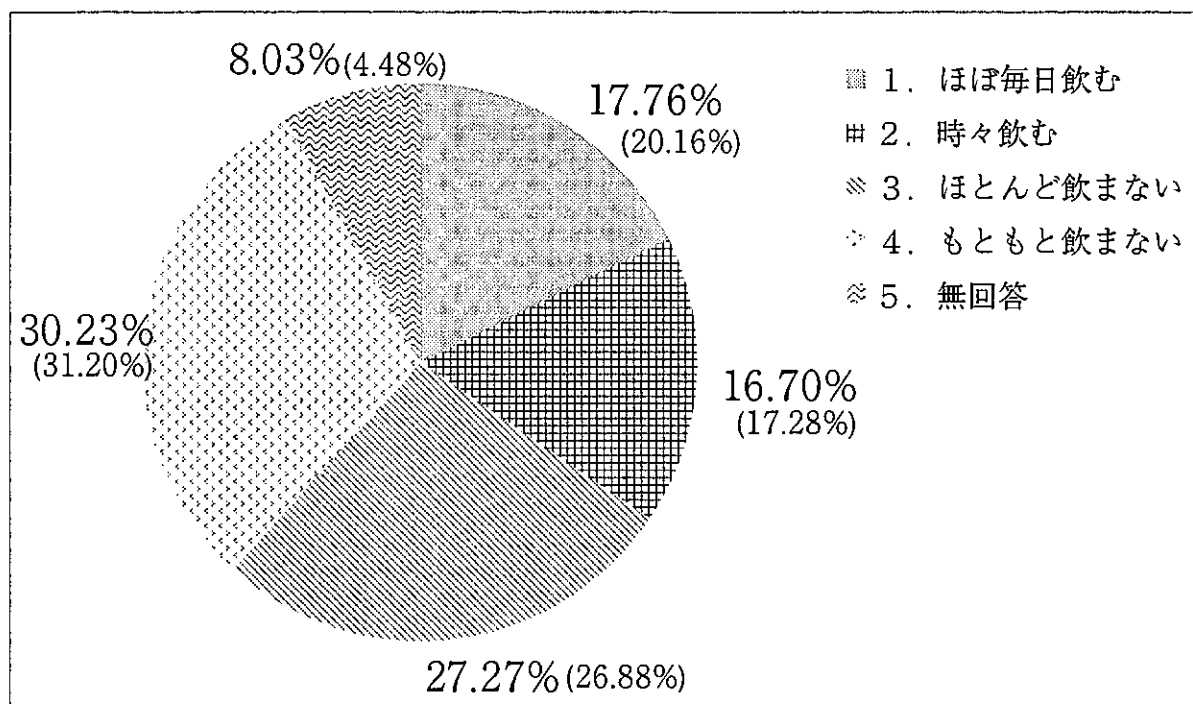
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	19.90%	70.62%	9.48%
	女性	262	23.66%	67.93%	8.40%
年齢別	65～69歳	83	19.28%	72.29%	8.43%
	70～74歳	139	23.02%	69.78%	7.19%
	75～79歳	96	23.96%	66.67%	9.38%
	80～84歳	86	18.60%	67.44%	13.95%
	85～89歳	49	24.49%	69.39%	6.12%
	90～94歳	17	29.41%	70.59%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	60.67%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	21.75%	69.28%	8.97%
	要支援1	10	30.00%	70.00%	0.00%
	要支援2	17	23.53%	64.71%	11.76%

(5) お酒は飲みますか

飲酒とその頻度について集計したところ、「4. もともと飲まない」が30.23%で最も多く、次いで「3. ほとんど飲まない」で27.27%、その次に「1. ほぼ毎日飲む」17.76%となっています。



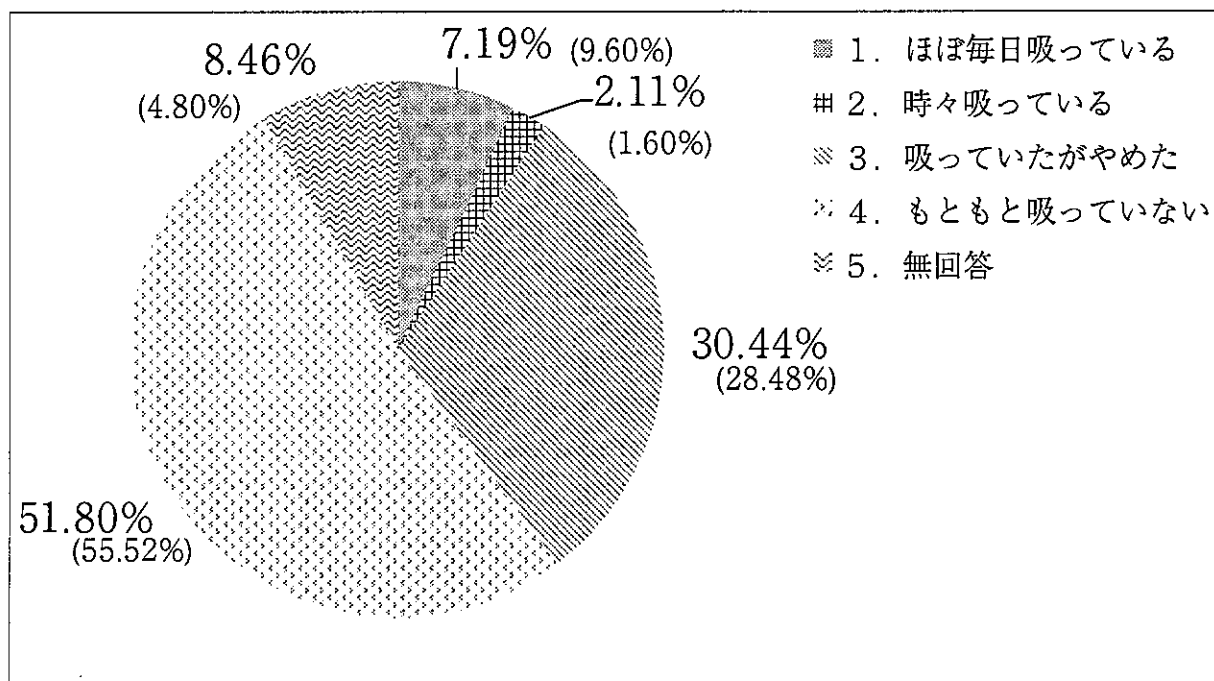
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない	5. 無回答
性別	男性	211	31.28%	19.43%	24.64%	16.11%	8.53%
	女性	262	6.87%	14.50%	29.39%	41.60%	7.63%
年齢別	65～69歳	83	27.71%	14.46%	19.28%	30.12%	8.43%
	70～74歳	139	21.58%	20.14%	28.78%	23.02%	6.47%
	75～79歳	96	15.63%	18.75%	29.17%	29.17%	7.29%
	80～84歳	86	8.14%	12.79%	31.40%	34.08%	12.79%
	85～89歳	49	12.24%	16.33%	22.45%	42.86%	6.12%
	90～94歳	17	17.65%	11.76%	29.41%	41.18%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	66.67%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	18.16%	17.71%	26.68%	29.37%	8.07%
	要支援1	10	10.00%	0.00%	20.00%	70.00%	0.00%
	要支援2	17	11.76%	0.00%	47.06%	29.41%	11.76%

(6) タバコは吸っていますか

喫煙とその頻度について集計したところ、「4. もともと吸っていない」が51.80%で最も多く、次いで「3. 吸っていたがやめた」で30.44%となっています。



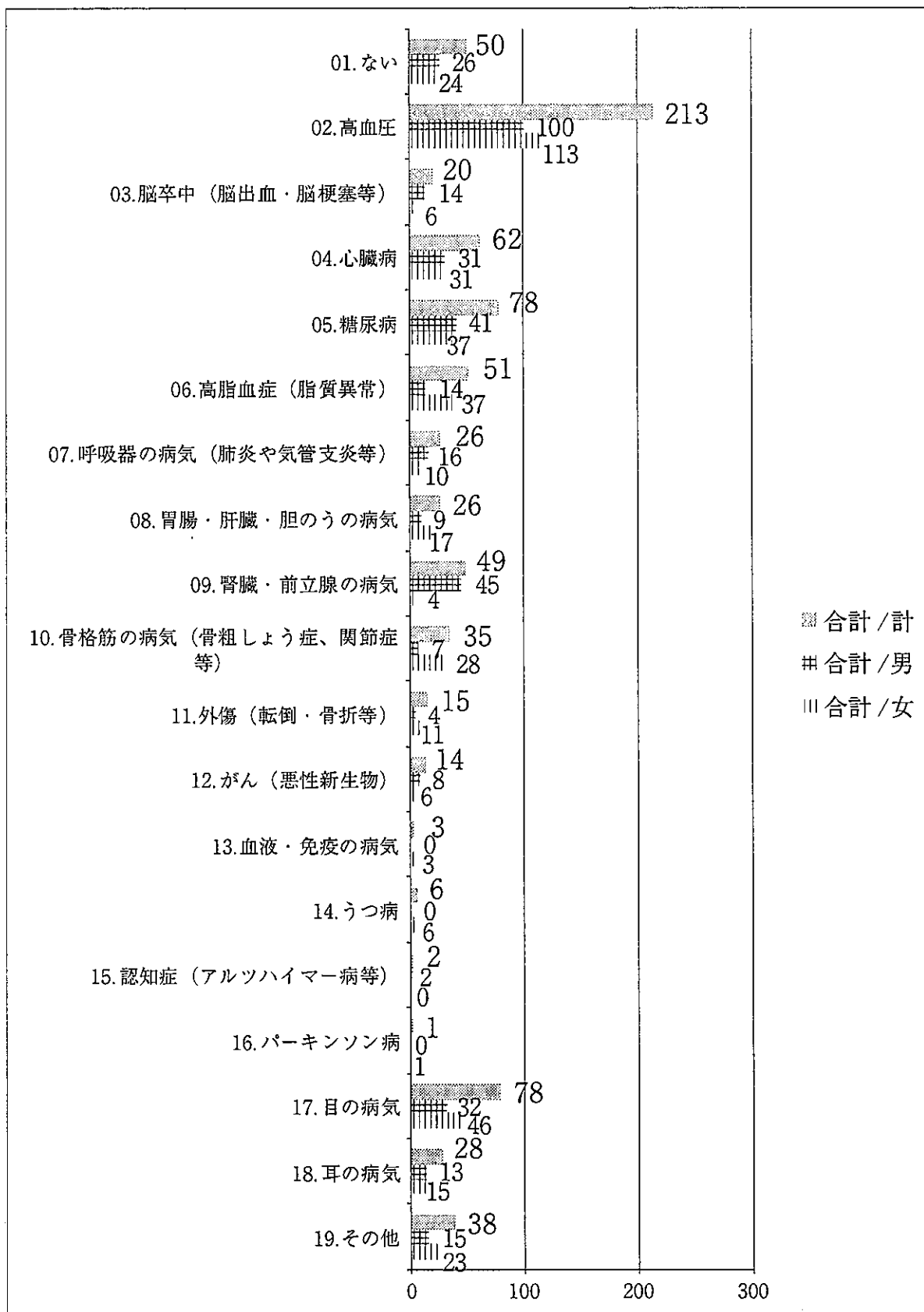
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない	5. 無回答
性別	男性	211	10.90%	0.47%	53.55%	26.07%	9.00%
	女性	262	0.20%	3.44%	11.07%	73.28%	8.02%
年齢別	65～69歳	83	9.64%	2.41%	38.55%	39.76%	9.64%
	70～74歳	139	12.95%	2.16%	31.65%	46.76%	6.47%
	75～79歳	96	5.21%	1.04%	25.00%	61.46%	7.29%
	80～84歳	86	1.16%	4.65%	25.58%	55.81%	12.79%
	85～89歳	49	2.04%	0.00%	30.61%	59.18%	8.16%
	90～94歳	17	5.88%	0.00%	29.41%	64.71%	0.00%
	95歳～	3	0.00%	0.00%	66.67%	0.00%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	6.95%	2.24%	30.27%	52.02%	8.52%
	要支援1	10	10.00%	0.00%	30.00%	60.00%	0.00%
	要支援2	17	11.76%	0.00%	23.53%	54.94%	11.76%

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

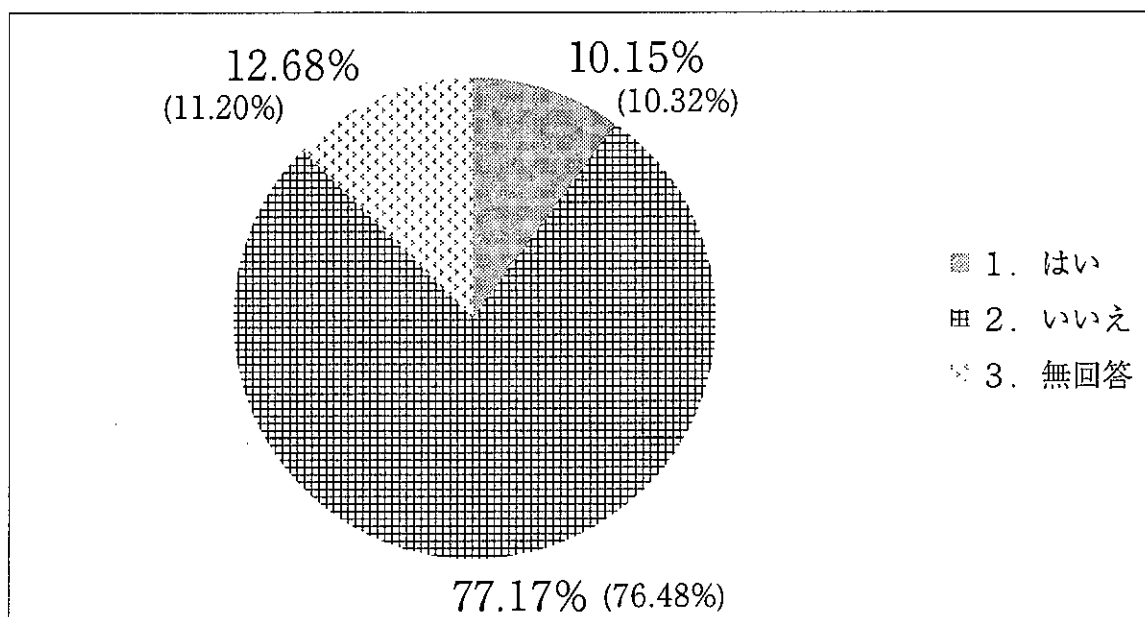
現在治療中、または後遺症のある病気について、回答を総合計及び男女別に人数の集計をしたところ、次のようになりました。



問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

認知症の症状がある人の有無については、「はい (いる)」を選択された方が10.15% 「いいえ (いない)」を選択された方が77.17%となっています。



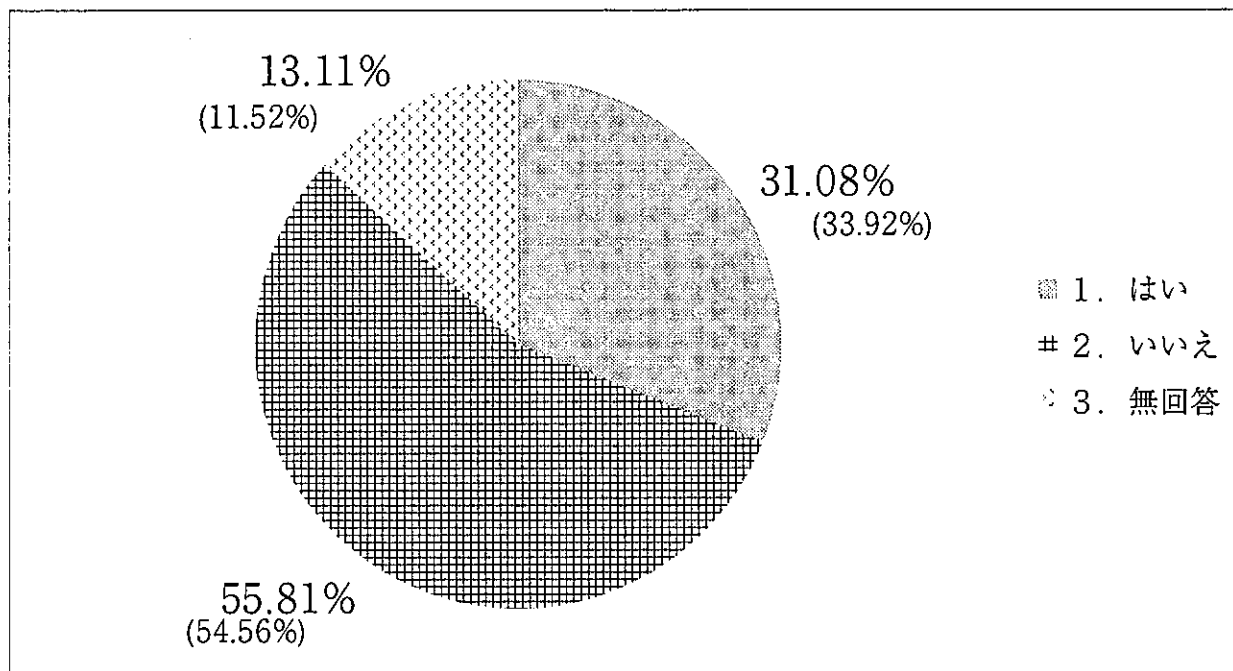
上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	10.43%	77.73%	11.85%
	女性	262	9.92%	76.72%	13.36%
年齢別	65～69歳	83	18.07%	72.29%	9.64%
	70～74歳	139	6.47%	81.29%	12.23%
	75～79歳	96	9.38%	76.04%	14.58%
	80～84歳	86	6.98%	79.07%	13.95%
	85～89歳	49	10.20%	77.55%	12.24%
	90～94歳	17	23.53%	64.71%	11.76%
	95歳～	3	0.00%	66.67%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	9.64%	78.03%	12.33%
	要支援 1	10	20.00%	70.00%	10.00%
	要支援 2	17	17.65%	58.82%	23.53%

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

認知症に関する相談窓口の把握については、「はい(知っている)」を選択された方が31.08%、「いいえ(知らない)」を選択された方が55.81%となっています。



上記設問における回答から性別、年齢別、介護認定別に集計したところ、次のようになりました。

(最も回答が多かった選択肢に色づけをしています。)

		回答者数	1. はい	2. いいえ	3. 無回答
性別	男性	211	27.96%	55.77%	13.27%
	女性	262	33.59%	53.44%	12.98%
年齢別	65～69歳	83	37.35%	54.22%	8.43%
	70～74歳	139	27.34%	61.15%	11.51%
	75～79歳	96	33.33%	53.13%	13.54%
	80～84歳	86	32.56%	52.33%	15.12%
	85～89歳	49	30.61%	51.02%	18.37%
	90～94歳	17	11.76%	70.59%	17.65%
	95歳～	3	33.33%	33.33%	33.33%
認定別	一般高齢者	446	30.94%	56.28%	12.78%
	要支援1	10	50.00%	40.00%	10.00%
	要支援2	17	23.53%	52.94%	23.53%

問9 今後の暮らしについて（以下、今回調査から新規設問で、詳細分析中です。）

（1）今後どこで生活したいですか（1つに○）

		回答者数	1. 自宅に住み 続けたい	2. 子どもの家に 住みたい	3. 施設に入りた い	4. 状況に応じて 施設と自宅を行 き来したい	5. 病院に入りた い	6. その他	7. 無回答
	合計	473	68.92%	0.85%	4.86%	6.13%	0.42%	7.82%	10.99%
性別	男性	211	74.88%	1.90%	4.74%	6.64%	0.47%	3.32%	8.06%
	女性	262	64.12%	0.00%	4.96%	5.73%	0.38%	11.45%	13.36%

（3）人生会議（ACP）という言葉を知っていますか（1つに○）

		回答者数	1. 意味も含め て知っている	2. 聞いたことは あるが、意味は 理解していない	3. 知らない	4. 無回答
	合計	473	6.77%	15.22%	63.85%	14.16%
性別	男性	211	7.11%	15.64%	65.88%	11.37%
	女性	262	6.49%	14.89%	62.21%	16.41%

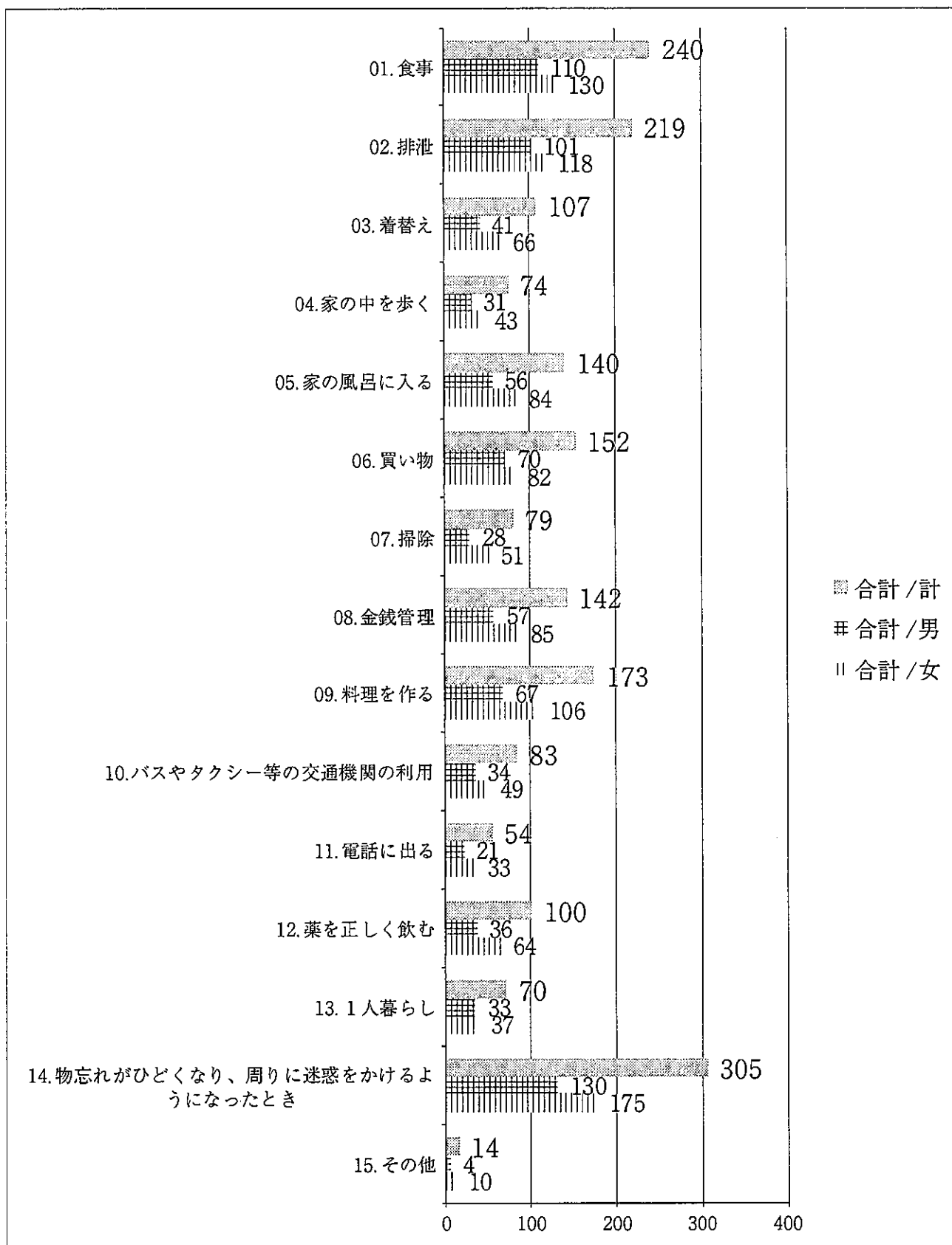
（4）ご自身が終末期になった時にどうしたいか、家族等と話しあったことはありますか（1つに○）

		回答者数	1. 家族と話し合 い、意思を伝え ている	2. 話し合ったこ とはないが、エン ディングノート等 の書面で残して いる	3. 話し合ったこ とはないが、今 後話し合いたい と考えている	4. 話し合ったこ とはないし、今後 も話し合う予定 はない	5. 無回答
	合計	473	13.36%	4.96%	52.67%	5.78%	23.28%
性別	男性	211	23.70%	2.37%	58.29%	9.48%	6.16%
	女性	262	32.44%	4.96%	52.67%	5.73%	23.28%

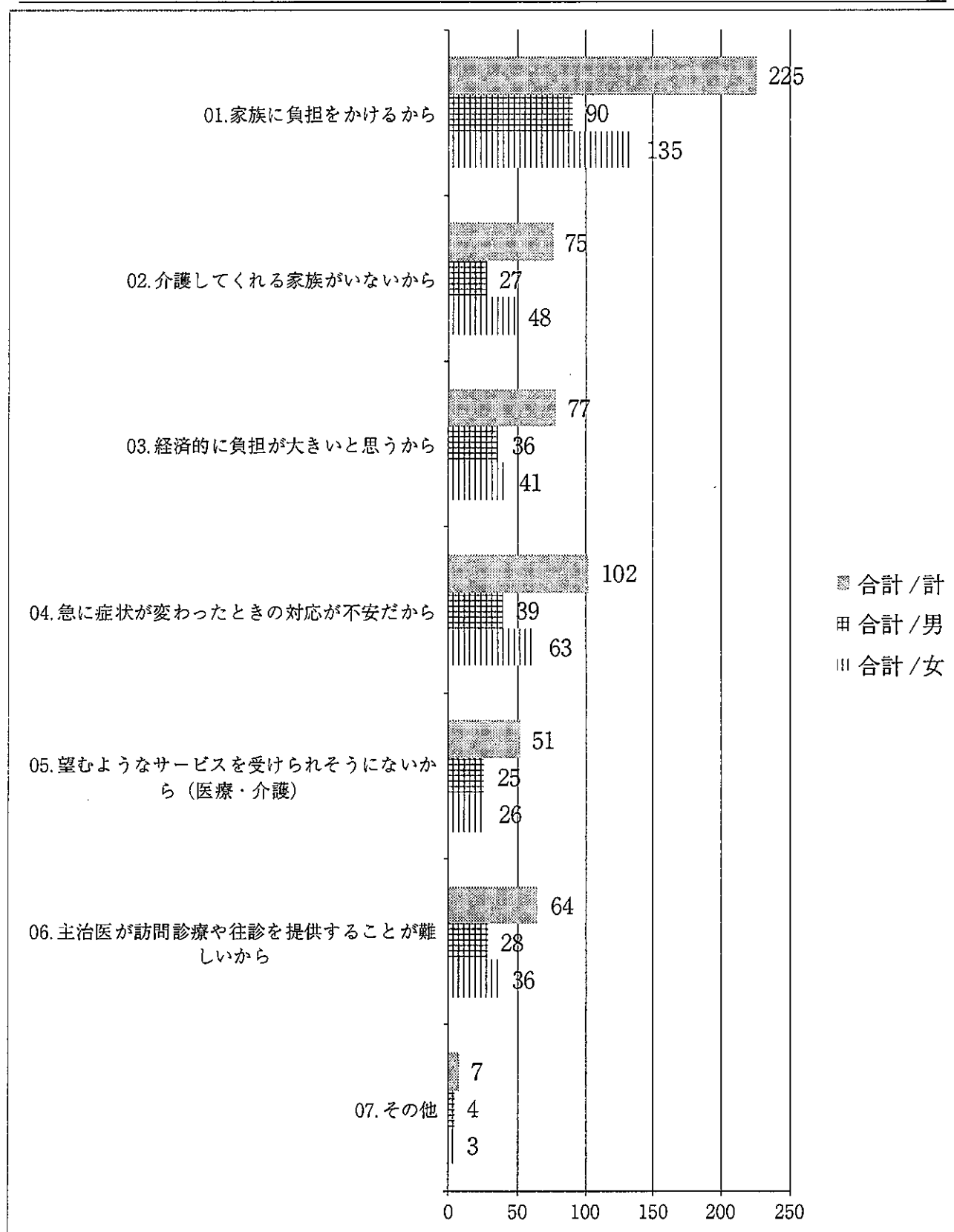
（5）長期の療養が必要になったとき、在宅医療を希望しますか（1つに○）

		回答者数	1. 希望するし 実現可能だと思 う	2. 希望するが、 実現は難しいと 思う	3. 希望しない	4. わからない	5. 無回答
	合計	473	5.73%	45.80%	19.47%	23.28%	5.73%
性別	男性	211	17.06%	40.28%	13.74%	24.17%	4.74%
	女性	262	5.73%	45.80%	19.47%	23.28%	5.73%

(2) 今の住まいに住み続けることができないと感じるのは、1人で何ができなくなったときだと思いますか（あてはまるものすべてに○）



(6) 在宅医療が難しいと思う、あるいは希望しないのはなぜですか（あてはまるものすべてに○）（前出(5)の設問で「2. 希望するが、実現は難しいと思う」か「3. 希望しない」を選択した場合のみ回答）



○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査から分析結果について

質問事項	ページ数	分 析 等 を し た 事 項
問 1 (2) ①	1 1	「高齢による衰弱」とは具体的には「ADLの低下」・「フレイル」による衰弱と推測される。
問 1 (2) ②	1 3	「老々介護」の傾向が高い結果となった。介護者のケアも必要であると思われる。
問 1 (3)	1 5	経済的に厳しいという主な理由を以下のとおり分析した。 (1) 働かない時期になると働いていたときより収入が減る。 (2) 「働いていた生活スタイル」から「働かない生活スタイル」の変換による人生設計やお金のやりくりが難しい。 (3) 物価高の影響を受けている。
問 2 (1)	1 7	前回調査より改善が見える。今後も介護予防事業（転ばん塾）の継続が必要である。「問 2 (4) 転倒調査で前回より悪くなっている。」
問 2 (7)	2 3	前回調査よりも「外出傾向」が多くなっている。
問 2 (8)	2 4	「外での楽しみがない」という回答が多いため、外出するための目的を増やす施策が必要ではないか。（自分達で行う諸活動の時間を作る方策の検討が必要ではないか。）
問 2 (9)	2 6	自分で自動車を運転している回答者が多いが、交通手段のない回答者の支援は引き続き検討が必要であると思われる。
問 3 (2)	3 1	口腔機能の低下が見られるので、何かの対策が必要と思われる。
問 3 (8)	3 9	コロナの影響が減少していると思われる。
問 4 (1)	4 0	認知症予防対策の事業継続と強化を図る必要がある。
問 4 (10)	4 9	新聞や情報誌以外の媒体（パソコン・スマホ）の普及が影響していると思われる。
問 5 (3)	6 0	前回調査より「是非参加したい」の割合は増加しているが、自分で企画・運営しての参加意向の割合は低い。
問 6 (5)	6 5	相談する相手（家族・友人・知人以外）で「地域包括支援センター」を選ぶ回答者が多いが、「そのような人がいない。」と選ぶ回答者も多い。
問 7 (3)	7 1	後期高齢者になってからの傾向が高い。
問 7 (5)・(6)	73・74	健康志向が増加している。
問 7 (7)	7 5	色々な病気の記載があるが、実際に自分のかかっている病気自体を正確に把握しているか確認が必要であるとの意見があった。又、高血圧が多いので継続して減塩指導をしていく。
問 8 (2)	7 7	認知症に関する相談窓口が「知らない」を選んだ回答者が多いので、「地域包括支援センター」の周知強化が必要である。
問 9 (1)	7 8	今後の暮らしについて「自宅に住み続けたい」が多いが、当町では施設に入所する人の割合が高い。 (介護認定 193 人 施設入所 76 人)

○ 今回の実態調査の分析を踏まえ次の取り組みが必要と考えられます。

- ・ 高齢者がいる世帯のうち夫婦2人暮らしと1人暮らしの高齢者の世帯の割合が高く「老々介護」の傾向が高いため、今後の自宅生活が継続できるように、健康づくり、介護予防の推進により健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で、その人らしい生活が継続できる支援体制が必要であること。
- ・ 地域でさまざまな集いや活動が行われているが、外での楽しみがないことや自分で企画立案する行事には参加しない傾向が多いため、既に参加している高齢者はその継続を図り、まだ参加していない場合は高齢者が参加したくなるような魅力のある活動、地域で気軽に集える介護予防グループの活動支援や、高齢者のニーズに応じた多様な介護予防の取組を行い、多くの高齢者が介護予防活動に参加し、外出の機会が増えるような対策が必要であること。
- ・ 在宅や施設での医療・介護サービス、健康づくり・介護予防・認知症予防について、講演会や予防事業等を継続して開催し、医療・介護サービスの活用や健康づくり・介護予防活動の普及啓発を図る。
- ・ 本人の身体状況の変化や介護する家族等の就労状況によって、家庭での生活が困難とを感じる場合には相談機関が地域包括支援センター等であることを広報活動で強化していくこと。又、居宅や施設サービス提供事業所との連携を図り、本人と家族等の支援の充実を図る。また、認知症に関する相談窓口や認知症の症状についての普及啓発の機会の充実に努める。

第3節 計画の方向

1 基本理念

今回の第9期計画期間（令和6～8年度）は、第6期計画（平成27～29年度）から2025年（令和7年）までの各計画期間を通じて地域包括ケアシステムを段階的に構築する期間の後半の期間にあたります。

今回、第9期計画を策定するにあたり、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年が間近になるとともに、団塊ジュニア世代が65歳以上になり、現役世代が急減する2040年を念頭においた計画とする必要があります。

地域包括ケアシステムを構築することとしたこれまでの計画での基本理念と施策の体系の根本を引き継ぎながら、将来を見据え、目指すべき地域の姿を作るための基本方針と施策の体系を次のとおりとします。

『住み慣れた地域でお互い支えながら
安心していきいき暮らせるまちづくり』
（住み慣れた地域でみんなで力を合わせて支え合うまち）

今回、これまでの計画での実績と今回実施した実態調査等をもとに次の3つの目標を定めました。

1. 笑顔で元気に生活できる
2. 安全で安心して生活できる
3. 地域で支え合いながら生活できる

2 基本方針と施策の体系

次の3つの基本方針に基づき、施策を推進します。

1. 「笑顔で元気に生活できる」（健康づくりと介護予防の推進）

高齢者ができる限り、健康で活動的な生活を送ることができるよう様々な観点からそれぞれの状態に応じ、これまで進めてきた健康づくり、介護予防、集いの場の充実と継続を目指します。

2. 「安全で安心して生活できる」（在宅生活支援の推進と居住環境の向上）

高齢者が安心して暮らせるよう、これまで進めてきた見守り体制や生活支援の推進を継続するとともに、居住環境を向上し、介護が必要となった場合、高齢者と介護をする家族等を支え、重度化防止と介護をする人の負担が増えない環境づくりの充実を目指します。また、高齢者が安全に暮らせるよう、災害弱者の支援体制づくりや感染症対策を進めます。

3. 「地域で支え合いながら生活できる」（地域包括ケアシステムの推進）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域との連携、介護保険サービスや保健福祉サービスの適切な提供とともに関係機関との連携の充実を目指します。また、認知症の人とその家族を支える取り組みを進めます。

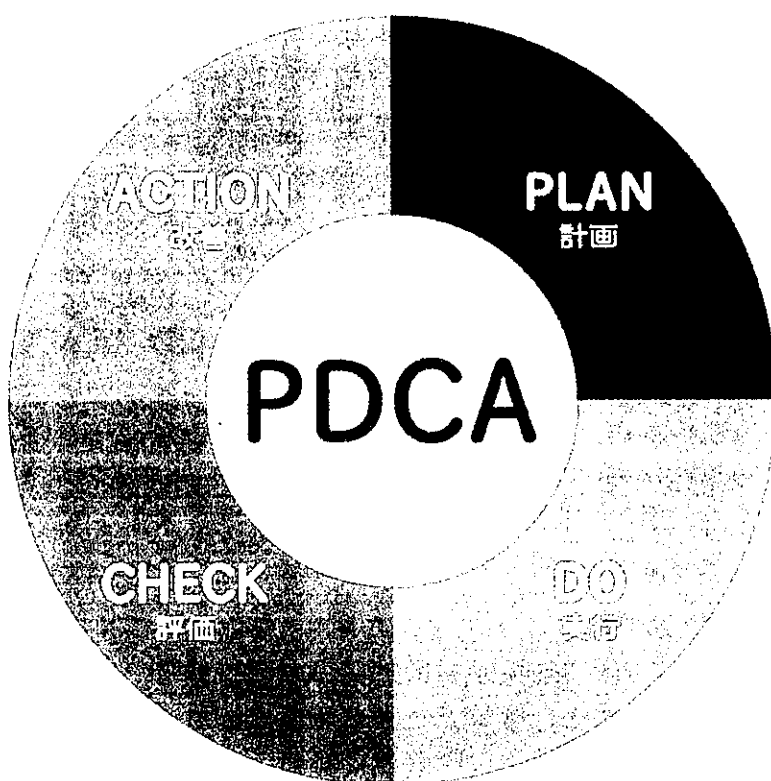
基本方針	施策の柱	実施施策
1 健康づくりと 介護予防の推進	① 健康づくりの推進	①～③ 各種健診 検診 ④ 各種保健計画に基づく事業実施 ⑤ 保健指導 健康相談 ⑥ 医療体制の充実
	② 介護予防の推進	① 地域支援事業 介護予防・日常生活支援総合事業 ② 地域支援事業 包括的支援事業 ③ 地域支援事業 任意事業
	③ 社会参加の促進	① 高齢者の生きがいづくりの場の創出 ② 老人クラブ活動への支援 ③ 山美湖大学 ④ 町、関係機関及び各種団体等による集いの場
	④ 敬老事業	① 長寿祝金 ② 町営温泉等使用料補助 ③ ふれあい敬老昼食会
2 在宅生活支援の 推進と居住環境 の向上	① 日常生活の支援	① ショートステイ(短期入所生活支援事業) ② デイサービス 自立外出支援事業 ③ ホームヘルプサービス 自立訪問支援事業 ④ 配食サービス事業 ⑤ 雪下ろしサービス事業 ⑥ 入浴送迎サービス事業
	② 移動・外出の支援	① 路線バス無料化事業 ② コミュニティータクシー事業 ③ 高齢者車いす移送サービス事業
	③ 家族介護の支援	① 家族介護用品支給事業
	④ 居住環境の向上	① 生活支援ハウス運営事業 ② 介護保険住宅改修の活用
	⑤ 事業所との連携	① 養護老人ホーム入所措置 ② 介護保険施設との連携 ③ 医療施設との連携 ④ 居宅サービス事業所等との連携、高齢者の多様な住まい方への支援
	⑥ 見守り相談体制の整備	① 地域包括支援センター運営業務 ② 地域の見守り体制づくり ③ 訪問サービス事業 ふれあい友愛訪問
	⑦ 事故・災害等への対策	① 消防防火訪問 ② 緊急通報端末機貸与事業 ③ 消費者被害の防止 ④ 災害弱者の支援体制づくり、感染症対策の実施
3 地域包括ケア システムの深化 推進	① 認知症施策の推進	① 認知症地域支援推進員 認知症初期集中支援チーム事業 ② 認知症ケアパスの発行 ③ 認知症サポーターの養成、チームオレンジの編成、認知症カフェの実施 ④ 認知症高齢者の権利擁護
	② 在宅医療・介護連携の推進	① 地域の医療・介護サービスの連携諸事業 ② 地域ケア会議の開催 ③ 介護人材の確保、業務負担の軽減
	③ 生活支援施策の推進	① 生活支援体制整備協議体の組織と生活支援コーディネーター事業

第4節 計画の進行管理

今回の計画の進行管理を適切に行い、高齢者の自立支援や重度化防止への取組を推進するために、計画の進捗状況を取りまとめし、検証を行う必要があります。

検証に当たっては、PDCAサイクル（Plan（計画策定）→Do（計画の実行）→Check（計画の進捗状況等の報告・評価）→Action（計画達成に必要な取組の実施、次期計画の策定に係る活用））により、計画を着実に推進し、2025年（令和7年）に向けた地域包括ケア体制の構築、充実を図るために、適宜、地域の保健医療福祉関係者、被保険者代表及び学識経験者等で構成する壮瞥町地域包括支援センター運営協議会に計画の進捗状況等の報告をし、評価を受け、検証を行います。

また、本計画の最終年度に設置される次期計画の策定委員会においては、今回の計画期間内全てにおける取組、進捗状況等を報告し、評価を受け、その内容を次期計画策定の際に活用します。



第2章 計画の取り組み

第1節 高齢者保健福祉サービスの取り組み

1 健康づくりと介護予防の推進

(1) 健康づくりの推進

町民一人ひとりが自身の健康状態を理解し、健康増進及び疾病予防に取り組むことで、生涯にわたり生活の質を維持・向上できることを目的とし、各種健（検）診の実施や健康に関わる相談等を通じて支援するよう努めます。

① 健康診査の実施

年に1回、受診券を発行し、無料で健康診査を受診できる体制をとっています。例年、夏と冬の2回、札幌医科大学の協力をいただき、集団での健康診査を実施している他、令和元年度から、かかりつけ医で健康診査が受診できる体制の構築を進め、利便性を高めています。結果として、令和元年度の受診率は向上しましたが、今後も受診率が増加するよう努めてまいります。

健康診査を受診することで、自分自身の健康状態の把握や生活習慣の見直しをする機会につながるため、特定健康診査等実施計画のもと引き続き周知と受診勧奨に努めます。

② 各種がん検診の実施

現在、国の指針に基づき実施している胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんの5大がん検診の他に、前立腺がんや口腔がん検診といった指針外の検診を実施する等、がん検診の充実を図っています。また、検診後に要精密検査となった者へのフォロー体制の構築として、精密検査の受診状況の確認や相談支援等を充実させ、発見されたがんをそのまま見過ごし、さらに進行しない支援体制を整えています。

③ その他検診の実施

脳ドック検診、歯周病検診、歯科健診、骨検診等、町独自の健（検）診を実施することで、認知症、低栄養、寝たきりといった要介護状態となる要因としてあげられる脳血管疾患、口腔機能の維持、骨粗鬆症等の疾病を事前に予防する取り組みを実施していきます。

④ 各種保健計画に基づく事業実施

成人期からの生活習慣や健康意識が老年期での健康状態につながるため、保健・介護の一体的事業の実施により、保健、介護保険、地域包括支援センターが連携して年齢の枠にとらわれない支援を実施していきます。

また、データヘルス計画を推進し、成人期から健康を意識し、主体的に生活改善や受診行動を行うことで、健康寿命の延伸を図り、生涯にわたり健康的に過ごせるような保健事業を実施していきます。

⑤ 保健指導、健康相談

集団での健康診査では、結果説明会を開催し、医師や保健師、管理栄養士、看護師が一人ひとりの検査データや生活習慣に合わせた支援を実施しています。

また、相談対応は随時実施しており、電話や来所等での健康相談の他、要望によっては健康教育等も実施しています。

⑥ 医療体制の充実

高齢者が身近なところで医療を受けられる体制を維持することは重要であり、民間の協力を得て歯科診療所を開設しています。

また、救急医療体制の充実を図るため、近隣市町の行政や医療機関と連携し、一次・二次救急医療体制（※）の整備に努めます。

○一次救急：西胆振4市町が連携

入院の必要がない帰宅可能な患者を対象

伊達赤十字病院に胆振西部救急センターを併設して運営

○二次救急：西胆振6市町が連携

入院治療を必要とする患者を対象

輪番制による救急告示病院を設置、運営

(2) 介護予防の推進

※ 地域支援事業

地域支援事業には介護が必要となることを予防するために実施する事業であり事業の中には「介護予防・日常生活支援総合事業」、「包括的支援事業」、「任意事業」があります。

① 介護予防・日常生活支援総合事業

全国一律に提供されていた介護予防訪問介護・通所介護と、要支援者のニーズに対応した生活支援サービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」として再構築され、平成27年度から順次、国の事業から市町村事業（地域支援事業）に移行されました。

町では、平成28年3月より要支援の認定を受けている被保険者等に対して、従前の介護予防訪問介護・通所介護と同様なサービスを受けられる訪問型サービス・通所型サービスと介護予防ケアマネジメントとして介護予防プラン等の提供を行っています。

また、令和3年度からは、要介護認定者も介護予防・日常生活支援総合事業の利用が可能となる（総合事業対象者の弾力化）ため、本町に見合った制度改正の検討を進めています。

この他、一般介護予防事業として足腰に不安のある概ね65歳以上の高齢者を対象として、生活の中で体操や運動を取り入れ、継続して実施してもらうことを目的に運動インストラクター等による自宅でできる健康体操、運動の実技指導、健康講話等を行う「転ばん塾」を開催しています。事業の実施においては地域のリハビリテーション専門職（理学療法士等）による事業への協力と評価を受け、町の介護予防事業の質の向上に努めています。さらに、平成30年度からは、各種健診結果の分析、民生委員や生活支援コーディネーター等との連携により、運動習慣の必要な高齢者や閉じこもりがちな高齢者等に参加を勧奨する取り組みを行い、介護予防とともに地域全体への見守りの役割も果たしています。

介護予防活動やリハビリテーションの提供が高齢者の心身に与える効用は大きいと考えられることから、今後の取り組みや目標に関する検討を継続して行い、自立支援・重度化防止を推進します。なお、介護予防活動に関する目標設定について、100ページに、居宅サービス等に関する目標設定については103ページから104ページに記載しています。

② 包括的支援事業

壮瞥町保健センターに設置した「壮瞥町地域包括支援センター」において、「介護予防ケアマネジメント」・「総合相談支援事業」・「権利擁護事業」・「包括的・継続的ケアマネジメント」の4業務を継続して実施します。

③ 任意事業

介護保険の安定的な運営と介護（介護予防）給付の公平性や中立性を確保しサービスの質の向上を図るため、介護（介護予防）給付の適正化の取組を継続して実施します。（取組の詳細については、「4 安定した介護保険制度の運営」（98ページから99ページ）に掲載しています。）

(3) 社会参加の促進

① 高齢者の生きがいづくりの場の創出

高齢者の方々が、長年培ってきた知識や技術を活かした生きがいづくりと社会貢献ができる場について、壮瞥町社会福祉協議会と協議しながら創出の継続に努めてまいります。

② 老人クラブ活動への支援

概ね65歳以上の高齢者により自主的に組織され、地域を基礎とした4つの単位クラブが存在し、それらを壮瞥町老人クラブ連合会が統括しています。単位クラブ役員は連合会の役員として、交流、生きがい、地域貢献といった様々な事業について意見を交わし、連合会全体としての事業も推進しています。今後も継続して支援していきます。

③ 山美湖大学

60歳以上の方を対象に、日々充実した豊かな生活を目指し、健康維持と趣味、教養の向上を図ることを目的に開講され、月1回程度実施しています。

講義内容は4月の開講式に参加者同士で協議して決めており、軽スポーツ、運動、趣味講座、体験学習、芸術鑑賞、見学旅行などを行っています。

平成30年度からは、教育委員会と高齢者福祉部署・地域包括支援センターが連携し、山美湖大学において、医療ソーシャルワーカーによる医療・介護講演会や地域包括支援センターの専門職による介護予防講演会等に取り組んでいます。今後も継続して取り組みます。

④ 町、関係機関及び各種団体等による集いの場

①～③の取組以外に、第8期計画期間中に、町、教育委員会、社会福祉協議会、町内のNPO法人や自治会等各種団体が実施している集いの場を活かし、介護予防・体操教室を実施し、元気に活動している高齢者の方々には参加の継続を、閉じこもりがちな高齢者等には外出機会の創出に努めてきました。

事業の実施にあたっては、地域のリハビリテーション専門職、運動インストラクター、生活支援コーディネーター等からも講師等の事業への協力や評価、助言を受け、実施しています。

併せて教育委員会、社会福祉協議会や各種団体とも連携し、実施している集いの場の情報提供に引き続き努めます。

(4) 敬老事業

① 長寿祝金

満 88 歳・満 100 歳になる高齢者に対し、長寿祝金をお渡しし、ご長寿を祝福するとともに、多年にわたる社会貢献への敬意を表することを目的としています。

② 町営温泉等使用料補助

65 歳以上の高齢者を対象に（その他にも障害者やひとり親家庭世帯、生活保護法に規定する被扶助者も対象）、町内 3 箇所の町営温泉（蟠溪自治会に所属する 70 歳以上の高齢者は蟠溪地区の 2 箇所の民営温泉も）を利用できるように一定額を町が補助する事業です。

③ ふれあい敬老昼食会

ご長寿を祝福するとともに、多年にわたる社会へのご功労に対し、敬意を表することを目的として、社会福祉協議会の主催により毎年度 10 月に実施しています。

2 在宅生活支援の推進と居住環境の整備

(1) 日常生活の支援

① ショートステイ（壮瞥町短期入所生活支援事業）

概ね 65 歳以上で要介護認定等結果が非該当となった高齢者、要介護認定等未申請者又は要介護認定等で要支援 1 から要介護 2 と判定され、介護保険法で規定されている短期入所生活介護及び短期入所療養介護を利用してもなお短期入所生活支援が必要な高齢者に町内の特別養護老人ホームの空きベッドを利用して数日間の入所サービスを提供することで、本人の体力回復と共に介護家族の休養を図ります。

利用者の多くは在宅での自立や介護を受けての生活が可能な状態ですが、要支援又は要介護状態の境界に近いケースが多く、短期入所中の相談対応による不安解消や介護家族の負担軽減などにより在宅生活を支援します。

② デイサービス（壮瞥町自立外出支援事業）

概ね 65 歳以上の閉じこもりがちな高齢者が要介護状態にならないように、デイサービスセンターにおいて日常生活動作訓練から入浴、食事、趣味活動などの各種サービスを提供することにより要介護及び要支援状態にならないよう予防に努めます。

③ ホームヘルプサービス（壮瞥町自立訪問支援事業）

概ね65歳以上の高齢者等で自立生活に支援が必要な状態にありながら、介護保険サービスを利用していない高齢者を対象に、ホームヘルプサービスを提供します。今後も自立した生活を維持するために、家事等の日常生活の援助を行なうとともに在宅生活の継続を支援していきます。

④ 配食サービス事業

身体的または環境的な理由から、バランスの取れた食事を摂ることが出来ない高齢者等に対して、週に1～2回、配食ボランティアの協力を得ながら、バランスの良い食事を提供するとともに安否確認を行います。

ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会に事業を委託しております。

⑤ 雪下ろしサービス事業

高齢者世帯を対象に、現在住んでいる自宅母屋の屋根の雪下ろしを行い、冬期間の生活の安全確保を図ります。社会福祉協議会に事業を委託しております。

⑥ 入浴送迎サービス事業

身体能力の低下や入浴環境により、自宅での入浴が困難なおおむね65歳以上の高齢者を対象に、町内の特別養護老人ホームに移送し、専門スタッフの介助により入浴できるサービスです。これにより介護家族の在宅生活の継続の効果が期待できます。社会福祉協議会へ事業を委託しております。

（2）移動・外出の支援

① 路線バス無料化事業

70歳以上の高齢者が路線バスを利用する際に、町内区間のバス運賃を無料にすることで、高齢者の外出を支援する事業です。町が発行する敬老福祉証（道南バス乗車証）を降車時に提示することでサービスが利用できます。

② コミュニティタクシー事業

全町民を対象に伊達市、洞爺湖町への通院（目的限定）、町内移動（目的は自由）について、コミュニティタクシーを運行しています。

③ 高齢者車いす移送サービス事業

概ね65歳以上の車いす利用者で、町内に支援者がおらず、なおかつ自力で公共交通機関を利用して通院できない方を対象に、町外事業所が行う福祉有償運送を利用して通院を支援します。かかった経費の3分の1を補助します。社会福祉協議会に委託をしています。

(3) 家族介護支援

① 家族介護用品支給事業

要介護3～5に認定された方を在宅で介護する世帯に、おむつ等の介護用品代として月額8,000円以内で補助し、介護家族の経済的負担を軽減します。

(4) 居住環境の向上

① 生活支援ハウス運営事業

一定期間町内に在住している単身高齢者又は高齢者夫婦で在宅生活に不安を感じている方を対象に、朝夕の安否確認と食事の提供、入浴施設の充実などにより安心感と在宅に近い環境を提供し、快適な住環境を提供します。入居については心身の状況や家庭環境、住宅の状況などを総合的に捉え、適切な利用となるようにしています。

② 介護保険住宅改修の活用

在宅での生活が継続できるように身体機能の低下により必要とされる手すりの取り付けや段差解消等のバリアフリー化に対し、介護保険制度による住宅改修の活用によって、要介護者・要支援者と家族等の介護者の負担を軽減し、居住環境の向上に努めます。

(5) 事業所との連携

① 養護老人ホーム入所措置

65歳以上の方で援護者不在などの環境的な理由や経済的困窮から施設入所を必要とする方に対し、養護老人ホームへの入所を支援します。

② 介護保険施設との連携

1. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、身体上又は精神上著しい障害があるために常時の介護を必要とし、かつ居宅生活が困難の方を入所させ介護することを目的とする施設です。

町内事業所において、施設の老朽化対策の検討を求めるなど、入居者生活の質の向上につながるよう施設との連携を図ります。

2. 介護老人保健施設

要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、看護や医学的管理のもとにおける介護及び機能訓練など必要な医療並びに日常生活の支援を目的とする施設です。

町内事業所において、在宅復帰の推進につなげるよう施設との連携を図ります。

3. 介護療養型医療施設

療養病床等を有する病院又は診療所であって当該療養病床等に入院する要介護者に対し施設サービス計画に基づいて療養上の管理、看護、医学的管理のもとにおける介護及び機能訓練、その他必要な医療を行うことを目的とする施設です。

町内事業所において、医療ニーズの高い利用者の受け皿につながるよう施設との連携を図ります。

4. 介護医療院

平成30年度から慢性期の介護・医療ニーズを併せ持つ高齢者を対象に、日常的な医療管理や看取り・ターミナルケア等の医療機能と生活施設としての機能を兼ね備えた介護医療院という新たなサービス類型が創設されることとなりました。

また、介護療養型医療施設は、法令により令和5年度までに廃止することとなっているため、町内事業所とも連携を図りながら、今後についての検討をしていきます。

③ 医療施設との連携

町内には医療施設2ヶ所と歯科診療所があります。今後も治療を受ける患者のため、医療施設と必要な連携を図ります。

④ 居宅サービス事業所との連携、高齢者の多様な住まい方への支援

町内には、居宅介護支援事業所の他、通所介護、通所リハビリ、訪問介護、訪問リハビリ、訪問診療、訪問看護、短期入所系サービス事業所があります。

町内在住の要介護・要支援認定者が住み慣れた地域で在宅生活を継続していくことができるよう、居宅介護支援事業所をはじめ町内事業所との連携に継続して取り組みます。

利用者のニーズに応じたサービスを確保するため、不足している在宅サービスについては、町外事業所が提供しているサービスも組み入れながら在宅サービスの充実を図ります。

また、厚生労働省は、第8期介護保険事業計画の基本指針において、特定施設入居者生活介護の指定を受けていない「有料老人ホーム」と「サービス付き高齢者住宅」の入居定員総数等を新たな項目として計画に登載することとして

いました。しかし、町内にはこれらの事業所がなく、今のところ施設が整備される予定もないため、必要に応じて、近隣の事業所が提供するサービス等も組み入れて、高齢者の生活の場の確保に努めます。

(6) 見守り・相談体制の整備

① 地域包括支援センター運営業務

平成27年度からの介護保険制度改正に伴い「地域包括ケアシステム」の基盤づくりとネットワークの拡充が求められており、従来の地域包括支援センター業務に加え、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、地域ケア会議の推進など新しい業務が増えており、職員体制や研修の充実に継続して取り組みます。

② 地域の見守り体制づくり

人口の減少や少子高齢化が進み、家族や隣近所とのかかわりも希薄化傾向にあり、また、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が増加しています。これまでも、ご近所や自治会、民生委員などが中心となって高齢者等の見守りを行っていましたが、このような支援体制を強化していくために、自治会と社会福祉協議会、役場、民生委員などが情報を共有し、一体的に支援していく体制づくりを継続して進めていきます。

③ 訪問サービス事業（ふれあい友愛訪問）

80歳以上の一人暮らしの高齢者の安否確認と生活状況の把握のため、月に2回、ボランティアの協力を得ながら、自宅を訪問し、ヤクルトを無料配布する事業です。

ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会に事業を委託しており、利用者の生活状況を継続的に見守り、必要に応じて社会福祉協議会や民生委員につなげていく体制を整備します。

(7) 事故・災害等への対策

① 消防防火訪問

80歳以上で一人暮らしの世帯を対象に、消防職員と消防団女性団員、役場職員による防火診断を実施しています。毎年、各家庭で暖房機器の使用を始める10月頃に実施しています。ストーブや台所等の火気使用場所の点検をおこない、出火の危険性がないかを診断しています。

② 緊急通報端末機貸与事業

高齢者世帯で日常生活に不安を抱える方を対象に24時間体制で町から委託を受けた業者が緊急通報の端末機で管理しています。緊急通報の端末機は有償貸与しており、緊急時にはあらかじめ設定した協力者や消防署に対応を求めるサービスです。特に一人暮らしの高齢者は、夜間に不安を感じるが多いため、本事業により「いつでもつながる」安心感を提供しています。

③ 消費者被害の防止

高齢者を狙った悪質な悪徳商法が増加しているため、被害防止のために広報等で啓発を行うとともに、相談対応を行っています。また、クーリングオフ等の対処が必要である等の重大な案件の場合は、北海道立消費生活センターとも連携し、対応します。

④ 災害弱者の支援体制づくり、感染症対策の実施

緊急時や災害発生時の地域住民同士によるお互いの助け合いが重要であるため、一人暮らしの高齢者や要介護（要支援）者などの災害弱者の事前把握に努め、市内の防災担当部署をはじめ、自治会や民生委員、社会福祉協議会など関係者が連携し、災害に備えた支援体制づくりに継続して取り組みます。

また、壮瞥町新型インフルエンザ等対策行動計画にもとづき、感染症等の感染拡大防止のための資材確保、周知啓発活動等、関係部署と連携し、対策を実施します。

3 地域包括ケアシステムの推進

(1) 認知症施策の推進

① 認知症地域支援推進員・認知症初期集中支援チーム事業

医療機関・介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ役割を担う「認知症地域支援推進員」を平成30年度から設置し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らせるよう支援しています。

また、併せて「認知症初期集中支援チーム」を平成30年度から設置し、複数の専門職による個別の訪問支援により認知症初期の支援を包括的、集中的におこない自立生活をサポートしており、今後も継続して取り組みます。

② 認知症ケアパスの発行

認知症の状態に応じて受けられるサービスや相談機関など、適切なケアの流れを明らかにした認知症ケアパス「あっぱる先生の認知症はやわかりブック」（冊子）を平成30年3月に発行し、町内公共施設、医療・介護事業所に配置しています。令和6年3月に第2版を発行予定としており、今後も必要に応じて内容の見直し等を行います。

③ 認知症サポーターの養成、チームオレンジの編成、認知症カフェの実施

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人や家族を応援し誰もが暮らしやすい地域づくりを担う認知症サポーターの養成を継続して進めます。

さらに、認知症サポーターの養成にあたるキャラバンメイトの育成と既に認知症サポーター養成講座を受講済み（オレンジリングを保有している）方々のフォローアップ講座等の実施に努めます。

また、認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人とその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを整備し、国が示した「認知症施策推進大綱」に掲げられた「予防」と「共生」の地域づくりを推進するため、「チームオレンジコーディネーター」の養成、「チームオレンジ」の編成に努めます。

この他、「認知症カフェ」については令和5年度から介護者の集いや福祉用具等の展示会と合わせて開催しましたが、まだ開催方法については手探り状態であるため、関係機関とも連携し実施についても検討を進めていきます。

④ 認知症高齢者の権利擁護

認知症や知的高齢者等の精神上の障害により物事を判断する能力のない人が、何らかの不利益を被らないよう家庭裁判所に申立をして法定代理人として支援する「成年後見制度」が利用できるよう町長申立等の支援を行っています。

平成28年度からは室蘭市社会福祉協議会に設置された室蘭成年後見支援センターが壮瞥町を含む胆振西部2市3町の委託を受け、相談・支援体制の充実が図られています。（R5年度時点は2市2町）

また、成年後見制度を円滑に利用するための相談窓口や関係機関との調整機能を担う中核機関や受任調整会議の広域設置について、近隣市町や室蘭成年後見支援センターの業務を担う室蘭市社会福祉協議会と協議・検討を進めます。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

① 地域の医療・介護サービスの連携諸事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしく人生の最後まで住み続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進することを目的とした「在宅医療・介護連携推進事業」について町の実情にあった施策の実施に取り組んでいます。今後、継続して取り組みを進めます。

② 地域ケア会議の開催

地域ケア会議は高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える関係機関や社会資源の整備を同時に進めていく手法として介護保険法上に位置づけられています。

個別事例から地域課題の解決、自立支援・重度化防止に資する会議の実施と継続に向け、多職種連携を図り、協議を行うとともに、今後は地域づくりのための資源開発と施策化に努めます。

③ 介護人材の確保、業務負担の軽減

現役世代、生産年齢人口が急減する令和22年を見据え、町内及び近隣事業所と連携し、介護現場におけるロボット化・ICT化等による業務負担軽減、介護分野の文書に係る負担軽減策への取り組みを検討します。

また、関係機関、関係部署と連携し、介護職の魅力の周知等に取り組めます。

(3) 生活支援施策の推進

① 生活支援体制整備協議体の組織と生活支援コーディネーター事業

全国の市町村で平成30年度までに生活支援体制整備事業に取り組み、生活支援体制整備協議体を組織し、生活支援コーディネーターを設置する必要があることから、壮瞥町では、平成29年度から社会福祉協議会に事業委託し、実施しています。

これまで、地域のニーズとサービスのコーディネート機能を担うとともに新たな集いの場の創設等に取り組んできました。今後とも関係機関、前出の地域ケア会議と連携を図りながら、取り組んでいきます。

4 安定した介護保険制度の運営

安定した介護保険制度の運営のために、費用の効率化、不適切な給付の防止を通じて、介護保険制度の信頼を高めていくとともに、将来にわたり必要な給付を適切に提供するために介護給付適正化事業（主要5事業）に取り組めます。

介護給付適正化主要5事業は、第6期計画期間において取り組みを始め、第7期計画期間からは全ての事業に取り組んでいます。今回、第9期計画期間においても全ての事業に取り組めます。

（1） 要介護認定の適正化

介護認定審査会において要介護度を適正に審査判定するために必要な資料及び情報を提供することを目的に、認定調査票と主治医意見書の事前確認を全件において実施し、記載内容の明らかな矛盾や記載漏れ、誤記等を確認します。

また、調査に携わる町職員は、適宜、北海道が実施する現任研修を受講するとともに、厚生労働省より提供されている「要介護認定 認定調査員テキスト」等をもとに自己研鑽に努め、適正な認定調査実施に関する業務知識の維持向上を図ります。

（2） ケアプランの点検

利用者の自立支援に資する適切なケアマネジメントが行われるよう、ケアプランの点検を毎年度実施するよう努めます。町内の全ての事業所について、1事業所あたり1～2件のケアプランの提出を求め、点検を行います。

また、ケアプランの質の向上、介護支援専門員と町担当職員の知識の向上等を目的とした研修会を併せて実施するよう努めます。

（3） 住宅改修等の点検

住宅改修に係る支給申請について、全件において、事前に現地で確認した内容と住宅改修着工前後の写真やその他の資料等から住宅改修の必要性を審査します。

また、福祉用具購入に係る支給申請についても福祉用具購入者からの申請を受けて、全件において、提出書類等によって用具の必要性を審査します。

（4） 医療情報との突合・縦覧点検

北海道国民健康保険団体連合会から提供されるデータをもとに、医療保険と介護保険の間で同時の請求を受けることがあり得ない給付の有無の確認（医療情報との突合）と介護保険でのサービスにおいて受給できる日数や回数を超えたものの請求・給付がなかったか等の点検（縦覧点検）を毎年度行い、給付の適正化に努めます。

(5) 介護給付費通知の実施

介護サービス等（総合事業の介護予防サービスも含む。）の利用者本人に対して介護サービス等の利用状況やその費用を通知し、確認いただくことにより、介護保険給付の仕組み等の周知に努めます。

また、この通知を利用者等に確認いただくことにより、実態のないサービス等の不正・不適切な介護報酬請求の発見や防止を図ります。

5 自立支援・重度化防止に向けた成果目標

高齢化が進展する中で、制度の持続可能性を維持するためには、地域包括ケアシステムを推進するとともに、高齢者にその有する能力に応じた自立した生活を送っていただくための取組を進めることが必要となります。

そこで本計画では、前回の計画から引き続き高齢者の自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防や悪化の防止といった事業について成果目標を設定し、その達成に向けて取り組んでいきます。

(1) 成果目標（第9期の計画期間における目標）

事業名	目標の内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
山美湖大学 (高齢者大学)	参加者数	延240人	延240人	延240人
介護予防事業 (転ばん塾)	参加者数	20人	20人	20人
老人クラブ活動	会員数	90人	90人	90人
緊急通報端末 機貸与事業	利用世帯数	20世帯	20世帯	20世帯
配食サービス事業	配食数	1,200食	1,200食	1,200食
コミュニティ タクシー事業	利用実人数	700人	700人	700人

第2節 今後の高齢者保健福祉サービスの展開について

少子高齢化等による急速な人口減少や価値観の多様化、人々のつながりの希薄化等を背景として、老々介護、高齢者虐待、孤独死への対応をはじめとする生活困窮者に対する課題や地域福祉をめぐる諸課題は複雑化・深刻化してきています。また、晩婚・晩産化等により、親と子供の両方をお世話するいわゆる「ダブルケア」を行う方々への支援や親族の介護により職を離れざるを得ない「介護離職」を防ぐための支援等、全ての世代において支援を必要とする方々が全国的に増えていくものと考えられます。

本町においては、今後も高齢化率の上昇、特に75歳以上の後期高齢者、医療・介護を必要とする人の割合が高くなる85歳以上の人口の増加が見込まれ、高齢者保健福祉サービスと介護サービスを必要とされる割合がこれまで以上に増えていくことが予想されます。さらに、令和22年年に向けて、現役世代が減少するため、「担い手」となる人材が不足していくことが見込まれます。

このような状況にあるものの、本町の財政状況は厳しい状況にあり、前述のような需要に対応しながら、住民負担を可能な限り抑え、高齢者保健福祉サービスを継続して提供するためには、各種実施する施策の効果を検証し、既存の事業をより一層の有効活用していく等、検証結果によって実施施策の内容の見直しを行う必要もあります。

現在の推計では、今後の本町の介護サービス等の見込み量、介護保険の被保険者に負担いただく介護保険料と介護保険事業のために町が負担する運営費は、年々増加傾向となっております。

このため、高齢者の健康づくりと介護予防・重度化防止、感染症対策と並行して地域での支え合いの体制づくりの強化は急務となっています。

一方、本町において、計画策定に当たり実施した高齢者実態調査の結果から健康志向が高く、また自宅で暮らし続けたいという回答が多いことを受け、いつまでも生きがいを持ち、趣味を楽しみながら、健康で元気に過ごしていただくとともに、全ての世代の地域住民と地域の多様な主体に携わる全ての人々が力を合わせ、支え合うことがこれまで以上に重要になってくるものと考えられます。

将来にわたり安定的・持続的に高齢者保健福祉サービスを提供し、介護保険事業を運営していくために、第8期計画期間中に施策の一つ一つを検証・検討してきました。第9期計画においても継続して高齢者保健福祉施策のあるべき姿という観点に立ち、高齢者保健福祉サービス及び介護保険事業の運営状況を検証・検討するとともに、本町の高齢者の皆様が生きがいを持ち、笑顔で元気に過ごしていただくために、健康づくり、介護予防・重度化防止のための施策の検討と推進を図ります。

第3節 介護保険サービスの推計

1 日常生活圏域の設定

本計画においては、地域の特性を踏まえた「日常生活圏域」を設定し、その圏域ごとに必要とされるサービスを提供できるよう事業量等を推計し策定する必要がありますが、本町においては、面積、人口、住民の生活形態などを総合的に勘案し、全町を1つの日常生活圏域として考えていきます。

以降の推計については、厚生労働省提供の地域包括ケア「見える化」システムも活用し、推計しました。

2 要介護（要支援）認定者数（第8期の推計）

令和3年度から令和4年度における要介護（要支援）認定者数の実績と、令和5年度見込み及び第9期計画（令和6～8年度）における推計は下表のとおりです。

また、参考として令和12年度と令和22年度の推測も記載してます。

■ 表1 要介護（要支援）認定者数の実績と推計（第9期の推計）

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
		実 績			推 計				
第1号被保険者	要支援1	30	22	14	14	14	14	34	29
	要支援2	28	27	25	26	26	26	34	32
	要介護1	50	49	47	47	48	48	57	50
	要介護2	42	38	35	34	35	35	41	39
	要介護3	34	36	31	31	31	31	31	33
	要介護4	19	21	28	29	30	30	16	18
	要介護5	17	17	13	13	13	13	21	22
	小計	220	210	193	194	197	197	234	223
	前年対比		-4.5%	-8.1%	0.5%	1.5%	0.0%	18.8%	-4.7%
第2号被保険者	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	1	1
	要介護1	0	0	0	0	0	0	1	1
	要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	1	2	2	2	0	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1	2	2	2	2	2
	前年対比		0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
認定者合計		220	210	194	196	199	199	236	225
前年対比			-4.5%	-7.6%	1.0%	1.5%	0.0%	18.6%	-4.7%
第1号被保険者		982	957	965	932	920	905	844	692
第2号被保険者		767	747	742	737	722	711	579	452
全被保険者における認定者数割合		12.6%	12.3%	11.4%	11.7%	12.1%	12.3%	16.6%	19.7%

3 介護給付の実績と推計（第9期の推計）

要介護1以上の方が利用するサービスである介護給付については、第8期計画期間の給付実績・見込みを勘案し、第9期計画（令和6～8年度）の介護給付を下表のとおり推計しました。

また、参考として令和12年度と令和22年度の推計も記載してます。

■ 表2 介護給付の実績と推計（第9期の推計）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
	実績		見込み	推計				
居宅サービス								
訪問介護(回)	875	1,023	1,336	1,340	1,350	1,360	1,057	952
訪問入浴介護(回)	6	19	0	0	0	0	58	58
訪問看護(回)	615	726	781	780	785	780	2,011	1,783
訪問リハビリテーション(回)	127	124	169	170	175	175	1,032	1,032
通所介護(回)①	440	357	274	280	280	280	331	331
【再掲】通所介護①＋地域密着型通所介護②(回)	2,337	2,012	1,974	2,010	2,010	2,010	3,405	3,168
通所リハビリテーション(回)	2,271	2,369	1,587	2,000	2,000	2,000	2,357	2,123
短期入所生活介護(日)	640	950	1,083	950	900	900	165	165
短期入所療養介護(老健)(日)	182	141	163	170	170	170	24	24
居宅療養管理指導(人)	23	29	43	50	50	50	36	36
特定施設入居者生活介護(人)	12	20	24	12	12	12	12	12
福祉用具貸与(人)	320	365	295	300	300	300	360	324
福祉用具購入(人)	1	10	2	3	4	4	4	4
住宅改修(人)	3	3	2	3	4	4	2	2
地域密着型サービス								
認知症対応型共同生活介護(人)	12	19	7	12	12	12	24	24
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(人)	21	22	12	12	12	12	24	24
地域密着型通所介護(回)②	2,337	2,012	1,700	1,700	1,700	1,700	3,074	2,837
居宅介護サービス計画給付費(人／月)	52	53	49	45	44	44	58	52
施設サービス								
介護老人福祉施設(延べ人数)	340	316	375	300	300	300	372	384
介護老人保健施設(延べ人数)	299	282	233	230	230	230	288	288
介護医療院(延べ人数)	315	312	331	300	300	300	396	408

4 介護予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業の実績と推計（第9期の推計）

要支援1・2等の方が利用するサービスである介護予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「介護予防給付等」と記載）については、第8期計画期間の給付実績・見込みを勘案し、第9期計画（令和6～8年度）の介護予防給付等を下表のとおり推計しました。

また、参考として令和12年度と令和22年度の推計も記載してます。

■ 表 3 介護予防給付等の実績と推計（第9期の推計）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
	実績		見込み	推計				
居宅サービス								
(参考)訪問型サービス 総合事業(人)	178	127	83	120	120	130	144	120
介護予防訪問入浴介護(回)	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防訪問看護(人)	19	16	18	20	23	23	23	23
介護予防訪問リハビリテーション(回)	94	79	53	80	100	100	269	269
(参考)通所型サービス 総合事業(人)	138	89	73	85	100	100	192	156
介護予防通所リハビリテーション(人)	178	135	130	160	200	200	288	264
介護予防短期入所生活介護(日)	2	0	10	5	5	5	0	0
介護予防短期入所療養介護(老健)(日)	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護(人)	18	10	10	10	10	10	9	9
介護予防居宅療養管理指導(人)	36	15	9	20	24	24	24	24
介護予防福祉用具貸与(人)	197	151	157	180	200	200	240	228
介護予防福祉用具購入(人)	6	10	5	5	5	5	2	2
介護予防住宅改修(人)	4	9	3	5	5	5	3	3
介護予防居宅介護サービス計画給付費(人/月)	29	24	30	31	31	30	34	29
(参考)介護予防ケアマネジメント費(人/月)	7	8	11	15	15	15	15	12
地域密着型サービス								
介護予防認知症対応型共同生活介護(人)	0	0	0	0	0	0	0	0

介護保険料の算定

(1) 介護給付費・介護予防給付等費の実績と推計

第8期計画期間の給付実績・見込みを勘案し、第9期計画（令和6～8年度）の介護給付費・介護予防給付等費を表4、表5のとおり推計しました。

また、参考として令和12年度と令和22年度の推計も記載してます。

■ 表4 介護給付費の実績と推計（第9期の推計）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
	実績		見込み	推計				
居宅サービス	48,338,198	54,879,577	51,072,009	49,773,000	49,916,000	50,477,000	50,546,000	46,702,000
訪問介護	4,494,673	5,357,332	6,505,581	6,422,000	6,397,000	6,397,000	5,236,000	4,730,000
訪問入浴介護	174,267	231,192	0	0	0	0	763,000	763,000
訪問看護	3,576,240	4,607,236	4,359,013	4,721,000	4,676,000	4,650,000	7,188,000	6,531,000
訪問リハビリテーション	887,364	1,077,219	1,329,249	1,330,000	1,342,000	1,383,000	2,599,000	2,599,000
通所介護①	2,710,960	2,337,884	1,697,098	1,700,000	1,700,000	1,700,000	2,214,000	2,214,000
【特掲】通所介護①+地域密着型通所介護②	20,398,033	19,418,453	14,437,225	14,700,000	14,700,000	14,700,000	25,944,000	24,419,000
通所リハビリテーション	15,727,136	14,250,145	11,737,024	10,012,000	10,204,000	10,750,000	14,472,000	13,051,000
短期入所生活介護	4,037,265	7,223,186	7,673,508	6,792,000	6,801,000	6,801,000	1,978,000	1,978,000
短期入所療養介護	1,605,267	1,379,751	1,438,572	1,500,000	1,500,000	1,500,000	508,000	508,000
居宅療養管理指導	79,497	147,942	128,882	120,000	120,000	120,000	275,000	275,000
特定施設入居者生活介護	2,179,269	4,029,678	4,856,931	5,000,000	5,000,000	5,000,000	2,155,000	2,155,000
福祉用具貸与	3,836,315	4,139,795	2,908,736	2,876,000	2,876,000	2,876,000	5,379,000	4,931,000
福祉用具購入	34,578	532,564	80,000	400,000	400,000	400,000	300,000	300,000
住宅改修	340,290	331,650	340,000	400,000	400,000	400,000	180,000	180,000
居宅介護サービス計画給付費	8,655,077	9,234,003	8,017,415	8,500,000	8,500,000	8,500,000	7,299,000	6,487,000
地域密着型サービス	21,031,356	17,733,024	17,061,029	19,051,000	19,055,000	19,055,000	35,150,000	33,625,000
認知症対応型共同生活介護	3,129,696	179,136	1,646,754	3,400,000	3,400,000	3,400,000	5,516,000	5,516,000
地域密着型介護老人福祉施設入所者介護	214,587	473,319	2,674,148	2,651,000	2,655,000	2,655,000	5,904,000	5,904,000
地域密着型通所介護②	17,687,073	17,080,569	12,740,127	13,000,000	13,000,000	13,000,000	23,730,000	22,205,000
施設サービス	257,630,958	270,690,773	265,272,551	265,000,000	265,000,000	265,000,000	295,373,000	304,562,000
介護老人福祉施設	74,587,880	76,751,793	85,960,897	85,000,000	85,000,000	85,000,000	89,679,000	92,433,000
介護老人保健施設	79,007,020	75,778,520	58,879,290	60,000,000	60,000,000	60,000,000	73,420,000	74,197,000
介護療養型医療施設	104,036,058	118,160,460	120,432,364	120,000,000	120,000,000	120,000,000	132,274,000	137,932,000
介護給付費合計	327,000,512	343,303,374	333,405,589	333,824,000	333,971,000	334,532,000	381,069,000	384,889,000

■ 表 5 介護予防給付費の実績と推計（第9期の推計）

	(円)							
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
	実績		見込み	推 計				
居宅サービス 金額は総合事業分除く	11,544,684	10,329,615	10,889,479	11,754,000	11,757,000	11,757,000	14,854,000	14,084,000
参考)訪問型サービス 総合事業)	3,174,201	2,269,566	1,646,432	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,881,000	2,316,000
介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防訪問看護	657,549	656,928	794,721	800,000	800,000	800,000	737,000	737,000
介護予防訪問リハビリテーション	579,708	549,477	327,559	389,000	389,000	389,000	854,000	854,000
参考)通所型サービス 総合事業)	3,232,098	2,304,270	2,247,673	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,881,000	2,316,000
介護予防通所リハビリテーション	5,344,641	4,440,267	5,249,745	5,500,000	5,500,000	5,500,000	8,549,000	8,082,000
介護予防居宅療養管理指導	336,429	241,974	170,284	260,000	261,000	261,000	443,000	443,000
介護予防短期入所生活介護	11,457	0	0	0	0	0	0	0
介護予防短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防特定施設入居者生活介護	1,391,796	908,559	925,016	1,245,000	1,247,000	1,247,000	673,000	673,000
介護予防福祉用具貸与	1,066,077	1,023,671	968,074	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,249,000	1,205,000
介護予防福祉用具購入	128,700	397,206	170,000	210,000	210,000	210,000	180,000	180,000
介護予防住宅改修	464,747	770,533	780,000	800,000	800,000	800,000	364,000	364,000
介護予防居宅介護サービス計画給付費	1,563,580	1,341,000	1,504,080	1,550,000	1,550,000	1,550,000	1,805,000	1,546,000
介護予防ケアマネジメント費 総合事業)	516,160	410,580	264,790	300,000	300,000	300,000	1,136,000	916,000
地域密着型サービス	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防認知症対応型 共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防給付費合計 総合事業除く	11,544,684	10,329,615	10,889,479	11,754,000	11,757,000	11,757,000	14,854,000	14,084,000
参考)介護予防給付費等合計 総合事業含む)	18,467,143	15,314,031	15,048,374	16,554,000	16,557,000	16,557,000	21,752,000	19,632,000

(2) 介護保険総給付費の推計

前述の介護給付費・介護予防給付等費に、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費等、高額医療合算介護サービス費等、審査支払手数料を加えた介護保険総給付費の推計は下表のとおりです。

また、参考として令和12年度と令和22年度の推計も記載しています。

■ 表 6 介護保険総給付費の推計（第9期の推計）

(円)

	令和5年度見込	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	令和22年度
居宅介護給付費	51,072,009	49,773,000	49,916,000	50,477,000	50,546,000	46,702,000
地域密着型サービス	17,061,029	19,051,000	19,055,000	19,055,000	35,150,000	33,625,000
施設給付費	265,272,551	265,000,000	265,000,000	265,000,000	295,373,000	304,562,000
介護予防給付費	10,889,479	11,754,000	11,757,000	11,757,000	14,854,000	14,084,000
特定入所者介護サービス費	18,730,200	19,000,000	19,000,000	19,000,000	18,259,783	17,412,799
高額介護サービス費等	12,872,810	12,000,000	12,000,000	12,000,000	11,288,140	10,581,997
高額医療合算介護サービス費等	640,034	900,000	900,000	900,000	19,606	18,692
審査支払手数料	164,786	277,000	277,000	277,000	219,933	209,664
合 計	376,702,898	377,755,000	377,905,000	378,466,000	425,710,462	427,196,152
地域支援事業	22,132,581	28,588,000	28,588,000	28,588,000	25,019,864	21,384,112
総 計	398,835,479	406,343,000	406,493,000	407,054,000	450,730,326	448,580,264

(3) 第1号被保険者の保険料

① 給付費の財源

令和6年度から令和8年度までの介護保険運営のために必要な費用の総額を基に、第1号被保険者の保険料を定めます。

介護保険の給付費は、下記のように保険料と国などの負担金により賄われます。

今回、第9期計画期間中（令和6～8年度）の第1号被保険者保険料の負担割合は、第8期計画期間中と同率で23%となっています。

介護(予防)給付費			
保険料(50%)		公費(50%)	
保 険 料 内 訳	65歳以上高齢者 (第1号被保険者) 保険料23%	公 費 内 訳	国(25%)
	40歳～64歳で健康 保険料加入の方 (第2号被保険者) 保険料27%		道(12.5%)
			市町村(12.5%)

② 所得段階別の保険料設定

第1号被保険者の保険料は、負担能力に応じた負担とするため、所得の段階別区分を設けています。所得段階別被保険者数の見込は次のとおりです。

令和6年度から現行の9段階から13段階に多段階化となりました。所得再配分機能を強化し、介護保険制度の持続可能性を高めることが目的となります。

第9期計画（令和6年～8年度）の所得段階別被保険者数の見込みは下記のとおりです。

				(人)
区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	合 計
第1段階	145	140	160	445
第2段階	125	120	120	365
第3段階	134	129	120	383
第4段階	70	70	70	210
第5段階	117	115	100	332
第6段階	143	150	140	433
第7段階	110	110	107	327
第8段階	41	39	35	115
第9段階	15	15	21	51
第10段階	9	9	9	27
第11段階	1	1	1	3
第12段階	4	4	4	12
第13段階	18	18	18	54
合 計	932	920	905	2,757

③ 保険料の算定

ア) 第1号被保険者の保険料算定に用いる数値

A	標準給付費見込額	1,134,126千円
B	地域支援事業費	85,764千円
B'	地域支援事業費のうち介護予防・日常生活支援 総合事業費	20,571千円
C	所得段階別加入補正割合後被保険者数	2,757人
D	第1号被保険者負担分相当額 (A+B) × 23%	280,574千円
D'	財政安定化基金償還金	0千円
E	調整交付金相当額 (A+B) × 全国平均の調整交付金交付割合 (5%)	57,734千円
F	調整交付金見込額	105,587千円
G	財政安定化基金拠出金見込額	0千円
H	準備基金繰入額、保険者機能強化推進交付金等	7,734千円
I	予定保険料収納率	98.0%

イ) 第1号被保険者の保険料は、下記のように算定します。

$$\text{第1号被保険者保険料年額} = (D + D' + E - F + G - H) \div I \div C$$

ウ) 前記の算定により、令和6年度から令和8年度までの第1号被保険者保険料（第5段階保険料）は、次のとおり算定されました。

・年額保険料 83,271円 ・月額保険料 6,939円（▲339円調整）
= 6,600円

第9期保険料基準額（月額）は 6,600円となります。
（第8期保険料基準額（月額） 6,600円）

エ) 所得段階別保険料

対 象		割 合	保険料 月額	保険料 年額
世帯	本人所得等			
住民税 非課税世帯 (割合、保 険料月額・ 保険料年額 中の () 内 の数値は負 担軽減措置 前のもの)	生活保護受給者又は老齢福祉年金受給者	基準額 ×0.455 (0.285)	3,003円 (1,881円)	36,000円 (22,500円)
	本人の前年の課税年金収入額 + 合計所得金額の合計が 80万円以下			
	本人の前年の課税年金収入額 + 合計所得金額の合計が 80万円を超え120万円以下	基準額 ×0.685 (0.485)	4,521円 (3,201円)	54,200円 (38,400円)
	本人の前年の課税年金収入額 + 合計所得金額の合計が 120万円を超える	基準額 ×0.69 (0.685)	4,554円 (4,521円)	54,600円 (54,200円)
住民税 課税世帯	本人住民 税非課税	本人の前年の課税年金収入額 + 合計所得 金額が80万円以下	基準額 ×0.82	5,412円 64,900円
		本人の前年の課税年金収入額 + 合計所 得金額が80万円を超える	基準額	6,600円 79,200円
	本人の前年の合計所得金額が120万円未満		基準額 ×1.25	8,250円 99,000円
	本人の前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満		基準額 ×1.30	8,580円 102,900円
	本人の前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満		基準額 ×1.60	10,560円 126,700円
	本人の前年の合計所得金額が320万円以上		基準額 ×1.75	11,550円 138,600円
	本人の前年の合計所得金額が420万円以上520万円未満		基準額 ×1.90	12,540円 150,400円
	本人の前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満		基準額 ×2.10	13,860円 166,300円
	本人の前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満		基準額 ×2.30	15,180円 182,100円
	本人の前年の合計所得金額が720万円以上		基準額 ×2.40	15,840円 190,000円

※第1段階から第3段階までは保険料軽減措置が図られるためカッコが保険料となります。

※計算方法 (基準額×割合×12ヶ月) - 100円未満÷12ヶ月

※割合で基準額から1.75の割合まで第8期と変更はありません。

6 そ の 他

(1) 社会福祉法人等による利用者負担の軽減

低所得者で特に生計が困難な者が、社会福祉法人が運営する入所施設で提供する介護サービスを利用する場合に、社会福祉法人が食費・居住費を含む利用者負担額の原則 1 / 4 を減額するもので、その軽減した額のうち社会福祉法人が本来

受領すべき利用者負担収入の一定割合（おおむね 1 %）を超えた部分の 1 / 2（施設サービスについては、10 %を超えた部分の全額）を町が助成します。

（２） 介護給付見込み量の確保のための方策

本計画期間で推計した介護給付サービス及び介護予防給付等サービスについては、在宅サービス・施設サービスともに、既存のサービス提供事業者（一部のサービスで現在提供ができないものもあります。）により確保できると見込みました。事業者への情報提供など連携を図り、円滑なサービス提供が継続されるよう努めます。

地域密着型サービスのうち認知症対応型共同生活介護と地域密着型介護老人福祉施設入所者介護については、本町にサービスを提供する事業所がないため、需要の動向により所在市町村やサービス提供事業者との連携を図りながら、適切なサービス提供基盤の整備を検討します。

(別添・資料 編)

1 壮瞥町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会の構成と審議経過

○ 委員（敬称略）

役 職	氏 名	所 属 等
委 員 長	中 山 雄 三	第1号被保険者代表
副委員長	佐 藤 美智子	壮瞥町社会福祉協議会 副会長
委 員	郡 司 俊 夫	医療法人 交雄会 そうべつ温泉病院 地域医療相談室長
委 員	旭 祐 典	医療法人 交雄会 そうべつ温泉病院 看護部副部長
委 員	原 田 健 一	医療法人 交雄会 介護老人保健施設 プライムそうべつ 事務主任
委 員	松 本 啓 太	社会福祉法人 長日会 特別養護老人ホーム 第二長日園 主任生活相談員
委 員	橋 本 真 鈴	社会福祉法人 長日会 居宅介護支援事業所 ふれあい広場 介護支援専門員
委 員	渡 邊 純 子	壮瞥町民生委員協議会 民生委員
委 員	富 田 る み	壮瞥町国民健康保険運営協議会 委員
委 員	山 本 節 夫	壮瞥町老人クラブ連合会 会長
委 員	斉 藤 洋 子	壮瞥町婦人ボランティアグループあかね会 会長

○ 審議経過

令和6年 2月 2日	第1回策定委員会 委嘱状交付・委員長及び副委員長選任 計画趣旨説明 策定委員会開催日程の説明 壮瞥町高齢者福祉実態調査アンケート案について
令和6年 2月19日	第2回策定委員会 第8期計画の分析・進捗状況説明 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）説明・協議
令和6年 3月 5日	答申書提出

答 申 書

令和6年3月5日

壮瞥町長 田 鍋 敏 也 様

壮瞥町高齢者保健福祉計画
介護保険事業計画策定委員会
委員長 中 山 雄 三

第9期壮瞥町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

令和6年2月2日付壮福祉号にて諮問された第9期壮瞥町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画につきまして本町の現状と課題を分析し、これに基づいて今後の目標及び事業計画について慎重に審議を重ねて参りました。

その結果、現在わが国では高齢化が急速に進み、いわゆる団塊の世代が75歳を迎える時代を間近に控え、これまで以上に保健、医療、福祉サービスのニーズが高まっていく令和7年、さらには団塊ジュニア世代が65歳以上となり、現役世代が減少する令和22年に向け、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を行い、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」を推進するとともに医療・介護・福祉を担う人的基盤とサービス基盤の整備を継続して進めていくことが求められていると考えられます。

こうした背景のもとに本町では、高齢者が『住み慣れた地域でお互い支えながら安心していきいき暮らせるまちづくり』という基本理念のもとに、住み慣れた地域で地域住民と医療・介護・福祉サービス等の社会資源を担う人々が力を合わせて支え合いながら高齢者が笑顔で元気に安全、安心した生活ができる環境を引き続き整備する必要があります。

又、高齢者や介護する家族等を支援するために、地域包括ケアシステム推進のほか、地域での健康づくりと介護予防活動の推進、在宅生活支援の推進、居住環境の向上が必要であり、更に重度化の予防・介護負担の軽減を図るための取組を継続していかなければなりません。

これらを実現するために、地域にある社会資源の活用と関係機関等とのネットワークの更なる連携強化と継続ができるよう、行政の強いリーダーシップを切に願い、壮瞥町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会の答申といたします。

壮瞥町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
(令和6年度～令和8年度)

令和6年3月

発 行 北海道有珠郡壮瞥町
編 集 壮瞥町役場 住民福祉課 高齢者福祉係
住 所 〒052-0101 北海道有珠郡壮瞥町字滝之町 284 番地 2
壮瞥町保健センター
電 話 (0142) 66-4165